

有価証券報告書

(金融商品取引法第24条第1項に基づく報告書)

事業年度 自 平成22年1月1日
(第25期) 至 平成22年12月31日

三井海洋開発株式会社

(E01725)

第25期（自平成22年1月1日 至平成22年12月31日）

有価証券報告書

- 本書は金融商品取引法第24条第1項に基づく有価証券報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 本書には、上記の方法により提出した有価証券報告書に添付された監査報告書及び上記の有価証券報告書と併せて提出した内部統制報告書・確認書を末尾に綴じ込んでおります。

三井海洋開発株式会社

目 次

頁

第25期 有価証券報告書

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【沿革】	4
3 【事業の内容】	6
4 【関係会社の状況】	13
5 【従業員の状況】	15
第2 【事業の状況】	16
1 【業績等の概要】	16
2 【生産、受注及び販売の状況】	19
3 【対処すべき課題】	20
4 【事業等のリスク】	22
5 【経営上の重要な契約等】	24
6 【研究開発活動】	24
7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	25
第3 【設備の状況】	28
1 【設備投資等の概要】	28
2 【主要な設備の状況】	28
3 【設備の新設、除却等の計画】	28
第4 【提出会社の状況】	29
1 【株式等の状況】	29
2 【自己株式の取得等の状況】	31
3 【配当政策】	32
4 【株価の推移】	32
5 【役員の状況】	33
6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】	35
第5 【経理の状況】	40
1 【連結財務諸表等】	41
2 【財務諸表等】	84
第6 【提出会社の株式事務の概要】	105
第7 【提出会社の参考情報】	106
1 【提出会社の親会社等の情報】	106
2 【その他の参考情報】	106
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	107
監査報告書	
平成21年12月連結会計年度	108
平成22年12月連結会計年度	110
平成21年12月会計年度	112
平成22年12月会計年度	113

内部統制報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年3月30日

【事業年度】 第25期(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

【会社名】 三井海洋開発株式会社

【英訳名】 MODEC, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮 崎 俊 郎

【本店の所在の場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

【電話番号】 03-6203-0200 (代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 高 野 育 浩

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

【電話番号】 03-6203-0200 (代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部長 高 野 育 浩

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

回次	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
決算年月	平成18年12月	平成19年12月	平成20年12月	平成21年12月	平成22年12月
売上高 (百万円)	99,149	144,040	143,669	204,225	146,660
経常利益 (百万円)	4,664	7,828	2,529	7,454	6,156
当期純利益 (百万円)	3,305	4,499	1,357	2,413	2,735
純資産額 (百万円)	42,222	48,031	40,678	40,073	58,323
総資産額 (百万円)	123,350	133,734	142,115	168,365	146,627
1株当たり純資産額 (円)	1,092.01	1,153.39	993.70	1,022.15	1,155.65
1株当たり当期純利益 (円)	88.37	120.28	36.30	64.52	62.09
自己資本比率 (%)	33.1	32.3	26.2	22.7	36.6
自己資本利益率 (%)	8.4	10.7	3.4	6.4	6.0
株価収益率 (倍)	32.3	24.7	47.1	27.6	23.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	11,716	3,811	28,794	△37,098	7,502
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△20,043	△9,887	△6,960	21,974	△21,635
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	11,867	△498	5,490	△277	7,668
現金及び現金同等物 の期末残高 (百万円)	28,827	21,443	44,718	31,505	12,122
従業員数 (ほか、平均臨時 雇用者数) (名)	223 (1,071)	453 (1,192)	590 (1,502)	576 (1,576)	611 (1,799)

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、期末において潜在株式がないため記載しておりません。

3 従業員数は就業人員をもって表示しております。

4 第24期より、従来千円単位で記載していた事項の表示単位を百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、第23期以前についても百万円単位に組替えて表示しております。

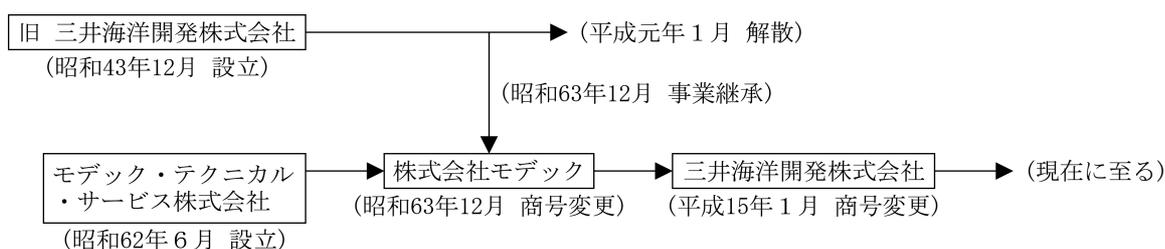
(2) 提出会社の経営指標等

回次	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
決算年月	平成18年12月	平成19年12月	平成20年12月	平成21年12月	平成22年12月
売上高 (百万円)	28,924	56,378	37,293	18,975	42,925
経常利益 (百万円)	3,373	4,834	1,733	1,885	627
当期純利益 (百万円)	2,255	1,893	1,136	243	279
資本金 (百万円)	12,391	12,391	12,391	12,391	20,185
発行済株式総数 (千株)	37,408	37,408	37,408	37,408	46,408
純資産額 (百万円)	32,689	33,300	33,787	33,351	48,319
総資産額 (百万円)	83,763	91,795	85,555	75,160	108,754
1株当たり純資産額 (円)	873.86	890.19	903.23	891.57	1,041.21
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額) (円)	12.50 (6.25)	15.00 (7.50)	17.50 (8.75)	20.00 (10.00)	22.50 (11.25)
1株当たり当期純利益 (円)	60.31	50.62	30.38	6.52	6.34
自己資本比率 (%)	39.0	36.3	39.5	44.4	44.4
自己資本利益率 (%)	7.1	5.7	3.4	0.7	0.7
株価収益率 (倍)	47.3	58.8	56.3	273.0	227.3
配当性向 (%)	20.7	29.6	57.6	306.7	354.9
従業員数 (ほか、平均臨時 雇用者数) (名)	90 (33)	102 (36)	111 (48)	115 (37)	82 (19)

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、期末において潜在株式がないため記載しておりません。
3 従業員数は就業人員をもって表示しております。
4 第24期より、従来千円単位で記載していた事項の表示単位を百万円単位に変更しております。なお、比較を容易にするため、第23期以前についても百万円単位に組替えて表示しております。また、同変更に伴い、発行済株式総数も一株単位から千株単位に変更して表示しております。

2 【沿革】

当社は、昭和43年12月に三井造船株式会社及び三井物産株式会社の出資により設立された三井海洋開発株式会社(以下「旧 三井海洋開発株式会社」という)を前身としております。旧 三井海洋開発株式会社は、海洋開発関連船舶や各種の海洋構造物及び海洋関連工事の企画・設計・建造・施工、並びにこれらに関する技術の提供及びコンサルティング等を事業としておりました。当社は昭和62年6月、旧 三井海洋開発株式会社の子会社として地中レーダー等による地質の調査及びコンサルティング等を目的に設立されました(設立時の商号 モデック・テクニカル・サービス株式会社)、同社が解散することをうけて、昭和63年12月に商号を株式会社モデックに変更し、その事業を継承いたしました。また、これに伴い当社の全株式は旧 三井海洋開発株式会社の株主であった三井造船株式会社及び三井物産株式会社に折半にて引継がれました。当社の設立及び事業継承の経過、並びに当社グループのその後の沿革は次のとおりであります。



- 昭和62年6月 旧 三井海洋開発株式会社の子会社として設立(設立時の商号 モデック・テクニカル・サービス株式会社)。
- 昭和63年12月 株式会社モデックに商号を変更し、旧 三井海洋開発株式会社の事業を継承。
- 平成元年4月 北米における事業拠点としてMODEC(U. S. A.), INC. 社(現 MODEC INTERNATIONAL, INC. 社)を米国テキサス州に設立。
- 平成3年3月 三井物産株式会社の所有する当社株式が全株譲渡され、当社は三井造船株式会社の子会社に。
- 平成7年5月 浮体式海洋石油・ガス生産設備等の設計・建造・据付及びオペレーション業務を対象としてISO「9001」の認証を取得。
- 平成8年6月 SEA ENGINEERING ASSOCIATES, INC. 社(米国)及びAMCLYDE ENGINEERED PRODUCTS, INC. 社(米国)とTLPに関するライセンス契約を締結。
- 平成9年5月 PEMEX EXPLORACION Y PRODUCCION社Cantarellフィールド(メキシコ)向けFSOのチャーターを目的としてCANTARELL FSO, INC. 社(現 CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V. 社)をパナマに設立。
- 平成9年8月 BHP PETROLEUM PTY. LTD. 社(現 CONOCOPHILLIPS PETROLEUM (91-12) PTY. LTD. 社)Elang/Kakatuaフィールド(東チモール・オーストラリア)向けFPSOのチャーターを目的としてELANG EPS PTE LTD. 社をシンガポールに設立。
- 平成10年12月 PEMEX EXPLORACION Y PRODUCCION社Cantarellフィールド(メキシコ)向けFSOのオペレーションを目的としてSISTEMAS FLOTANTES DE ALMACENAMIENTO S. A. DE C. V. 社をメキシコに設立。
- 平成11年1月 南北アメリカ・西アフリカ等での事業拠点としてFMC CORPORATION社(現 FMC TECHNOLOGIES, INC. 社)と合弁によりMODEC INTERNATIONAL L. L. C. 社(現 MODEC INTERNATIONAL, INC. 社)を米国テキサス州に設立。
- 平成11年1月 SOFEC, INC. 社(現 FMC SOFEC FLOATING SYSTEMS, INC. 社)との係留システムに関する技術・販売提携契約を変更し、契約期間を平成24年12月まで延長。
- 平成12年11月 MATRIX OIL (LANGSA) LTD. 社Langsaフィールド(インドネシア)向けFPSOのチャーターを目的としてLANGSA FPSO PTE LTD. 社をシンガポールに設立。
- 平成14年9月 PRODUCTION TECHNICAL SERVICE CO LTD. 社Rubyフィールド(ベトナム)向けFPSOのオペレーションを目的としてMODEC MANAGEMENT SERVICES PTE. LTD. 社をシンガポールに設立。

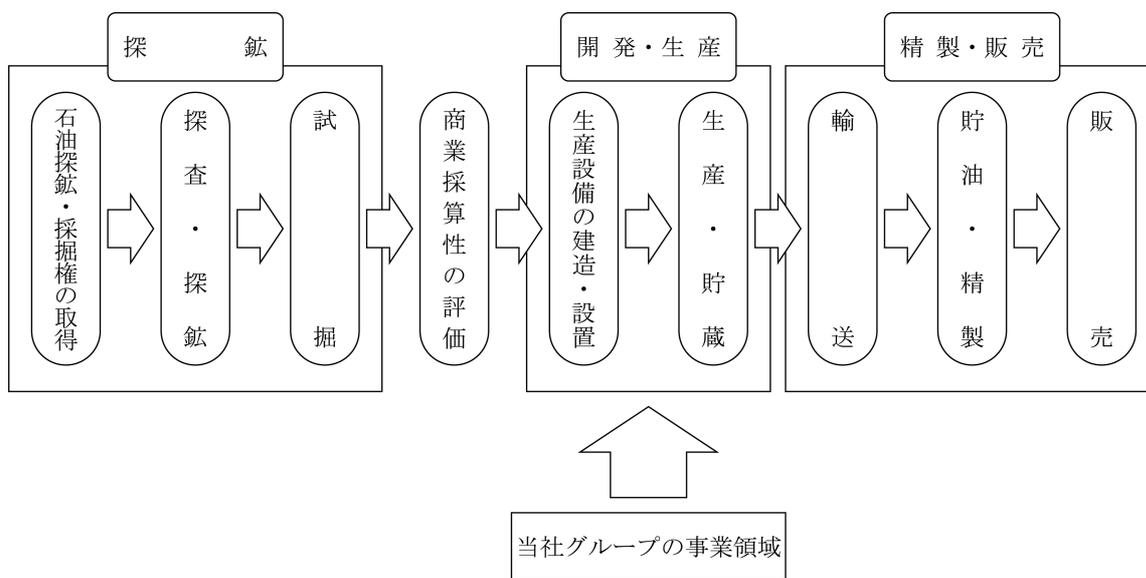
- 平成14年10月 SHELL OIL DO BRASIL LTDA社Bijupira-Salemaフィールド(ブラジル)向けFPSOのオペレーションを目的としてMODEC SERVIÇOS DE PETROLEO DO BRASIL LTDA. 社をブラジルに設立。
- 平成14年12月 SHELL OIL DO BRASIL LTDA社Bijupira-Salemaフィールド(ブラジル)向けFPSOのオペレーション人員の雇用を目的としてMODEC OFFSHORE OPERATIONS, LTD. 社を英領ヴァージン諸島に設立。
- 平成15年1月 商号を三井海洋開発株式会社に変更。
- 平成15年7月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場。
- 平成15年8月 MODEC International L.L.C. 社(現 MODEC INTERNATIONAL, INC. 社)所掌のプロジェクト業務支援を目的としてMODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD. 社をシンガポールに設立。
- 平成15年10月 Langsaフィールド(インドネシア)向けFPSOのチャーター再開推進を目的としてMODEC PRODUCTION (LANGSA) PTE LTD. 社をシンガポールに設立。
- 平成16年6月 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定。
- 平成16年11月 CNR INTERNATIONAL (COTE D'IVOIRE) S. A. R. L. 社Baobabフィールド(コートジボアール)向けFPSOのチャーターの現地下請業務を目的としてNATIONAL D' OPERATIONS PETROLIERES DE COTE D' IVOIRE社をコートジボアールに設立。
- 平成18年12月 SOFEC, INC. 社の全株式をFMC TECHNOLOGIES, INC. 社より取得し、子会社とした。
- 平成19年3月 SOFEC, INC. 社の株式のうち49%を三井造船株式会社に売却。
- 平成19年11月 本社を現在の東京都千代田区に移転。
- 平成19年11月 Langsaフィールド(インドネシア)向けFPSOのチャーターを目的としてインドネシア法人のPT ARAH PRANA社に出資して子会社とし、LANGSA FPSO PTE LTD. 社よりFPSOを譲受。
- 平成20年5月 BP EXPLORATION (ANGOLA) LTD. 社Plutao、Saturno、Venus及びMarteフィールド向けのFPSOプロジェクトの業務支援を目的として、MODEC ANGOLA LDA. 社をアンゴラに設立。
- 平成20年11月 TULLOW GHANA LTD. 社Jubileeフィールド向けのFPSOのオペレーションを目的として、MODEC GHANA, LTD. 社をガーナに設立。

3 【事業の内容】

当社グループは、当社、子会社28社（MODEC INTERNATIONAL, INC.他27社）及び関連会社12社（JASMINE FPSO PTE LTD. 他11社）で構成され、FPSO、FSO及びTLPといった浮体式海洋石油・ガス生産設備の設計・建造・据付、販売、リース及びオペレーションを主な事業としております。主な得意先は海外各国の政府系又は民間石油開発会社であり、当社グループは浮体式海洋石油・ガス生産設備について、次のようなトータルサービスを提供しております。

(1) 当社グループの事業分野

石油開発事業は、油田の探鉱から始まって開発・生産、精製・販売といった過程に大きく分けられます。石油開発事業は一般的に、比較的风险が高いビジネスですが、リスクの高い分野は鉱業権・石油権益取得から試掘までの探鉱の分野であり、当社グループが関わる開発・生産の分野は、石油開発事業者において商業採算性の評価が得られた後に開始される事業であります。



オイルメジャーに代表される石油開発事業者は、かつてはこうした事業に用いる設備等を自らが建造して所有し、かつ一連のプロセスを直轄しておりましたが、近年では専業会社にアウトソーシングする流れにあります。当社グループは石油開発業界におけるこのような趨勢のもと、海外各国の政府系又は民間石油開発事業者の開発計画に応じたFPSOをはじめとする浮体式海洋石油・ガス生産設備について、次のようなトータルサービスを提供しております。

サービスの名称	内容	
建造工事	浮体式海洋石油・ガス生産設備(以下、「FPSO等」)の設計・建造・据付工事を受注し、売渡し契約により石油開発会社へ提供するサービス。	
リース、チャーター及びオペレーション	リースサービス	FPSO等を当社の関係会社で保有し、リース契約により石油開発事業者へ提供するサービス。
	オペレーションサービス	海洋で石油・ガスの生産活動を行うFPSO等に対して、一連の操業及び付随するメンテナンス等のオペレーションを提供するサービス。
	チャーターサービス	リースサービスとオペレーションサービスを併せて受託し、チャーター契約としてFPSO等を提供するサービス。
その他	当社グループが建造のうえ石油開発事業者へ売渡したFPSO等のアフターサービスとして、部品供給やエンジニアリングサポート等を提供するサービス。また、関連会社に対してマネジメントサポート及びオペレーションサポート等を提供するサービスも含む。	

(2) 浮体式海洋石油・ガス生産設備

海洋石油・ガス生産設備は、生産設備を搭載するプラットフォームの形態によって固定式と浮体式に大別されます。一般的に固定式は海底にプラットフォームを固定する方式で、設備本体のほかに海底パイプライン、陸上の貯蔵タンク及び港湾積出施設等、インフラの建設に多額の投資が必要になります。これに対しFPSOをはじめとする浮体式は、こうしたインフラを必要とせず出油までの工期も短期間であるため、一般的に固定式に比べて経済的であるという利点があります。また、技術的な面では、高度な係留技術を利用することによって、固定式よりも大水深の海域での石油生産に対応することができます。浮体式海洋石油・ガス生産設備がこうした利点を有することや、近年における海洋油田の発見がこれまで探査が行われていなかった大水深の海域に拡大していることを背景として、浮体式海洋石油・ガス生産設備の稼働数及び発注数が増加傾向にあります。また、ここ数年原油価格が比較的安定していたことをうけて、オイルメジャーをはじめとする石油開発事業者の開発投資の意欲も高まっております。

	固定式	浮体式
プロセス(一次精製)	生産設備上にて処理	同左
貯蔵	陸上に設置されたタンクまでパイプラインを介して送油	貯蔵タンクを内蔵しているため送油は不要
タンカーへの積出	港湾施設から積出	洋上で積出

各種の浮体式海洋石油・ガス生産設備のうち、当社グループはFPSO、FSO及びTLPといわれる設備に関連する分野を主としておりますが、これらの概要は次のとおりであります。

① FPSO(Floating Production, Storage and Offloading System)

FPSOは「浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備」といわれる設備であります。石油・ガスの生産、貯蔵及び積出の機能を有し、洋上で石油・ガスを生産し、生産した石油・ガスは設備内のタンクに貯蔵して、港湾設備や陸上タンクを介さずに洋上で輸送タンカーへの積出を行います。構造的にはタンカー船体を基礎とし、原油に含まれる不純物を分離して石油・ガスを生産し、船外に排出する不純物を各国の定める環境基準に適合した状態にするためのプロセスシステム、海洋上で船体を一定位置に保持する係留システムを搭載しております。なお、船体は新規に建造する場合のほか、中古タンカーを改造して建造する場合があります。

② FSO(Floating Storage and Offloading System)

FSOは「浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備」といわれる設備であります。構造的にはFPSOと同様に船体を基礎として係留システムを搭載しておりますが、石油・ガスの生産を行うプロセスシステムは有しておりません。石油・ガスの生産機能をもたない、洋上での貯蔵、積出専用の浮体式設備であります。

③ TLP(Tension Leg Platform)

FPSO及びFSOと同様に、TLPも浮体式海洋石油・ガス生産設備の一種で「緊張係留式プラットフォーム」といわれる設備であります。洋上のプラットフォームにプロセスシステムを搭載して、洋上での石油・ガス生産を行います。半潜水型の浮体から生ずる浮力を利用した係留方式によって、洋上プラットフォームの水平・垂直方向への動揺が小さな範囲にとどまるところが特徴であり、水深1,000m超の大水深海域に適しております。固定式生産設備と同様に生産専用の設備であるため、貯蔵積出機能を有するFSOと併用したり、パイプラインとつなげて原油の積出を行います。

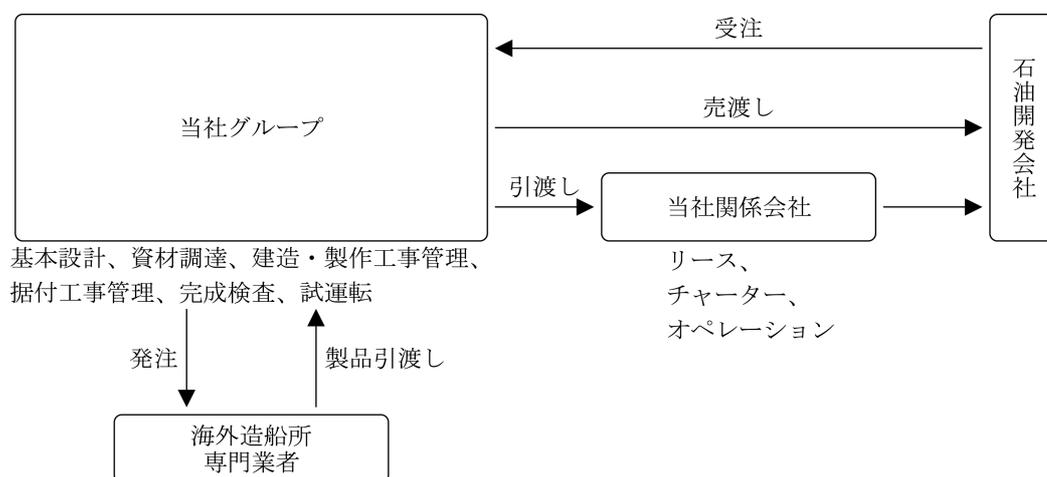
(3) 事業の推進体制と海外関係会社の設立・運営方針等

FPSO等の浮体式海洋石油・ガス生産設備の受注から設計・建造・据付を完了しての売渡し事業は、当社とMODEC INTERNATIONAL, INC. 社(以下、MII社)による二極体制で推進しております。

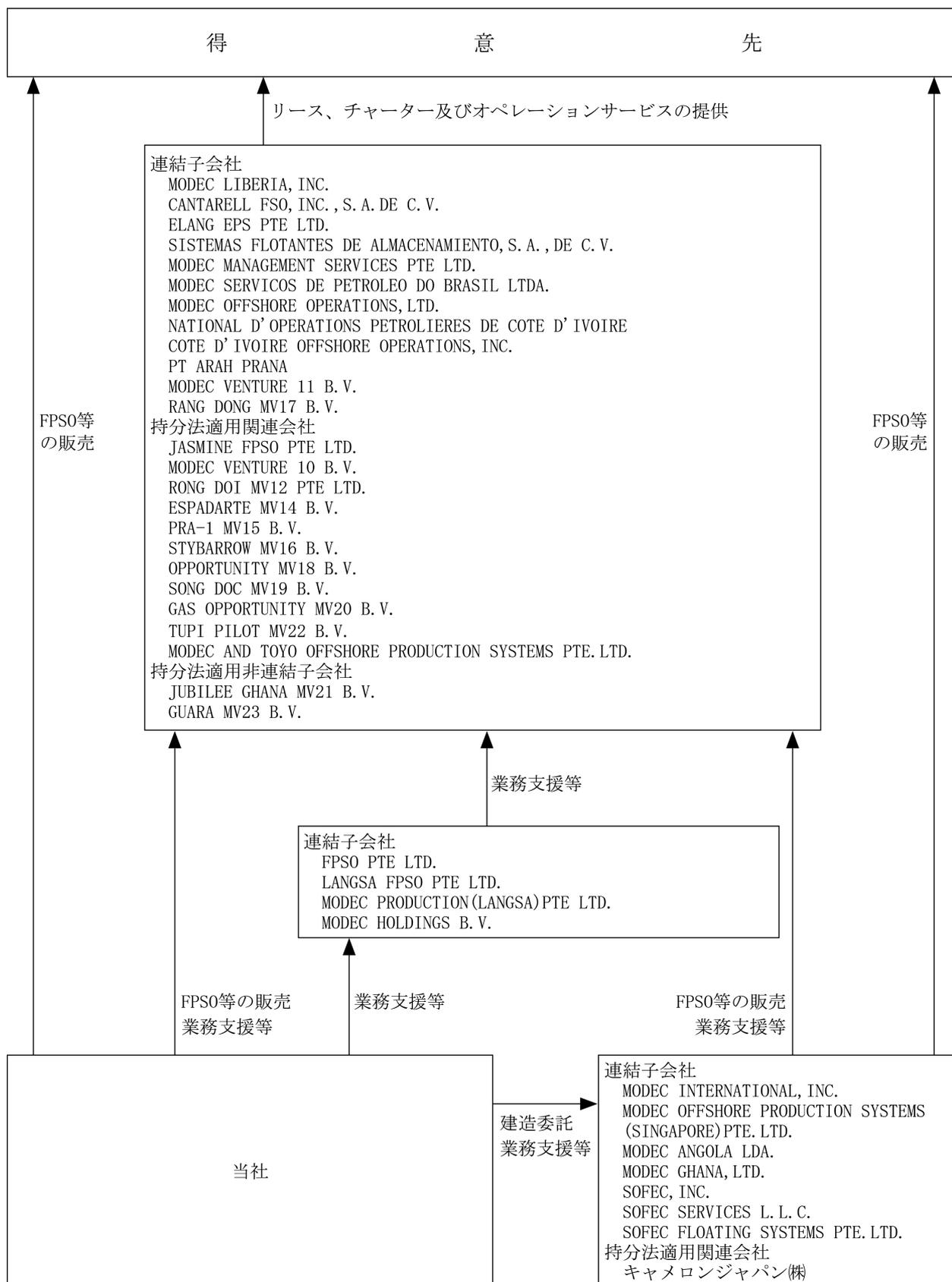
この事業において当社グループは、建造工事やFPSO等に搭載する設備等の製作並びに据付工事を海外造船所や専門の業者に外注し、ファブレス企業として工程・品質管理等のプロジェクトマネジメントに特化しております。

FPSO等のリース、オペレーション及びチャーターの事業は、プロジェクトごとに関係会社を設立して運営いたします。これは各プロジェクトの採算管理を明確にする目的のほか、主としてこれら事業にかかる長期の資金負担を軽減するために、わが国の総合商社を中心とするパートナーと合弁で事業を展開するという方針に基づくものであります。従って、リースを行う場合は、当社及びMII社が建造したFPSO等は当社グループの関係会社が引渡しを受けて保有し、オペレーションサービスの提供とこれに伴う技術者・操業要員の雇用、安全・環境保全、資機材の調達・輸送及びメンテナンス等のマネジメントも各関係会社において行っております。

当社グループは海外各国の政府系又は民間の石油開発事業者を販売先としているほか、建造工事等における外注先や資材・機器等の仕入先の多くも海外の企業であります。このため、事業上の取引及び資金収支の大半は米ドルを主とした外貨にて行っております。



事業の系統図は、次のとおりであります。



なお、参考までに、これまでに当社グループの受注したプロジェクトの実績は次のとおりであります。

(1) 売渡しプロジェクト

売渡しプロジェクトとして、当社グループはこれまでにFPSO 5基、FSO 5基(LPG用 1基を含む)及びTLP 5基の設計・建造・据付を行い、石油開発事業者に提供するサービスを受注しております。また、売渡し契約により石油開発事業者に提供したこれらFPSO等に対して、売渡し後において部品供給やエンジニアリングサポート等のアフターサービスを不定期に受注しております。

このうちFPSO 1基は、平成22年12月31日現在において建造中であり、操業を開始しておりません。

以上の15プロジェクトの概要は次のとおりであります。

プロジェクト名 (契約先)	操業国	受注年月	売渡し年月
JHN Lufeng FSO (JHN OIL OPERATING CO.)	中国	平成4年2月	平成5年8月
AMOCO Liuhua FPSO (AMOCO ORIENT PETROLEUM CO.)	中国	平成5年7月	平成8年3月
SHELL Maui-B FPSO (SHELL TODD OIL SERVICES LTD.)	ニュージーランド	平成7年1月	平成8年8月
CHEVRON Escravos LPG FSO (CHEVRON NIGERIA LTD.)	ナイジェリア	平成7年2月	平成9年6月
VIETSOVPETRO White Tiger FSO (PETROVIETNAM TRADING CO.)	ベトナム	平成11年10月	平成12年10月
EL PASO ENERGY Prince TLP (EL PASO ENERGY PARTNERS)	米国	平成12年4月	平成13年7月
PTTEP Bongkot FSO (PTT EXPLORATION AND PRODUCTION PUBLIC CO. LTD.)	タイ	平成13年8月	平成15年5月
ESSO Chad FSO (CAMEROON OIL TRANSPORTATION CO.)	カメルーン	平成13年7月	平成16年1月
SHELL Bijupira-Salema FPSO (SHELL OIL DO BRASIL LTDA.)	ブラジル	平成13年5月	平成16年6月
ANADARKO Marco Polo TLP (DEEPWATER GATEWAY LLC.)	米国	平成14年4月	平成16年7月
AMERADA HESS Oveng TLP (AMERADA HESS EQUATORIAL GUINEA, INC.)	赤道ギニア	平成16年10月	平成18年4月
AMERADA HESS Okume/Ebano TLP (AMERADA HESS EQUATORIAL GUINEA, INC.)	赤道ギニア	平成16年10月	平成18年4月
BHPB Shenzi TLP (BHP BILLITON PETROLEUM (AMERICAS) INC.)	米国	平成18年6月	平成20年7月
BHPB Pyrenees FPSO (BHP BILLITON PETROLEUM PTY LTD.)	豪州	平成19年6月	平成22年7月
BP Angola PSVM FPSO (BP EXPLORATION (ANGOLA) LTD.)	アンゴラ	平成20年7月	平成23年(予定)

(注) 上記の売渡し年月につき、予定をもって記載したものについては、有価証券報告書提出日現在における予定であり、その時期が変わる可能性もあります。

(2) リース、チャーター及びオペレーションプロジェクト

リース及びチャータープロジェクトとして、当社グループはこれまでにFPSO 17件、FSO 5件及びMOPU 1件のプロジェクトについて、建造後に当社の関係会社が保有して石油開発事業者にリース、チャーターの各サービスを提供する契約を受注しております。このうちFPSO 1基は、平成22年12月31日現在において建造・据付工事中であります。

これらのほかにオペレーションサービスのみを提供するプロジェクトを3件受注しております。

以上の26プロジェクトの概要は次のとおりであります。

プロジェクト名 (契約先)	操業国	受注年月	操業開始年月	契約形態	運営会社
MARATHON Kakap FPSO(注) 1 (MARATHON PETROLEUM INDONESIA LTD.)	インドネシア	昭和60年2月	昭和61年4月	リース	MLI社
CHEVRON Anoa FPSO(注) 2 (AMOSEAS INDONESIA INC.)	インドネシア	昭和63年10月	平成2年4月	リース	—
CONOCOPHILLIPS Elang/Kakatua FPSO (注) 3 (CONOCOPHILLIPS PETROLEUM (91-12) PTY. LTD.)	豪州/ 東チモール	平成8年11月	平成10年8月	チャーター	EEPL社
MARATHON Tchatamba MOPU(注) 4 (MARATHON PETROLEUM GABON LDC)	ガボン	平成9年3月	平成10年1月	リース	EPS社
MARATHON Tchatamba FSO(注) 5 (MARATHON PETROLEUM GABON LDC)	ガボン	平成9年3月	平成10年1月	リース	EPS社
PEMEX Cantarell FSO(注) 6 (PEMEX EXPLORACION Y PRODUCCION)	メキシコ	平成9年6月	平成10年8月	チャーター	CFI社
NEXEN Buffalo FPSO(注) 7 (NEXEN INC.)	豪州	平成10年10月	平成11年12月	チャーター	BFPTE社
Blue Sky Langsa FPSO(注) 8 (BLUE SKY LANGSA LTD.)	インドネシア	平成13年3月	平成13年11月 平成16年11月 再開	チャーター	PTAP社
SHELL Bijupira-Salema FPSO (SHELL OIL DO BRASIL LTDA)	ブラジル	平成13年5月	平成15年8月	オペレーション	MSPB社
PETRONAS CARIGALI Ruby FPSO(注) 9 (PRODUCTION TECHNICAL SERVICES CO LTD.)	ベトナム	平成14年10月	平成14年10月	オペレーション	MMS社
CLJOC Su Tu Den FPSO(注) 10 (CUU LONG JOINT OPERATING CO.)	ベトナム	平成14年12月	平成15年10月	チャーター	MFBV社
CNR Baobab FPSO (CNR INTERNATIONAL (COTE D'IVOIRE) S. A. R. L.)	コート ジボアール	平成15年7月	平成17年5月	チャーター	MV10BV社
SANTOS Mutineer-Exeter FPSO (SANTOS LIMITED)	豪州	平成15年11月	平成17年3月	チャーター	MV11BV社
PEARL Jasmine FPSO (PEARL ENERGY PTE LTD.)	タイ	平成16年12月	平成17年6月	チャーター	JFPTE社
KNOC Rong Doi FSO (KOREA NATIONAL OIL CORPORATION)	ベトナム	平成17年5月	平成19年1月	チャーター	MV12BV社
PETROBRAS Espadarte Sul FPSO (PETROLEO BRASILEIRO S. A.)	ブラジル	平成17年7月	平成19年1月	チャーター	MV14BV社
PETROBRAS PRA-1 FSO (PETROLEO BRASILEIRO S. A.)	ブラジル	平成17年12月	平成19年11月	チャーター	MV15BV社
BHPBP Stybarrow FPSO (BHP BILLITON PETROLEUM PTY LTD.)	豪州	平成18年3月	平成19年11月	チャーター	MV16BV社
JVPC Rang Dong FSO (JAPAN VIETNAM PETROLEUM CO., LTD.)	ベトナム	平成18年7月	平成20年11月	チャーター	MV17BV社
PETROBRAS Opportunity Oil FPSO (PETROLEO BRASILEIRO S. A.)	ブラジル	平成18年12月	平成21年2月	チャーター	MV18BV社
TSJOC Song Doc FPSO (TRUONG SON JOINT OPERATING COMPANY)	ベトナム	平成19年5月	平成20年11月	チャーター	MV19BV社
BHPBP Pyrenees FPSO (BHP BILLITON PETROLEUM PTY LTD.)	豪州	平成19年6月	平成22年2月	オペレーション	MMS社
PETROBRAS Opportunity Gas #2 FPSO (PETROLEO BRASILEIRO S. A.)	ブラジル	平成20年2月	平成22年7月	チャーター	MV20BV社

プロジェクト名 (契約先)	操業国	受注年月	操業開始年月	契約形態	運営会社
TULLOW Jubilee FPSO (TULLOW GHANA LTD.)	ガーナ	平成20年8月	平成22年12月	チャーター	MV21BV社
PETROBRAS Tupi Pilot FPSO (PETROLEO BRASILEIRO S. A.)	ブラジル	平成20年8月	平成22年10月	チャーター	MV22BV社
PETROBRAS Guara FPSO (PNBV)	ブラジル	平成22年8月	平成25年(予定)	チャーター	MV23BV社

- (注) 1 MARATHON Kakap FPSOプロジェクトは、契約先によるパーチェスオプション(事後購入権)の行使により、平成21年12月にリース契約を終了いたしました。
- 2 CHEVRON Anoa FPSOプロジェクトは、契約先によるパーチェスオプション(事後購入権)の行使により、平成8年3月にリース契約を終了いたしました。
- 3 CONOCPHILLIPS Elang/Kakatua FPSOプロジェクトは平成19年7月にチャーター契約を終了いたしました。
- 4 MOPUとは、Mobile Offshore Production Unitの略称であり、海洋上でプラットフォームを移動することが可能な固定式海洋石油・ガス生産設備であります。なお、MARATHON Tchatamba MOPUプロジェクトは、契約先によるパーチェスオプションの行使により、平成16年4月にリース契約を終了いたしました。
- 5 MARATHON Tchatamba FPSOプロジェクトは平成15年1月にリース契約を終了し、フィールドから撤去後に売却されました。
- 6 PEMEX Cantarell FPSOプロジェクトは平成20年9月15日にチャーター契約を終了いたしました。
- 7 NEXEN Buffalo FPSOプロジェクトは平成16年12月にチャーター契約を終了いたしました。なお、本FPSOは平成17年6月よりPEARL Jasmine FPSOプロジェクトにおいて再チャーターに供されております。
- 8 MEDCO/MOECO Langsa FPSOプロジェクトは、平成14年10月にMATRIX OIL(LANGSA)LTD. 社とのチャーター契約を解消して事業を中断しておりましたが、三井石油開発株式会社とPT. Medco Energi Internasional Tbk. が共同して同鉱区の開発主体となるMEDCO MOECO Langsa Ltd. 社を設立して再開を進めた結果、平成16年11月より同鉱区でのチャーターを再開いたしました。平成21年7月には契約先がBLUE SKY LANGSA LTD. に変更となり、これに伴いプロジェクト名もBlue Sky Langsa FPSOに変更となっております。なお、当該プロジェクトを運営するPT ARAH PRANA社(PTAP社)を平成23年1月末にBLUE SKY ENERGY AND POWER, INC. へ売却しております。
- 9 PETRONAS CARIGALI Ruby FPSOプロジェクトは平成18年1月にオペレーション契約を終了いたしました。
- 10 CLJOC Su Tu Den FPSOプロジェクトは、契約先によるパーチェスオプション(事後購入権)の行使により、平成20年10月にチャーター契約を終了いたしました。
- 11 上記の操業開始年月につき、予定をもって記載したものについては、有価証券報告書提出日現在における予定であり、その時期が変わる可能性もあります。

4 【関係会社の状況】

名称	住所	資本金又は 出資金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有又は 被所有 割合(%)	役員 の 兼任等 (人)	関係内容
(親会社) 三井造船株式会社 (注) 2 (注) 3	東京都中央区	44,384	総合エンジニア リング	被所有 50.1	2	設計支援委託等
(連結子会社) MODEC INTERNATIONAL, INC. (注) 4	米国	米ドル 5,533	FPSO等の設計・建 造・据付、販売及 びオペレーション	100.0	3	FPSO建造工事委託等
FPSO PTE LTD.	シンガポール	シンガポールドル 750,000	株式の保有	100.0	-	業務支援等
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD. (注) 4、6	シンガポール	シンガポールドル 100	エンジニアリングサ ービス、FPSO等 の設計・建造・据 付	100.0 (100.0)	1	エンジニアリングサ ービス、業務支援等、 債務保証等
MODEC LIBERIA, INC.	リベリア	米ドル 5,000	FPSOのリース	100.0	-	業務支援等
CANTARELL FSO, INC., S.A. DE C.V.	メキシコ	メキシコペソ 50,000	FSOのチャーター	60.0 (1.0)	-	業務支援、 債務保証等
ELANG EPS PTE LTD.	シンガポール	シンガポールドル 500,000	FPSOのチャーター	70.0 (70.0)	-	業務支援等
SISTEMAS FLOTANTES DE ALMACENAMIENTO S.A. DE C.V.	メキシコ	メキシコペソ 50,000	FSOのオペレーシ ョン	60.0 (60.0)	1	該当事項なし
LANGSA FPSO PTE LTD.	シンガポール	シンガポールドル 500,000	関係会社への業務 支援	100.0	-	業務支援等
MODEC MANAGEMENT SERVICES PTE LTD. (注) 4	シンガポール	米ドル 26,781,369	FPSO/FSOのオペレ ーション	100.0 (0.0)	2	業務支援等
MODEC SERVIÇOS DE PETROLEO DO BRASIL LTDA.	ブラジル	レアル 3,940,581	FPSOのオペレーシ ョン	99.0 (99.0)	-	該当事項なし
MODEC OFFSHORE OPERATIONS, LTD.	英領ヴァージン諸島	米ドル 100	FPSOのオペレーシ ョン	100.0 (100.0)	1	該当事項なし
MODEC PRODUCTION (LANGSA) PTE LTD.	シンガポール	シンガポールドル 10,000	関係会社への業務 支援	100.0	-	業務支援等
NATIONAL D' OPERATIONS PETROLIERES DE COTE D' IVOIRE	コートジボアール	CFAフラン 10,000,000	FPSOのオペレーシ ョン	99.7 (99.7)	-	業務支援等
MODEC HOLDINGS B.V. (注) 4	オランダ	ユーロ 44,860,000	株式等の保有	100.0	-	業務支援等
COTE D' IVOIRE OFFSHORE OPERATIONS, INC.	米国	米ドル 1,000	関係会社への業務 支援	100.0	-	業務支援等
SOFEC, INC.	米国	米ドル 26,600	係留システムの設 計・製造・販売	51.0 (51.0)	3	業務支援、 債務保証等
PT ARAH PRANA (注) 5	インドネシア	インドネシアルピア 3,000,000,000	FPSOのチャーター	49.0	1	業務支援、 債務保証等
MODEC ANGOLA LDA.	アンゴラ	アンゴラクワンザ 1,500,000	関係会社への業務 支援	100.0 (100.0)	-	債務保証等
MODEC GHANA, LTD.	ガーナ	ガーナセディ 60,000	FPSOのオペレーシ ョン	100.0 (100.0)	-	該当事項なし
SOFEC SERVICES L. L. C.	米国	米ドル 10,000	保守業務	100.0 (100.0)	-	該当事項なし
SOFEC FLOATING SYSTEMS PTE. LTD.	シンガポール	シンガポールドル 1	係留システムの設 計・製造・販売	100.0 (100.0)	-	該当事項なし
MODEC VENTURE 11 B.V. (注) 4	オランダ	ユーロ 37,250,000	FPSOのチャーター	60.0	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
RANG DONG MV17 B.V.	オランダ	ユーロ 40,000	FSOのチャーター	65.0 (65.0)	-	FSO建造工事受託、 債務保証等
(持分法適用非連結子会社)						
JUBILEE GHANA MV21 B.V.	オランダ	ユーロ 20,000	FPSOのチャーター	100.0 (100.0)	1	FPSO建造工事受託、 債務保証等
GUARA MV23 B.V.	オランダ	ユーロ 20,000	FPSOのチャーター	100.0 (100.0)	1	FPSO建造工事受託、 債務保証等

名称	住所	資本金又は 出資金 (百万円)	主要な事業 の内容	議決権の 所有又は 被所有 割合(%)	役員の 兼任等 (人)	関係内容
(持分法適用関連会社) JASMINE FPSO PTE LTD.	シンガポール	シンガポールドル 500,000	FPSOのチャーター	50.0	-	業務支援等
MODEC VENTURE 10 B.V.	オランダ	ユーロ 22,644,000	FPSOのチャーター	50.0	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
RONG DOI MV12 PTE LTD.	シンガポール	米ドル 20,000	FSOのチャーター	42.0	-	FSO建造工事受託、 債務保証等
ESPADARTE MV14 B.V.	オランダ	ユーロ 32,900,000	FPSOのチャーター	32.5	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
PRA-1 MV15 B.V.	オランダ	ユーロ 39,596,900	FSOのチャーター	32.5	-	FSO建造工事受託、 債務保証等
STYBARROW MV16 B.V.	オランダ	ユーロ 25,880,756	FPSOのチャーター	40.0 (40.0)	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
キャメロンジャパン(株)	東京都千代田区	12	分離生産用機器の 設計・製作・販売	20.0	1	業務支援等
OPPORTUNITY MV18 B.V.	オランダ	ユーロ 36,370,000	FPSOのチャーター	45.0 (45.0)	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
SONG DOC MV19 B.V.	オランダ	ユーロ 40,000	FPSOのチャーター	50.0 (50.0)	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	オランダ	ユーロ 38,678,800	FPSOのチャーター	50.0 (50.0)	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
TUPI PILOT MV22 B.V.	オランダ	ユーロ 60,000	FPSOのチャーター	42.5 (42.5)	-	FPSO建造工事受託、 債務保証等
MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS, PTE. LTD.	シンガポール	米ドル 100,000	FPSOの建造	50.0	1	FPSO建造工事委託等

(注) 1 上記は平成22年12月31日現在の状況であります。また、「議決権の所有又は被所有割合」の()内は、間接所有割合を内書きで表示しております。

2 当社は、当社グループの経営に対する総合的な助言を得ること及び監査体制の強化を図ることを目的として、三井造船株式会社より次のとおり社外役員を招聘しております。

当社における役職	氏名	三井造船株式会社における役職
取締役 (社外取締役)	永 田 憲 夫	常務取締役 船舶・艦艇事業本部長
取締役 (社外取締役)	山 下 俊 一	常務取締役 環境・プラント事業本部長
監査役 (社外監査役・非常勤)	西 畑 彰	船舶・艦艇事業本部 企画管理部長
監査役 (社外監査役・非常勤)	宗 田 勝	船舶・艦艇事業本部 船舶海洋営業部部長

注) 上記は、有価証券報告書提出日(平成23年3月30日)現在の兼務状況であります。

3 有価証券報告書の提出会社であります。

4 特定子会社であります。

5 持分は100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため子会社としたものであります。

6 MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD. については、売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等

(単位：百万円)

	MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS(SINGAPORE) PTE. LTD.
売上高	95,358
経常利益	5,608
当期純利益	4,443
純資産額	9,960
総資産額	39,822

5 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

(平成22年12月31日現在)

従業員数(名)	611 (1,799)
---------	-------------

- (注) 1 当社グループは事業の種類別セグメントを記載しておりませんが、事業部門等に関連付けて記載することが困難なため、連結会社の合計で表示しております。
- 2 従業員数は就業人員をもって表示しており、正社員、嘱託、受入出向者等の人数であります。また、このほかに派遣社員等の臨時社員がありますが、これらの当連結会計年度の平均人数を()にて外数で表示しております。臨時社員とは、プロジェクト推進のための技術者及びFPSO等のオペレーションに要するクルー等の操業要員といった一時的な雇用関係にある社員です。臨時社員的人数は、プロジェクトの進行状況及びオペレーションの操業状況により変動いたします。

(2) 提出会社の状況

(平成22年12月31日現在)

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(千円)
82 (19)	42.8	7.4	9,101

- (注) 1 従業員数は就業人員をもって表示しており、正社員、嘱託、受入出向者等の人数であります。また、このほかに派遣社員等の臨時社員がありますが、これらの当事業年度の平均人数を()にて外数で表示しております。臨時社員とは、プロジェクト推進のための技術者等の要員であります。臨時社員的人数は、プロジェクトの進行状況により変動いたします。
- 2 従業員数は、当社から社外への出向者は除き、社外から当社への出向者を含めて表示しております。
- 3 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。
- 4 前事業年度末に比べ従業員数が33名減少しておりますが、これは主として関係会社への出向によるものであります。

(3) 労働組合の状況

労働組合との間に特記すべき事項はありません。

第2 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(1) 業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益が増益となるなど持ち直しの動きは見られたものの、耐久消費財に対する政策効果の反動や、雇用・所得環境の改善の遅れから、景気は足踏み状態にあります。一方、海外では、欧米の雇用情勢は厳しい状況が継続しているものの、中国・インドなどの新興国における高成長から景気は緩やかに回復しております。原油価格は投機資金の流入も手伝ってWTIは1バレル90ドルを超える水準まで上昇しております。

当社グループが特化する浮体式海洋石油・ガス生産設備に関わる事業は、メキシコ湾で発生した原油流出事故の影響が懸念されたものの、ブラジルや西アフリカ海域等では引き続き大規模な海洋油田やガス田の開発が計画されており、今後も中長期的に安定的な成長が期待されております。

当連結会計年度においては、ブラジルの国営石油会社Petroleo Brasileiro S.A. (Petrobras社)より、同社の子会社であるPNBV社を通じて、Petrobras社、BG社、Repsol社の3社によるコンソーシアムが保有するBM-S-9ブロックのGuara鉱区で用いられるFPSOの建造及びチャーター契約の発注内示を受けました。

Guara鉱区はリオデジャネイロの沖合約300kmに位置し、海底下約5,000mの岩塩層の下にある巨大油田であり、本FPSOは平成24年第4四半期に現地に到着し水深約2,140mの海上に係留される予定となっております。

既受注プロジェクトに関わる仕様変更及びオペレーションサービスの受注を加えた受注高は173,835百万円（前年比286.2%増）となりました。FPSOの建造工事は順調に進捗したものの、既受注の大型プロジェクトの引渡しが進んだことから工事の進行に従って計上する売上はピークを越え、チャーター及びオペレーションサービスと合わせた売上高は146,660百万円（前年比28.2%減）となりました。

利益面では、Tullow社向けプロジェクト契約の見直しに伴う調整で一時的な利益を計上した前年に対し、建造工事に伴う未実現利益の消去額が増加したこと等によって営業利益が3,563百万円（前年比14.5%減）、経常利益は6,156百万円（前年比17.4%減）となりました。一方、FPSOの廃棄に伴う特別損失を計上した前年に比べ、当連結会計年度の当期純利益は増益となり、2,735百万円（13.4%増）となりました。

当連結会計年度におけるサービス別の売上高は、次のとおりです。

① 建造工事

Petrobras Opportunity Gas #2 FPSO、Tupi Pilot FPSO並びにGuara FPSO、BP Angola PSVM FPSO及びTullow Jubilee FPSOの建造工事が順調に進捗いたしました。

以上の結果、建造工事の売上高は118,643百万円（前年比34.4%減）となりました。

② リース、チャーター及びオペレーション

次の各プロジェクトが所定のサービスを提供した結果、チャーター及びオペレーションの売上高は20,258百万円（前年比15.0%増）となりました。

<当社グループ保有設備のチャーターサービス>

FSO Ta' Kuntah (PEMEX社向け、メキシコ)
FPSO Jasmine Venture MV 7 (PEARL社向け、タイ)
FPSO MV 8 Langsa Venture (BLUE SKY社向け、インドネシア)
FPSO Baobab Ivoirien MV10 (CNR社向け、コートジボアール)
FPSO MODEC Venture 11 (SANTOS社向け、オーストラリア)
FSO Rong Doi MV12 (KNOC社向け、ベトナム)
FPSO Cidade do Rio de Janeiro MV14 (PETROBRAS社向け、ブラジル)
FSO Cidade de Macae MV15 (PETROBRAS社向け、ブラジル)
FPSO Stybarrow MV16 (BHPBP社向け、オーストラリア)
FSO Rang Dong MV17 (JVPC社向け、ベトナム)
FPSO Cidade de Niteroi MV18 (PETROBRAS社向け、ブラジル)
FPSO Song Doc Pride MV19 (TSJOC社向け、ベトナム)
FPSO Cidade de Santos MV20 (PETROBRAS社向け、ブラジル)
FPSO Kwame Nkrumah MV21 (TULLOW社向け、ガーナ)
FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22 (PETROBRAS社向け、ブラジル)

<客先保有設備のオペレーションサービス>

FPSO Fluminense (SHELL社向け、ブラジル)
FPSO Pyrenees Venture (BHPB社向け、オーストラリア)

③ その他

当社グループが建造したFPSO等のアフターサービスとして、部品供給やエンジニアリングサポート等のサービスを提供いたしました。

これらの売上高は7,759百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

当連結会計年度における所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

当地域は、当社のPETROBRAS社向けGuara鉱区の建造工事が進捗いたしました。この結果、売上高は38,588百万円（前年同期比226.1%増）、営業損失が113百万円（前年同期は営業利益1,000百万円）となりました。

② アジア

当地域は、在シンガポール各社がリース、チャーター及びオペレーションサービスを提供いたしました。この結果、売上高は10,896百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益が279百万円（前年同期は営業損失348百万円）となりました。

③ 中南米

当地域は、CANTARELL FSO INC., S.A. DE C.V. 社のチャーター業務が所定のサービスを提供しました。なお、当連結会計年度はオペレーション要員の人件費上昇等により、オペレーションサービスの採算が悪化いたしました。この結果、売上高は858百万円（前年同期比14.2%減）、営業損失が185百万円（前年同期は営業損失162百万円）となりました。

④ 北米

当地域は、MODEC INTERNATIONAL, INC. 社においてブラジル、西アフリカ海域向けのチャーターに供するFPSOの建造工事を中心に順調に進捗いたしました。この結果、売上高は96,317百万円（前年同期比23.2%減）、営業利益は3,707百万円（前年同期比47.2%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの収入以上の投資活動によるキャッシュ・フローの支出がありましたが、当社グループ内のキャッシュ・マネジメントを強化し、借入金の返済に努めた結果、前年同期に比べて19,383百万円減少し、12,122百万円となりました。当連結会計年度のキャッシュ・フローの概況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前連結会計年度に比べて44,601百万円増加し、7,502百万円の収入となりました。これはFPS0等の建造工事に係わる売上債権の回収時期と買掛金の支払い時期のバランスによる変動であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

FPS0等の建造工事費用の一部の関連会社向け貸付金が増加したことにより、投資活動によるキャッシュ・フローは、21,635百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

リース及びチャータープロジェクトに係る長期借入金の返済9,617百万円等があったものの、新株の発行による収入15,588百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは、7,668百万円の収入となりました。

2 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

サービス別	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
完成工事高	118,643	65.6
合計	118,643	65.6

- (注) 1 上記の金額は、FPSO、FSO及びTLPの設計・建造・据付並びにその他の工事に係る完成工事高であります。
 2 金額は、販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

サービス別	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
建造工事	122,927	399.9	69,764	91.0
リース、チャーター及び オペレーション	43,147	500.4	160,150	116.9
その他	7,759	137.4	—	—
合計	173,835	386.2	229,914	107.6

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 上記の他に、持分法適用関連会社及び持分法適用非連結子会社の「リース、チャーター及びオペレーション」に関する当社持分相当の受注残高は144,765百万円であります。

(3) 販売実績

サービス別	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
建造工事	118,643	65.6
リース、チャーター及びオペレーション	20,258	115.0
その他	7,759	137.4
合計	146,660	71.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 最近2連結会計年度における主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
BP EXPLORATION (ANGOLA) LTD.	37,791	18.5	33,842	23.1
GUARA MV23 B.V.	(注)	(注)	33,068	22.5
TUPI PILOT MV22 B.V.	42,947	21.0	25,472	17.4
TULLOW GHANA LTD.	57,214	28.0	(注)	(注)
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	25,905	12.7	(注)	(注)

(注) 該当期において売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

3 【対処すべき課題】

(1) 石油会社へのトータル・ソリューションの提供

石油は再生できない地下埋蔵資源であり、観念的にはいずれ枯渇する有限の資源であります。可採埋蔵量年数は過去一貫して40年前後で推移しており、今後もこの水準を維持するものと予測されております。これは、新規油田の発見のほか、油田開発技術の進歩によって従来は開発が困難とされていた油田での商業的な生産が可能となり、可採埋蔵量が増加しているためであります。海洋は陸上に比べて未踏査の地域が多く、今後の探査・探鉱による新たな油田の発見に対する期待も大きいことから、海洋油田の重要性はますます高まる方向にあります。

海洋石油・ガス生産設備は、生産設備を搭載するプラットフォームの形態によって固定式と浮体式に大別されます。

固定式は海底にプラットフォームを固定する方式で、設備本体のほかに海底パイプライン、陸上の貯蔵タンク及び港湾積出施設等のインフラを建設するために多額の投資が必要となります。FPSOをはじめとする浮体式は、こうしたインフラを必要とせず、出油までの工期も短期間で済むため、固定式と比べて経済的です。また、高度な係留技術を利用することによって大水深海域での石油生産にも対応することができます。

これまで開発が困難とされてきた海域での開発や商業的な生産を可能とする浮体式海洋石油・ガス生産設備に関わる事業は、今後も安定的に成長が見込まれる分野であり、特に1,500mを超える大水深海域など難度の高いプロジェクトについては、当社を含む上位企業による寡占化が進んでおります。当社グループは、海洋油田の開発・生産技術の進歩並びに石油開発会社におけるアウトソーシング化の流れの中で、従来石油開発会社が所掌としていた分野にも業容を広げ、新たな開発手法の提案などの総合的なソリューションを提供することによって、事業の拡大と収益性の向上を図ってまいります。

(2) 天然ガス・次世代エネルギーへの対応

天然ガスは埋蔵量が多く、今後のクリーンエネルギーの代表として期待されておりますが、ガスという性状から輸送効率が大きな問題となります。これらに対応するため、触媒を介して天然ガスを液化するGTL※プラントや、天然ガスをメタノールに転換するメタノールプラント等の天然ガス液化技術が開発されております。

海洋ガス田では、生産したガスをパイプラインによって陸上に送り、陸上のプラントで液化した後にLNG船やLPG船で消費地まで輸送する方法が一般的です。しかしながら、液化プラントの建設や、陸上までのパイプライン敷設に多額の投資を必要とするため、商業化の困難な場合が多いようです。

当社グループではLNG、LPG又はGTLプラントを浮体式構造物上に搭載したFPSOに関する技術の研究や、LNGを輸入する際の洋上受入基地として期待されているFloating Storage and Regasification Unit (FSRU) の開発に取り組んでおります。

平成19年11月より、東洋エンジニアリング株式会社、米国Velocys社と洋上GTLプラントの共同開発契約を締結し、石油随伴ガスや天然ガスを洋上で液化し、石油類似製品を経済的に生産することができるコンパクトな洋上GTLプラントの技術の確立に取り組んでおります。この共同開発では、海洋ガス田開発における新たなソリューションとして、平成24年までにマイクロチャンネルと呼ばれる技術を用いたGTLプラントをFPSO上に搭載することを目指しております。

※GTL (Gas-to-Liquid)

ガスを液化するシステムやコンセプトの総称。体積のかさむガスを輸送に適した液体に転換することがガス開発の要点となっており、各種のGTLシステムが開発されております。

(3) グループ体制の強化

① MODEC Ichi-ban Revolutionの推進

当社グループは、世界各地において展開している浮体式設備のマーケティング並びに建造事業、及びFPSO/FSOのチャーター並びにオペレーションサービス事業を、それぞれの責任者がグローバルに統括し、グローバルに事業を推進する企業グループにふさわしい経営体制の整備を推進しております。

こうした事業体制をより強化することにより、経営資源を一層効率的に活用し、プロジェクト遂行能力と品質を共に向上させ、急速な拡大を示す浮体式設備市場においてより一層の成長を目指してまいります。また、企業グループとしての求心力を強め、より柔軟かつ強力な組織を構築いたします。

② プロジェクト・マネジメントの強化と人材の育成

浮体式海洋石油・ガス生産設備の性能や安全性に対する評価が定着したことにより、これらの設備を大規模海洋油田の開発に利用するプロジェクトが増加し、FPSO等も大型化する傾向にあります。当社グループは、事業の発展と拡大を期して、従来以上の数のプロジェクト獲得を推進していく方針であります。

FPSO等の設計・建造・据付に関する事業では、設置されるフィールドの多様な海気象条件や受注先である石油開発会社のニーズに応じて、多岐にわたる要素技術を組み合わせて最適化を図ると共に、サブコントラクターといわれる多数の外注先に対して品質、予算、工程及び納期を管理するなど、総合的なマネジメントを徹底することが重要であります。このため、当社グループはプロジェクトマネジメント力の強化、特にプロジェクトマネジャーをはじめとする人材の育成を図ってまいります。

また、当社グループが現在17基について請け負っているオペレーションを通じて培った経験を、新規プロジェクトに設計段階からフィードバックし、安全で効率性の高いFPSO等の建造に生かす活動にも取り組んでおります。こういったナレッジ・マネジメント・システムの構築によって、これまでに蓄積した技術、ノウハウ及び経験の共有化を図るほか、サブコントラクターとの連携並びに協力体制を強化し、さらなる発展を目指してまいります。

(4) 資金調達の多様化

プロジェクトの大型化及びFPSO等のチャータープロジェクト数の増加に伴い、当社グループの資金需要は拡大しております。当社では、増資や金融機関からの借り入れによる資金調達のほか、三井住友銀行をアレンジャー及びエージェントとするシンジケート団と1億1千万米ドルのコミットメントラインを締結するなど、資金調達力の強化に努めてまいりました。リース及びチャータープロジェクトの遂行に際してプロジェクトファイナンスを活用するなど、資金調達手法の多様化を進めると共に、総合商社を中心とするパートナーとの提携により、資金負担の軽減を図っていく方針であります。

4 【事業等のリスク】

当社グループの経営成績、株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクには以下のようなものがあります。

なお、文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成23年3月30日）現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の変動要因について

① プロジェクト1件当たりの受注高が多額であること

海洋油田の規模や石油生産量に対応して、浮体式海洋石油・ガス生産設備は大型化する傾向にあります。当社がFPSO等の建造を行う場合の受注額は、最近におきましては1件につき500億円を超える大規模なものとなっております。

FPSO等の建造には2年から3年を要しますので、工事進行基準にて計上する売上高は、特定の事業年度に集中することが多くなります。従って、受注または進行中のプロジェクトの販売形態、数、受注規模、収益性及びFPSOを保有する事業会社への出資比率によって、当社グループの業績が大きく変動する可能性があります。

② 石油開発会社の開発投資動向

ここ数年、原油価格が上昇してきたことによって石油開発会社の開発投資に対する意欲が高まり、海洋油田の発見がこれまで探査の行われていなかった大水深海域に拡大していることを背景として、浮体式海洋石油・ガス生産設備の稼働数及び発注数は増加してきました。

しかしながら、原油価格下落が続いた場合や、海洋油田が所在する国や地域における政治・経済等の情勢が著しく変化して原油価格が変動したり、原油価格市場が低迷するような場合には、石油開発会社の投資動向が影響を受ける可能性があります。石油開発会社が投資を縮小する場合、まず探鉱活動に対する投資から着手しますが、長期にわたって市況が低迷すると開発投資を縮小することになり、当社グループの業績もその影響を受ける可能性があります。

③ 進行中のプロジェクトの中断等によるリスクについて

当社グループが石油開発会社に提供しているFPSO等のリース、チャーター及びオペレーションに関わるサービスは、契約期間も長期にわたっており、安定した収入を期待できる事業であります。

操業を行っている海域における台風等の自然災害や、鉱区を保有する国の政情などによってサービスの提供が中断するリスクについては、客先である石油開発会社との契約において当社グループの免責を明文化することや保険の付保といった手段によって当社グループに損害が及ばないように努めております。

しかしながら、事前に予期することが困難な事態の発生によってプロジェクトが中断した場合には、当社グループの業績に一時的な影響を及ぼす可能性があります。

④ 為替変動の影響について

当社グループは海外での事業を中心としており、連結売上高に占める海外売上高の割合は平成22年12月期においてほぼ100%となっております。

販売先やFPSO等の建造工事に係る仕入先及び外注先など取引先の多くは海外の企業であるため、事業上の取引及び資金収支の大半は米ドルを中心とした外貨によっております。従って、取引やその決済収支において為替変動による影響を直接受けることはありません。

しかしながら、決算上は外貨建ての資産・負債、収益・費用を円貨に換算する割合が大きいため、決算日における為替相場の変動は連結決算上の円貨換算額に影響を与える可能性があります。

(2) 財務内容について

FPSO等の浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造にあたっては多額の資金を要するほか、これを当社グループが保有して石油開発事業者にリース、チャーターを行う場合は、そのリース、チャーター期間は一般に5～10年と建造資金の回収に長期間を要することになります。

当社グループはこうした事業資金を主に借入金によって調達しているため、平成22年12月末における連結ベースの借入金残高は31,377百万円で、負債純資産合計に占める割合は21.4%と高くなっておりま

す。当社グループでは金利スワップを用いるなど金利変動リスクの低減に努めておりますが、金利の変動によって当社グループの業績が影響を受ける可能性があります。

また、今後もFPSO等に係る新規プロジェクトを開始する場合には、新たに資金調達を行う必要があります。当社グループは、プロジェクトの推進にあたり総合商社をはじめとする事業パートナーとの連携によって資金負担の軽減を図るほか、プロジェクトファイナンスの利用によるリスクの遮断も行っていく方針であります。

しかしながら、入札にあたって所要資金を十分に調達することが困難であったり、金利等の資金調達条件が悪化した場合には、プロジェクトの受注及び収益性に影響を及ぼす可能性があります。

(3) Petrobras社による訴訟の提起について

当社グループはブラジルにおいて、Petrobras社より、平成9年3月にブラジルのMaritima Petroleoe Engenharia LTDA (Maritima社) が受注し、当社が共同受注者として参画したFPSO建造プロジェクトに関する訴訟の提起を受けております。

訴状によれば、Petrobras社はMaritima社が本プロジェクトに関して外部業者への支払不履行を起こした際、プロジェクトの遅延を懸念してこれらの費用を立て替えて支払ったが、Maritima社がこの費用の返還請求に応じなかったため、同社と同社の子会社であるMaritima Overseas, Inc. 及び共同受注者であった当社に対する返還請求訴訟を提起した、とされております。

当社グループは訴訟の対象となっているプロジェクトにおいて所掌業務を問題なく完了しており、問題とされている取引に関与していないこと、また受注に際してMaritima社と締結した契約において所掌業務以外の事項に関する当社の免責を確認していること等により、当社グループには支払い義務がないものと認識しております。

なお、Petrobras社による返還請求金額は42,465千米ドル及び資金返還日までの金利相当額であります。

5 【経営上の重要な契約等】

当社グループの経営上の重要な契約は以下のとおりであります。

(1) TLPの建造に関する技術提携契約

契約会社名	相手方の名称	契約期間等	契約内容
当社	SEA ENGINEERING ASSOCIATES, INC. (米国)	① 締結年月日 平成8年6月14日 ② 契約期間 平成8年6月14日から17年間で、契約終了の30日前までに更新しない旨の書面通知のない限り、2年間毎の自動更新であります。	SEA ENGINEERING ASSOCIATES, INC. 社及び AMCLYDE ENGINEERED PRODUCTS, INC. 社が有しているTLPに係る特許権について、独占的な実施権の許諾を受ける重要な契約であります。 当社は実施権の対価として、プロジェクト受注毎に一定のロイヤリティを支払うことになっております。
	AMCLYDE ENGINEERED PRODUCTS, INC. (米国)		

(2) 洋上GTLプラントの共同開発協定

契約会社名	相手方の名称	契約期間等	契約内容
当社	VELOCYS, INC. (米国)	① 締結年月日 平成19年11月1日 ② 契約期間 平成19年11月1日から終了合意日まで	洋上GTLプラントの開発・商用化のための3社による共同開発協定
	東洋エンジニアリング(株) (日本)		

(3) 業務提携契約

契約会社名	相手方の名称	契約期間等	契約内容
当社	三井物産(株) (日本)	① 締結年月日 平成22年2月26日 ② 契約期間 平成22年2月26日から終了合意日まで	戦略的パートナーとして、経営資源、ノウハウ、ブランド、顧客基盤等を相互に活用することによる、FPSO等に関する事業の共同推進

6 【研究開発活動】

当社グループにおける研究開発活動は、主として「浮体式海洋石油・ガス生産システムにおける新たな製品の開発」について推進しております。

新たな製品の開発では、GTL (Gas-to-Liquid) と呼ばれるメタンガスの改質による合成油に着目しており、海洋油田において生産される石油随伴ガスや天然ガスを洋上で液化して石油類似製品として経済的に生産することができるコンパクトな洋上GTLプラントの技術確立を目指しております。

また、原油価格の高騰を背景に高まっている天然ガスの需要に対応する設備として、LNG FPSOやLNGの受入基地となるFloating Storage & Regasification Unit (FSRU) についても技術の確立に向けた調査・研究を進めております。

当連結会計年度におけるこれら研究開発に係る金額は814百万円であります。

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、有価証券報告書提出日（平成23年3月30日）現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に重要な影響を与える要因

① 関係会社への出資比率

FPSO等のリース、チャーター事業推進にあたっては多額の資金を必要とします。当社グループは、各々のプロジェクトごとに総合商社などと合弁で事業会社を設立することにより、資金負担の軽減を図っております。これらの事業会社に対する当社の出資比率は、プロジェクトの規模やリスク許容度などを総合的に勘案した上で決定しており、プロジェクトによって異なります。

連結財務諸表の作成にあたっては、出資比率などから支配権を有していると判断される関係会社を連結子会社とし、支配権を有しないと判断される関係会社を持分法適用関連会社としております。

事業会社を連結子会社としたプロジェクトのFPSO等建造期間においては、工事進行基準によって計上した期間損益をグループ内取引と認識するため、連結損益計算書において損益が発生しません。連結損益計算書では、建造工事が完工し、リース及びチャーターサービスの提供が開始されてから損益を認識します。また、連結貸借対照表にはFPSO等の固定資産が計上されます。

一方、事業会社を持分法適用関連会社とした場合、建造工事期間において工事進行基準により計上した期間損益は、連結損益計算書に反映されます。ただし、期間損益のうち、当社グループの出資比率に相当する金額はグループ内取引と判断されるため、連結調整によって未実現利益として消去します。建造工事が完工し、当該関連会社がリース及びチャーターサービスの提供を開始すると、その損益のうち当社グループの出資比率に相当する金額を、連結損益計算書において持分法投資損益として計上します。

以上のように、事業会社に対する当社グループの出資比率等により、連結財務諸表への影響は大きく異なっております。

② 未実現損益の消去

プロジェクト規模の大型化が進むに従い、現状の当社グループのリスク許容度を勘案したリース及びチャータープロジェクトのために設立する事業会社に対する当社グループの出資比率は50%以下に止まっております。こうしたプロジェクトでは事業会社が持分法適用会社となりますので、前述のとおり建造工事期間中は工事進行基準によって連結損益計算書に売上高を計上する一方、期間損益のうち当社グループの出資比率に相当する金額を未実現利益として消去しております。

消去した未実現損益は、当該関連会社が所有するFPSO等の減価償却期間に応じて実現させ、連結損益計算書に計上しておりますが、プロジェクトの大型化が急激に進んでいることから、未実現損益の消去額が実現額を大幅に上回っており、連結損益計算書においては損益の悪化要因として影響しております。

なお、過去3年間の連結損益計算書において、営業損益に影響を与える未実現損益の消去額、未実現損益の実現額並びに未実現損益残高の推移を示すと下記のとおりです。

(単位：百万円)

	平成20年12月期	平成21年12月期	平成22年12月期
未実現損益の消去額	1,904	1,350	4,361
未実現損益の実現額	379	1,131	438
差引影響額	△1,524	△218	△3,923
未実現損益の残高	6,254	6,473	10,396

(2) 経営成績に関する分析

① 受注の状況

当連結会計年度は、既存プロジェクトの仕様変更及びオペレーションサービス等に加え、PETROBRAS社向けGuara鉱区FPSO工事を受注したことにより173,835百万円の受注高となりました。受注残高はそれに伴って前年同期比16,246百万円増加し、229,914百万円となりました。また、持分法適用関連会社及び持分法適用非連結子会社の「リース、チャーター及びオペレーション」に関する当社持分相当の受注残高は144,765百万円となりました。

② 売上高の状況

当連結会計年度は、FPSO 6基の建造工事が順調に進捗したこと等によって146,660百万円となりました。

③ 営業利益の状況

営業損益においては、建造工事が順調に推移したことによって3,563百万円となりました。

④ 経常利益の状況

営業外損益においては、持分法投資利益に影響を与える持分法適用関連会社でのチャータープロジェクトが順調に推移したことによって6,156百万円となりました。

⑤ 特別損益の状況

当連結会計年度においては、関係会社の清算に伴い発生した為替換算調整勘定の取崩し等により特別損失は639百万円となりました。

また、FPSO MODEC Venture 1に係る廃棄に伴い固定資産処分益を209百万円計上しております。これらにより特別利益は314百万円となりました。

⑥ 当期純利益の状況

以上の結果、当連結会計年度の当期純利益は2,735百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当社グループの資金の源泉は主に営業活動からのキャッシュ・フローと金融機関からの借入を源泉としておりますが、FPSO等の建造工事においては、工事代金の回収時期と工事費用の支払時期のずれにより当該建造工事に関わる債権債務が一時的に大きく変動し、営業キャッシュ・フローに大きな影響を与えます。当社グループではこれらの建造工事に関わる債権と債務のバランスを図ることで資金効率の向上に努めております。

(4) 財政状態について

当連結会計年度末の資産の状況は、主にFPSO等の建造工事にかかる売掛金の減少により、前連結会計年度末比21,737百万円減少して146,627百万円となりました。

負債は、買掛金及び借入金が減少したこと等により、前連結会計年度末比39,987百万円減少して88,303百万円となりました。

純資産は、当期純利益による増加に加え、第三者割当増資等により、前連結会計年度末比18,250百万円増加して58,323百万円となりました。

(5) 財政状態に重要な影響を与える要因

① 建造工事期間における資金負担

FPS0等を客先に売り渡すプロジェクトの場合、建造工事に要する費用は工事の進行度合いに応じて前受金によって回収しているため、当社グループでは運転資金の調達を必要としません。しかしながら、リース及びチャータープロジェクトの場合、当社グループと総合商社等が合弁で設立する事業会社が建造工事の発注者となるため、当社グループには出資比率に相当する建造工事費用の負担が生じます。

当社グループは、建造工事期間における必要資金（以下、建中資金）を、主に短期借入によって当社が調達して関係会社へ貸し付ける方法、ないしは当社の債務保証によって関係会社が借り入れる方法によって調達しております。

当連結会計年度においては、関連会社向けの建造工事進捗に伴って多額の建中資金が必要となりましたが、当社グループ内のキャッシュ・マネジメントを強化して捻出した資金を関連会社に貸し付けたことから、借入金は減少した一方、多額の関連会社向けの短期貸付金が発生しております。

② 総リスク額の管理

当社グループでは、大型プロジェクトにおける多額の資金負担と、それに伴うリスクとを軽減するため、リース及びチャータープロジェクトのFPS0等への投資資金についてプロジェクトファイナンスによる調達を行っております。それによって当社の債務保証なしに関係会社が長期資金を調達することが可能となり、プロジェクト個々のリスクを当社グループから遮断する効果をもたらします。

当社グループでは、プロジェクトファイナンスを活用すると共に、総合商社などの事業パートナーをプロジェクトに招聘するなどの方策により、総リスク額をコントロールして事業を展開する方針であります。

第3 【設備の状況】

1 【設備投資等の概要】

当連結会計年度においては、情報システムの整備を中心として623百万円の投資を実施しております。

2 【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりであります。

(1) 提出会社

(平成22年12月31日現在)

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額(百万円)				従業員数 (名)
		建物	工具、器具 及び備品	ソフト ウェア	合計	
本社 (東京都千代田区)	事務所	100	52	74	226	82 (19)

- (注) 1 上記事務所の建物は全て賃借により使用しており、年間賃借料は285百万円であります。
 2 従業員数の()内には、臨時従業員数を外書きで表示しております。
 3 現在休止中の主要な設備はありません。
 4 上記のほか、主要な賃借設備はありません。

(2) 在外子会社

(平成22年12月31日現在)

会社名	操業地	サービスの名称	設備の内容	帳簿価額 (百万円)	従業員数 (名)
				機械装置 及び運搬具	
PT ARAH PRANA (注) 1	インドネシア	チャーター	FPSO 1基	617	1 (57)
MODEC VENTURE 11 B.V.	オーストラリア	チャーター	FPSO 1基	7,710	—
RANG DONG MV17 B.V.	ベトナム	チャーター	FSO 1基	6,105	—

- (注) 1 PT ARAH PRANAは平成23年1月末において、BLUE SKY ENERGY AND POWER INC.へ売却しております。
 2 従業員数の()内には、臨時従業員数を外書きで表示しております。

3 【設備の新設、除却等の計画】

(1) 重要な設備の新設等

重要な設備の新設等の計画はありません。

(2) 重要な設備の除却等

重要な設備の除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	102,868,000
計	102,868,000

② 【発行済株式】

種類	事業年度末現在 発行数(株) (平成22年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年3月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	46,408,000	46,408,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります
計	46,408,000	46,408,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

適用はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成22年4月6日	9,000	46,408	7,794	20,185	7,794	20,915

(注) 第三者割当 発行価格 1,732円 資本組入額 866円
割当先 三井造船株式会社 4,509千株、三井物産株式会社 4,491千株

(6) 【所有者別状況】

(平成22年12月31日現在)

区分	株式の状況(1単元の株式数100株)								単元未満株式の状況(株)
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他	計	
					個人以外	個人			
株主数(人)	1	31	25	54	121	6	8,233	8,471	—
所有株式数(単元)	33	56,803	1,152	307,192	62,484	22	36,354	464,040	4,000
所有株式数の割合(%)	0.01	12.24	0.25	66.19	13.46	0.01	7.83	100.00	—

(注) 自己株式663株は、「個人その他」欄に6単元、「単元未満株式の状況」欄に63株含まれております。

(7) 【大株主の状況】

(平成22年12月31日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三井造船株式会社	東京都中央区築地5-6-4	23,251	50.10
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	6,957	14.99
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	1,337	2.88
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート 銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4-16-13)	1,132	2.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	957	2.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	東京都中央区晴海1-8-11	883	1.90
モルガンスタンレーアンドカンパニーインター ナショナルピーエルシー (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証 券株式会社)	25 CABOT SQUARE, CANARYWHARF LONDON, E14 4QA, U.K. (東京都渋谷区恵比寿4-20-3)	758	1.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	686	1.47
双日株式会社	東京都港区赤坂6-1-20	431	0.92
ノーザン トラスト グローバル サービスイ ズ リミテッド リ ノルウェージャン クライ アーツ アカウント (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	50 BANK STREET, CANARY WHARF, LONDON, E14 5NT (東京都中央区日本橋3-11-1)	430	0.92
計	—	36,826	79.35

(注) 1 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)及び同(信託口)の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

2 みずほ信託銀行株式会社及びその共同保有者であるみずほ投信投資顧問株式会社から平成22年12月7日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により、平成22年11月30日現在で以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式の確認ができません。

氏名又は名称	住所	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲1-2-1	2,710	5.84
みずほ投信投資顧問株式会社	東京都港区三田3-5-27	90	0.19
計	—	2,801	6.04

(8) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

(平成22年12月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 46,403,400	464,034	—
単元未満株式	普通株式 4,000	—	—
発行済株式総数	46,408,000	—	—
総株主の議決権	—	464,034	—

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式63株が含まれております。

② 【自己株式等】

(平成22年12月31日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 三井海洋開発株式会社	東京都千代田区霞が関 三丁目2番1号	600	—	600	0.00
計	—	600	—	600	0.00

(9) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 会社法第155条第7号による普通株式の取得

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

区分	株式数(株)	価額の総額(千円)
当事業年度における取得自己株式	60	88
当期間における取得自己株式	—	—

(注) 当期間における取得自己株式には、平成23年3月1日から有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式数は含めておりません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

区分	当事業年度		当期間	
	株式数(株)	処分価額の総額(円)	株式数(株)	処分価額の総額(円)
引き受ける者の募集を行った取得自己株式	—	—	—	—
消却の処分を行った取得自己株式	—	—	—	—
合併、株式交換、会社分割に係る移転を行った取得自己株式	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
保有自己株式数	663	—	663	—

(注) 当期間における保有自己株式数には、平成23年3月1日から有価証券報告書提出日までの単元未満株式の買取りによる株式数は含めておりません。

3 【配当政策】

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主に対する適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当社の剰余金の配当は中間配当と期末配当の年2回行うこととしております。これらの剰余金の配当の決定機関は中間配当については取締役会、期末配当については株主総会であります。

配当については毎年12月31日を基準として期末配当を行うほか、取締役会の決議によって6月30日を基準日として中間配当をすることができる旨を定款で定めております。

上記方針に基づき、当期末配当は、平成23年3月30日開催の第25回定時株主総会において1株当たり11円25銭、総額522百万円と決議されました。この結果、中間配当（1株当たり11円25銭、総額522百万円）と合わせて当期の1株当たり配当は年22円50銭となりました。

内部留保金につきましては、今後予想されるFPS0業界市場の拡大に対応し、当社グループの業績安定に資するリース、チャーター業務に注力すべく、FPS0等へ有効に投資してまいりたいと考えております。

(注) 当期の中間配当に関する取締役会決議日 平成22年8月12日

4 【株価の推移】

(1) 【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

回次	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
決算年月	平成18年12月	平成19年12月	平成20年12月	平成21年12月	平成22年12月
最高(円)	3,850	5,070	4,190	2,050	2,029
最低(円)	2,040	2,610	1,040	985	1,057

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

(2) 【最近6月間の月別最高・最低株価】

月別	平成22年7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	1,468	1,376	1,407	1,343	1,481	1,532
最低(円)	1,206	1,073	1,057	1,121	1,119	1,390

(注) 株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

5 【役員の状況】

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期 (年)	所有 株式数 (株)
代表取締役 社長	—	宮 崎 俊 郎	昭和24年8月21日生	昭和47年4月 平成11年4月 平成14年10月 平成17年3月 平成17年6月 平成18年4月 平成19年6月 平成20年3月 平成23年3月	三井造船㈱入社 同社経理部長 同社経営企画部長 当社監査役 三井造船㈱理事、経営企画部長兼 資産活用プロジェクト室長 同社経営企画部長兼資産活用プロ ジェクト室長兼BPS推進室長 同社取締役 財務部門、経 理部門及びIR・広報担当 当社取締役 当社代表取締役(現任)	1	1,000
取締役	—	浅 間 康 夫	昭和25年11月16日生	昭和49年4月 平成14年3月 平成17年6月 平成18年3月 平成21年6月 平成23年3月	三井造船㈱入社 当社監査役 三井造船㈱船舶・艦艇事業本部 管理部長 当社取締役 三井造船㈱経営企画部長 当社取締役(現任)	1	—
取締役	—	Shashank Karve	昭和30年3月13日生	平成2年2月 平成11年1月 平成13年3月 平成16年3月 平成21年3月	MODEC (U. S. A.), INC. 社(現 MODEC INTERNATIONAL INC. 社)入社 MODEC INTERNATIONAL L. L. C. 社 (現MODEC INTERNATIONAL, INC. 社) COO 同社 President & CEO 当社取締役(現任) 当社専務執行役員(現任) MODEC INTERNATIONAL, INC. 社 Chairman(現任)	1	10,000
取締役	—	永 田 憲 夫	昭和22年5月11日生	昭和46年4月 平成17年6月 平成20年6月 平成21年6月 平成22年3月	三井造船㈱入社 同社取締役 同社常務取締役 同社常務取締役 船舶・艦艇事 業本部長(現任) 当社取締役(現任)	1	—
取締役	—	山 下 俊 一	昭和23年8月2日生	昭和47年4月 平成12年1月 平成15年7月 平成19年6月 平成22年6月 平成23年3月	三井造船㈱入社 同社プラント・エンジニアリン グ事業本部 営業第二部長 同社環境・プラント事業本部 営業部長 同社取締役 環境・プラント事 業本部長 同社常務取締役 環境・プラン ト事業本部長(現任) 当社取締役(現任)	1	—
取締役	—	浦 島 俊 明	昭和27年11月22日生	昭和50年4月 平成18年4月 平成21年4月 平成21年11月 平成23年3月	三井物産㈱入社 同社機械本部機械業務部長兼業 績管理室長 同社理事 船舶・航空業務部長 同社理事 船舶・航空副本部長 (現任) 当社取締役(現任)	1	—

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期 (年)	所有 株式数 (株)
監査役	—	名 倉 修 治	昭和26年5月4日生	昭和51年4月 平成14年11月 平成20年4月 平成21年4月 平成22年4月 平成23年3月	三井物産㈱入社 同社鉄鉱石部長 同社執行役員事業管理部長 同社執行役員情報産業本部長 同社常務執行役員情報産業本部長 当社監査役(現任)	2	—
監査役	—	滝 沢 義 弘	昭和18年5月2日生	昭和42年4月 平成10年4月 平成12年6月 平成15年4月 平成17年3月	㈱三井銀行(現 ㈱三井住友銀行) 入行 ㈱さくら銀行(現 ㈱三井住友銀行) 常務取締役 ㈱三井ファイナンスサービス(現 SMBCファイナンスサービス㈱) 代表取締役社長 SMBCファイナンスサービス㈱代表取締役会長 当社監査役(現任)	2	4,700
監査役	—	西 畑 彰	昭和30年5月27日生	昭和55年4月 平成21年6月 平成22年3月	三井造船㈱入社 同社船舶・艦艇事業本部 企画管理部長(現任) 当社監査役(現任)	2	—
監査役	—	宗 田 勝	昭和29年4月10日生	昭和52年4月 平成15年4月 平成20年6月 平成22年8月 平成23年3月	三井造船㈱入社 同社船舶・艦艇事業本部 船舶海洋営業部部長 同社船舶・艦艇事業本部 商船営業総括部船舶第一営業部長 同社船舶・艦艇事業本部 船舶海洋営業部部長(現任) 当社監査役(現任)	2	—
計							15,700

(注) 1 取締役の任期は、平成22年12月期に係る定時株主総会終結の時から平成23年12月期に係る定時株主総会終結の時までであります。また、監査役の任期は、平成22年12月期に係る定時株主総会終結の時から平成24年12月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

2 所有株式数は平成22年12月末現在の実質持株数を記載しております。

3 取締役永田憲夫、山下俊一及び浦島俊明は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

4 監査役滝沢義弘、西畑彰及び宗田勝は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

なお、平成23年3月30日開催の第25期定時株主総会において取締役の選任が行われ、引き続き開催の取締役会で、以下のとおり代表取締役の異動がありました。

(1) 退任代表取締役

山田健司(旧 代表取締役会長) 昭和23年2月20日生 所有株式数17,700株

矢治信弘(旧 代表取締役社長) 昭和22年10月28日生 所有株式数12,400株

(2) 新任代表取締役

宮崎俊郎(新 代表取締役社長) につきましては、上記の表に記載のとおりであります。

6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

① コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、法令遵守の徹底、株主利益の重視及び経営の透明性確保を経営の基本的理念と考え、コーポレート・ガバナンスの強化に努めております。

また、経営の透明性確保の見地から、情報開示への積極的な取組みを重視し、迅速かつ正確なディスクロージャーに努めております。

② コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

イ) コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は監査役制度を採用しており、監査役及び監査役会を柱とする経営監視体制を構築しております。監査役の員数は社外監査役3名を含む4名であります。

また、取締役会は社外取締役3名を含む6名（定款に規定する定員は15名以内、うち社外取締役は4名以内）の取締役で構成されております。当事業年度において取締役会は臨時取締役会を含めて13回開催され、法定の事項はもとより当社の経営に関する重要事項を取締役会決議によって決定しております。

さらに当社は、執行役員制を導入して業務執行に関わる機能を取締役会から執行役員に移譲しております。執行役員をメンバーとする執行役員会は毎月開催され、取締役会の決定に基づく業務の執行に関する重要事項を決定しております。

また、迅速かつ適切な意思決定を行うための機関として、執行役員並びに会長及び社長が指名したもので構成する経営審議会を設置し、毎週開催しております。経営審議会では重要な業務の執行に関する審議・報告を通じて情報の共有化とメンバーによる意見の意思決定への反映を図っております。

ロ) 現状のコーポレート・ガバナンスを採用している理由

当社は、監査役会設置会社として迅速かつ適切な意思決定と迅速な業務執行を図る一方、次のように適切な監督・監視体制を可能とする体制と判断し、現状のガバナンス体制を構築しております。

- (a) 社外取締役及び社外監査役の選任によって社外からの経営監視機能を取り入れております。
- (b) 執行役員制の導入によって経営の効率化と業務執行の迅速化を期待するとともに、経営と業務執行が分離されることによる取締役会の監督機能強化を図っております。
- (c) 経営審議会は、グループ全体の統括や経営全般にわたる意思決定を行う最高経営責任者の意思決定が独断的なものに陥らないよう審議を行っております。

ハ) その他のコーポレート・ガバナンスに関する事項

○内部監査及び監査役監査の状況

監査役は、監査役会が決定した監査計画に基づく厳格な監査役監査、重要会議への出席などを行っております。

また、業務の適切な運営と内部管理の徹底を図り、リスクマネジメントを強化するための内部統制システムとして、社長直属の監査室を設置して各部門から独立した専任者を3名選任し、監査役との綿密な連携のもとで内部統制機能の向上を図っております。監査室は各部門の業務執行状況について、手続の妥当性や有効性、及び法令・社内規程等の遵守といった観点から内部監査を実施し、その結果を社長に報告しております。

監査役と監査室は、週次で連絡会を開催しており、情報交換・意見交換等を通じて連絡を密にし、監査の実効性と効率性の向上を図っております。

監査法人との関係については、監査の独立性と適正性を監視し、監査計画報告及び四半期毎の会計監査結果報告会を開催して協議を行っております。

○コンプライアンス体制の整備の状況

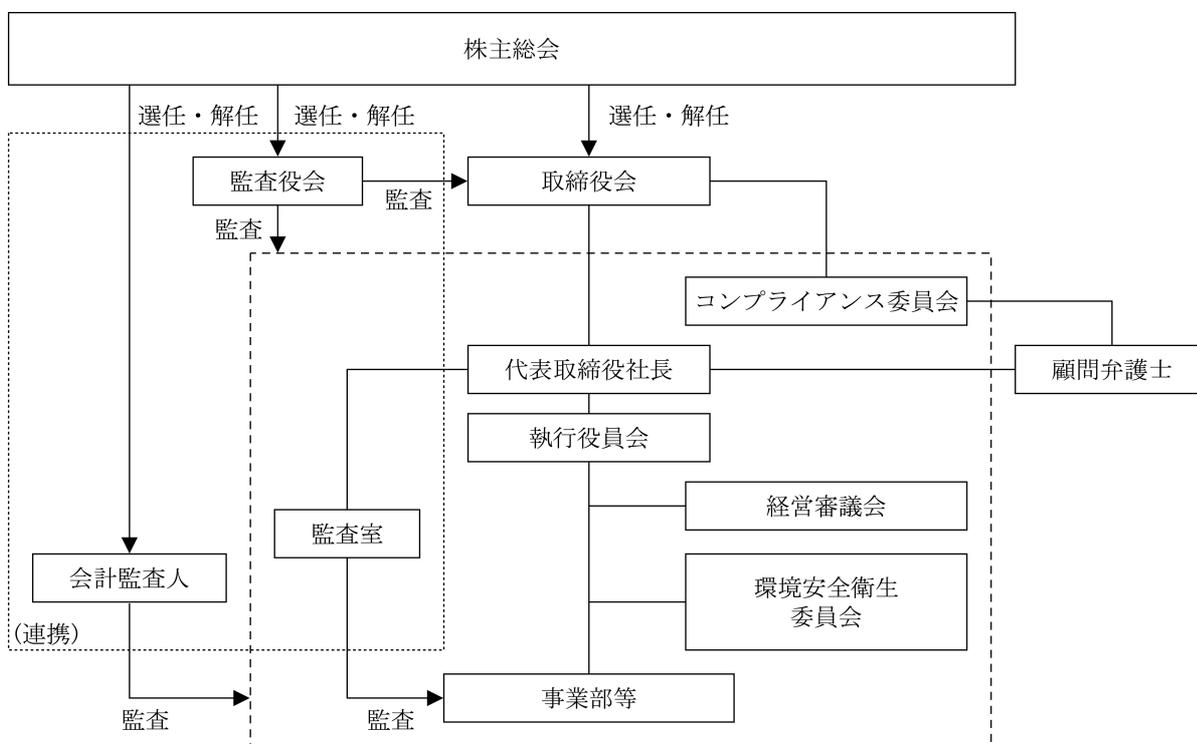
当社では、コンプライアンスに対する認識を強化し、企業行動基準を明確にするため、平成15年4月に「コンプライアンス宣言」を行い、これに基づいて「コンプライアンス運営規程」を制定しております。具体的には、取締役会直属の「コンプライアンス委員会」を設置し、顧問弁護士をメンバーに含む委員会を定期的開催して法令等の遵守状況を確認すると共に、外部講師を招いて全従業員を対象とする研修会を実施するなど、社内におけるコンプライアンス意識の啓発活動及びコンプライアンスに関わる事項の徹底にあたっております。

また、コンプライアンス委員会事務局及び顧問弁護士を窓口とする「ヘルプライン」を設け、従業員からの相談や通報を直接受ける体制を整えております。

○リスク管理体制の整備の状況

当社は、日常の企業活動において各部門がリスク管理を行うとともに、経営審議会において業務の執行状況及びその結果をフォローアップし、リスクマネジメントの徹底を図っております。

(当社のコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制)



○その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

当社は親会社である三井造船株式会社を中心とする企業グループの一員であり、三井造船株式会社のグループ運営の基本方針を尊重しつつ、自律した経営判断のもと事業展開しております。また、三井造船株式会社の企業グループにおいてFPSOをはじめとする浮体式石油・ガス生産設備に関する事業を主として行っているのは当社のみであり、独立的に経営を行っております。

当社は、公正な取引の実施を「コンプライアンスに関する企業行動基準」に定め、親会社である三井造船株式会社との取引に際しても、この基準に則って一般の取引先と同様に価格や契約条件を合理的に決定しております。また、公正な取引の実施を含む当社グループのコンプライアンスの状況については、コンプライアンス委員会において問題のないことを確認しております。

なお、当社と三井造船株式会社との間において、事業上の重要な取引はありません。

ニ) 社外取締役及び社外監査役の状況

○社外取締役及び社外監査役の員数並びに社外取締役及び社外監査役と当社との人的・資本的取引関係その他の利害関係

当社の社外取締役は3名、社外監査役は3名であります。

社外取締役である永田憲夫氏と山下俊一氏は当社の親会社である三井造船株式会社の常務取締役を兼務しております。また、浦島俊明氏は、当社の株主である三井物産株式会社の職員を兼務しております。

社外監査役である西畑彰氏と宗田勝氏は当社の親会社である三井造船株式会社の職員を兼務しております。

社外監査役である滝沢義弘氏と当社との間には特別な利害関係はありません。このことから、株式会社東京証券取引所が上場会社に対して1名以上の独立役員を確保することを求めたことに対応し、一般株主との利益相反が生じる恐れがないと判断して同氏を独立役員として同取引所に届け出ております。

○社外取締役及び社外監査役が当社のコーポレート・ガバナンスにおいて果たす機能及び役割

社外取締役には、当社の事業に関する知見と豊富な経験を当社の経営に生かしていただくことを期待し、社外の独立した立場から経営判断に対するチェック機能を担っていただいております。

社外監査役には、当社の事業に関する知見と経験に基づく視点を監査に生かしていただくことを期待しております。

③ 役員報酬の内容

イ) 役員報酬等の総額、種類別の総額及び対象となる役員等の員数

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)		対象となる 役員の員数 (名)
		基本報酬	賞与	
取締役 (社外取締役を除く。)	151	133	18	3
監査役 (社外監査役を除く。)	27	27	—	1
社外役員	7	7	—	2
合計	186	168	18	6

ロ) 連結報酬等の総額が1億円以上である者の連結報酬等の総額等

氏名	連結報酬等の総額 (百万円)	会社区分	連結報酬等の種類別の額(百万円)			連結報酬等の総額 (百万円)
			基本報酬	賞与	その他	
Shashank Karve	198	提出会社	6	—	—	6
		MODEC INTERNATIONAL, INC.	35	123	33	191

(注) 1 連結報酬が1億円以上の者に限定して記載しております。

2 MODEC INTERNATIONAL, INC.における報酬等は、米ドル建ての支払いを1米ドル当たり81.52円で円換算しております。

3 「その他」の項目は、当年度における長期インセンティブ制度に係る引当金繰入額を記載しております。

ハ) 役員報酬等の額

取締役・監査役の報酬は、株主総会にて決議された報酬総額の限度額の範囲内において、支給しております。

なお、米国の連結子会社において支給された、または支給される見込みの報酬については、米国における役員報酬水準や慣例を考慮したうえで、業績等を勘案して決定しております。

④ 株式の保有状況

イ) 投資株式のうち保有目的が純投資目的以外の目的であるものの銘柄数及び貸借対照表計上額の合計額

4銘柄 貸借対照表計上額の合計額 299百万円

ロ) 保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式の銘柄、株式数、貸借対照表計上額及び保有目的

銘柄	株式数 (株)	貸借対照表計上額 (百万円)	保有目的
株式会社百十四銀行	200,000	59	取引関係の維持強化
双日株式会社	222,200	39	取引関係の維持強化

ハ) 保有目的が純投資目的である投資株式

該当する投資株式がないため、記載しておりません。

⑤ 会計監査の状況

当社は会計監査業務を有限責任あずさ監査法人に委嘱しており、当連結会計年度において会計監査業務を執行した公認会計士は宮本敬久氏と柿沼幸二氏の2名で、各氏の継続監査年数は7年未満であります。補助者の構成は公認会計士4名、その他6名であります。

⑥ 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項に基づき、社外取締役及び社外監査役との間において、会社法第423条第1項の損害賠償責任について、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、その責任の限度を定める契約を締結しております。

当該契約に基づく賠償責任の限度額は会社法第427条第1項に規定する最低責任限度額となっております。

⑦ 取締役の選任の決議要件

当社は、取締役の選任決議について議決権を行使することのできる株主の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行う旨、累積投票によらない旨を定款に定めております。

⑧ 株主総会決議事項を取締役会で決議することができる事項

当社は、以下について株主総会の決議によらず、取締役会で決議することができる旨定款に定めております。

- ・自己株式を取得することができる旨
(機動的な対応を可能とするため)
- ・取締役の責任を免除することができる旨
(職務の遂行にあたり期待される役割を十分に発揮できるようにするため)
- ・監査役を免除することができる旨
(職務の遂行にあたり期待される役割を十分に発揮できるようにするため)
- ・中間配当をすることができる旨
(株主への安定的な利益還元を行うため)

⑨ 株主総会の特別決議要件

当社は、株主総会の円滑な運営を行うことを目的として、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨を定款に定めております。

(2) 【監査報酬の内容等】

① 【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

区分	前連結会計年度		当連結会計年度	
	監査証明業務に基づく報酬(百万円)	非監査業務に基づく報酬(百万円)	監査証明業務に基づく報酬(百万円)	非監査業務に基づく報酬(百万円)
提出会社	85	—	85	—
連結子会社	—	—	—	—
計	85	—	85	—

② 【その他重要な報酬の内容】

当社の海外の連結子会社が、当社の監査公認会計士等である有限責任あずさ監査法人と同一のネットワークに所属するKPMG社グループへ支払った監査報酬額は141百万円、非監査業務への報酬額は1百万円であります。

③ 【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

該当事項はありません。

④ 【監査報酬の決定方針】

当社の監査公認会計士等に対する報酬につきましては、監査公認会計士等の監査計画の範囲・内容・日程等の相当性を検証し、会社法の定めに従い監査役会の同意を得た上で決定しております。

第5 【経理の状況】

1 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号。以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前連結会計年度(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の連結財務諸表規則に基づき、当連結会計年度(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前事業年度(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)は、改正前の財務諸表等規則に基づき、当事業年度(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)は、改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前連結会計年度(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)及び前事業年度(平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)の連結財務諸表及び財務諸表については、あずさ監査法人により監査を受け、当連結会計年度(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)及び当事業年度(平成22年1月1日から平成22年12月31日まで)の連結財務諸表及び財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となりました。

3 連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みについて

当社は、連結財務諸表等の適正性を確保するための特段の取組みを行っております。具体的には、会計基準等の内容を適切に把握し、又は会計基準等の変更等についての的確に対応することができる体制を整備するため、公益財団法人財務会計基準機構へ加入し、最新情報の入手に適宜努めております。

1 【連結財務諸表等】
 (1) 【連結財務諸表】
 ① 【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年12月31日)	当連結会計年度 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,505	12,122
売掛金	86,704	43,082
たな卸資産	※1 833	※1 875
短期貸付金	2,046	31,291
繰延税金資産	3,531	2,996
その他	3,216	7,771
貸倒引当金	△104	△3
流動資産合計	127,732	98,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	147	146
減価償却累計額	△32	△45
建物及び構築物（純額）	114	100
機械装置及び運搬具	1,240	24,016
減価償却累計額	△367	△9,441
機械装置及び運搬具（純額）	872	14,574
その他	1,403	1,350
減価償却累計額	△874	△998
その他（純額）	529	351
建設仮勘定	—	6
有形固定資産合計	1,516	15,033
無形固定資産		
のれん	3,673	3,657
その他	3,598	3,162
無形固定資産合計	7,272	6,820
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 14,693	※2 12,356
長期貸付金	11	—
関係会社長期貸付金	14,281	11,563
繰延税金資産	1,651	1,405
その他	1,209	1,316
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	31,843	26,638
固定資産合計	40,632	48,492
資産合計	168,365	146,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年12月31日)	当連結会計年度 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,144	41,562
短期借入金	27,180	17,193
1年内返済予定の長期借入金	16,147	6,043
未払費用	3,294	2,842
未払法人税等	764	2,143
前受金	2,014	766
賞与引当金	72	42
役員賞与引当金	13	13
保証工事引当金	2,334	2,564
その他の引当金	28	706
繰延税金負債	30	7
その他	2,510	3,930
流動負債合計	110,535	77,816
固定負債		
長期借入金	13,472	8,140
退職給付引当金	146	158
長期未払金	412	301
繰延税金負債	758	709
その他	2,965	1,176
固定負債合計	17,755	10,486
負債合計	128,291	88,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,391	20,185
資本剰余金	13,121	20,915
利益剰余金	19,249	21,066
自己株式	△1	△1
株主資本合計	44,761	62,166
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	△9
繰延ヘッジ損益	△1,327	△123
為替換算調整勘定	△5,191	△8,403
評価・換算差額等合計	△6,525	△8,535
少数株主持分	1,838	4,693
純資産合計	40,073	58,323
負債純資産合計	168,365	146,627

②【連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	204,225	146,660
売上原価	※2 192,676	※2 134,595
売上総利益	11,549	12,065
販売費及び一般管理費	※1, ※2 7,380	※1, ※2 8,501
営業利益	4,169	3,563
営業外収益		
受取利息	1,402	1,347
受取配当金	4	3
持分法による投資利益	2,362	2,568
デリバティブ評価益	448	391
その他	411	405
営業外収益合計	4,628	4,717
営業外費用		
支払利息	774	521
為替差損	67	1,467
遊休固定資産維持管理費	437	—
その他	63	135
営業外費用合計	1,343	2,123
経常利益	7,454	6,156
特別利益		
固定資産売却益	※3 139	—
固定資産処分益	—	※4 209
段階取得に係る差益	—	34
関係会社清算益	—	70
特別利益合計	139	314
特別損失		
固定資産廃棄損	※5 450	—
投資有価証券評価損	66	—
関係会社清算損	65	639
減損損失	※6 2,701	—
特別損失合計	3,282	639
税金等調整前当期純利益	4,311	5,831
法人税、住民税及び事業税	2,235	2,303
過年度法人税等	—	161
法人税等調整額	△173	△129
法人税等合計	2,062	2,336
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△164	759
当期純利益	2,413	2,735

③【連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	12,391	12,391
当期変動額		
新株の発行	—	7,794
当期変動額合計	—	7,794
当期末残高	12,391	20,185
資本剰余金		
前期末残高	13,121	13,121
当期変動額		
新株の発行	—	7,794
当期変動額合計	—	7,794
当期末残高	13,121	20,915
利益剰余金		
前期末残高	17,876	19,249
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△659	—
当期変動額		
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	2,413	2,735
その他	320	△22
当期変動額合計	2,032	1,817
当期末残高	19,249	21,066
自己株式		
前期末残高	△1	△1
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△1	△1
株主資本合計		
前期末残高	43,387	44,761
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△659	—
当期変動額		
新株の発行	—	15,588
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	2,413	2,735
その他	320	△22
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	2,032	17,405
当期末残高	44,761	62,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△27	△6
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21	△2
当期変動額合計	21	△2
当期末残高	△6	△9
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△212	△1,327
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,115	1,204
当期変動額合計	△1,115	1,204
当期末残高	△1,327	△123
為替換算調整勘定		
前期末残高	△5,976	△5,191
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	784	△3,211
当期変動額合計	784	△3,211
当期末残高	△5,191	△8,403
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△6,216	△6,525
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△309	△2,010
当期変動額合計	△309	△2,010
当期末残高	△6,525	△8,535
少数株主持分		
前期末残高	3,506	1,838
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,668	2,855
当期変動額合計	△1,668	2,855
当期末残高	1,838	4,693
純資産合計		
前期末残高	40,678	40,073
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減	△659	—
当期変動額		
新株の発行	—	15,588
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	2,413	2,735
その他	320	△22
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,977	844
当期変動額合計	54	18,250
当期末残高	40,073	58,323

④【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,311	5,831
減価償却費	1,380	958
のれん償却額	264	211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	102	△88
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3	12
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	—
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	1,392	524
受取利息及び受取配当金	△1,406	△1,351
支払利息	774	521
為替差損益 (△は益)	△40	939
デリバティブ評価損益 (△は益)	△448	△391
持分法による投資損益 (△は益)	△2,362	△2,568
関係会社清算損益 (△は益)	65	568
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△34
投資有価証券評価損益 (△は益)	66	—
減損損失	2,701	—
固定資産処分損益 (△は益)	—	△209
固定資産売却損益 (△は益)	△139	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△66,123	8,269
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△267	△133
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,521	△8,461
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1	△53
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△110
その他	720	3,887
小計	△35,480	8,322
利息及び配当金の受取額	1,444	1,957
利息の支払額	△1,288	△486
法人税等の支払額	△1,775	△2,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△37,098	7,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△991	△623
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	778
関係会社株式の取得による支出	△2,010	△2,167
関係会社の減資による収入	—	1,411
子会社株式の取得による支出	△2	△15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	※2 1,684
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	21,820	△20,785
長期貸付けによる支出	△5,175	△2,162
長期貸付金の回収による収入	7,970	246
その他	364	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,974	△21,635

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,013	2,594
長期借入れによる収入	15,554	—
長期借入金の返済による支出	△8,535	△9,617
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△700	△896
株式の発行による収入	—	15,588
少数株主への配当金の支払額	△582	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277	7,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,182	△2,970
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,218	△9,435
現金及び現金同等物の期首残高	44,718	31,505
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△9,948
現金及び現金同等物の期末残高	※1 31,505	※1 12,122

【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

<p>前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)</p>	<p>当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)</p>
<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社数 22社</p> <p>MODEC INTERNATIONAL, INC. FPSO PTE LTD. MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD. MODEC LIBERIA, INC. CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V. ELANG EPS PTE LTD. SISTEMAS FLOTANTES DE ALMACENAMIENTO, S. A. DE C. V. LANGSA FPSO PTE LTD. MODEC MANAGEMENT SERVICES PTE LTD. MODEC SERVIÇOS DE PETROLEO DO BRASIL LTDA. MODEC OFFSHORE OPERATIONS, LTD. MODEC PRODUCTION (LANGSA) PTE LTD. NATIONAL D' OPERATIONS PETROLIERES DE COTE D' IVOIRE COTE D' IVOIRE OFFSHORE OPERATIONS, INC. MODEC OFFSHORE INVESTMENTS B. V. MODEC HOLDINGS B. V. SOFEC, INC. PT ARAH PRANA MODEC ANGOLA LDA. MODEC GHANA, LTD. SOFEC SERVICES L. L. C. JUBILEE GHANA MV21 B. V.</p> <p>前連結会計年度において持分法適用非連結子会社でありましたJUBILEE GHANA MV21 B. V. は、事業上の重要性が増したことにより、当連結会計年度から連結子会社となりました。</p>	<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社数 23社</p> <p>MODEC INTERNATIONAL, INC. FPSO PTE LTD. MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD. MODEC LIBERIA, INC. CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V. ELANG EPS PTE LTD. SISTEMAS FLOTANTES DE ALMACENAMIENTO, S. A. DE C. V. LANGSA FPSO PTE LTD. MODEC MANAGEMENT SERVICES PTE LTD. MODEC SERVIÇOS DE PETROLEO DO BRASIL LTDA. MODEC OFFSHORE OPERATIONS, LTD. MODEC PRODUCTION (LANGSA) PTE LTD. NATIONAL D' OPERATIONS PETROLIERES DE COTE D' IVOIRE COTE D' IVOIRE OFFSHORE OPERATIONS, INC. MODEC HOLDINGS B. V. SOFEC, INC. PT ARAH PRANA MODEC ANGOLA LDA. MODEC GHANA, LTD. SOFEC SERVICES L. L. C. MODEC VENTURE 11 B. V. RANG DONG MV17 B. V. SOFEC FLOATING SYSTEMS PTE. LTD.</p> <p>前連結会計年度において連結子会社でありましたMODEC OFFSHORE INVESTMENTS B. V. は、当連結会計年度において清算したため、連結範囲から除外しております。また、JUBILEE GHANA MV21 B. V. は持分比率の低下が確実となったため、当連結会計年度より連結範囲から除外しております。</p> <p>MODEC VENTURE 11 B. V. 及びRANG DONG MV17 B. V. は当連結会計年度末における株式取得により出資比率が50%を超えたため、連結子会社となりました。また、SOFEC FLOATING SYSTEMS PTE. LTD. は新規設立により当連結会計年度より連結子会社となりました。</p>

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
<p>(2) 非連結子会社 4社 TUPI PILOT MV22 B.V. GUARA MV23 B.V. MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA. MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD.</p> <p>連結の範囲に含めない理由 TUPI PILOT MV22 B.V. 及び GUARA MV23 B.V. につきましては支配が設立当初の一時的な状況に過ぎないため、また、MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA. 及び MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD. はそれぞれの総資産額、売上高、当期純損益及び利益剰余金等の連結財務諸表に与える影響が軽微であるため、連結の対象から除外しております。</p>	<p>(2) 非連結子会社 5社 JUBILEE GHANA MV21 B.V. GUARA MV23 B.V. MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA. MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD. MODEC MALAYSIA SDN. BHD.</p> <p>連結の範囲に含めない理由 JUBILEE GHANA MV21 B.V. は持分比率の低下が確実となったため、また、GUARA MV23 B.V. につきましては支配が設立当初の一時的な状況に過ぎないため、また、MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA.、MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD. 及び MODEC MALAYSIA SDN. BHD. は総資産額、売上高、当期純損益及び利益剰余金等の連結財務諸表に与える影響が軽微であるため、連結の対象から除外しております。なお、MODEC MALAYSIA SDN. BHD. は当連結会計年度において新規に設立されております。</p>
<p>2 持分法の適用に関する事項 (1) 持分法適用非連結子会社数 1社 TUPI PILOT MV22 B.V.</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社数 13社 JASMINE FPSO PTE LTD. MODEC FPSO B.V. MODEC VENTURE 10 B.V. MODEC VENTURE 11 B.V. RONG DOI MV12 PTE LTD. ESPADARTE MV14 B.V. PRA-1 MV15 B.V. STYBARROW MV16 B.V. ナトコジャパン(株) OPPORTUNITY MV18 B.V. SONG DOC MV19 B.V. RANG DONG MV17 B.V. GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.</p> <p>前連結会計年度において持分法適用非連結子会社でありましたGAS OPPORTUNITY MV20 B.V. は持株比率が低下したことにより当連結会計年度から持分法適用関連会社となりました。また、IMC-MODEC JV1, INC. は、当連結会計年度において清算したため、持分法適用関連会社から除外しております。</p>	<p>2 持分法の適用に関する事項 (1) 持分法適用非連結子会社数 2社 JUBILEE GHANA MV21 B.V. GUARA MV23 B.V.</p> <p>前連結会計年度において連結子会社でありましたJUBILEE GHANA MV21 B.V. は、持分比率の低下が確実となったために、また、持分法非適用非連結子会社であったGUARA MV23 B.V. は重要性が増したことにより、当連結会計年度よりそれぞれ持分法適用非連結子会社となりました。</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社数 12社 JASMINE FPSO PTE LTD. MODEC VENTURE 10 B.V. RONG DOI MV12 PTE LTD. ESPADARTE MV14 B.V. PRA-1 MV15 B.V. STYBARROW MV16 B.V. キャメロンジャパン(株) OPPORTUNITY MV18 B.V. SONG DOC MV19 B.V. GAS OPPORTUNITY MV20 B.V. TUPI PILOT MV22 B.V. MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS, PTE. LTD.</p> <p>前連結会計年度において持分法適用非連結子会社でありましたTUPI PILOT MV22 B.V. は持分比率が低下したことにより当連結会計年度から持分法適用関連会社となりました。また、MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS, PTE. LTD. は新規設立により当連結会計年度から持分法適用関連会社となりました。</p> <p>MODEC VENTURE 11 B.V. 及び RANG DONG MV17 B.V. は当連結会計年度末における株式取得により出資比率が50%を超えたため、持分法適用関連会社から除外し、連結子会社としております。また、MODEC FPSO B.V. は、当連結会計年度において清算したため、持分法適用関連会社から除外しております。</p> <p>なお、キャメロンジャパン(株)はナトコジャパン(株)が商号変更したものであります。</p>

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
<p>(3) 持分法非適用の非連結子会社及び関連会社 3社 GUARA MV23 B. V. MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA. MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD</p> <p>持分法を適用しない理由 持分法非適用会社は、それぞれ当期純損益及び利益剰余金等の連結財務諸表に与える影響が軽微であるため、持分法の適用対象から除外しております。</p> <p>また、前連結会計年度において持分法非適用関連会社でありましたIMC-MODEC JV1 PTE LTD.は、当連結会計年度において清算したため、持分法非適用の関連会社はなくなりました。</p>	<p>(3) 持分法非適用の非連結子会社及び関連会社 3社 MODEC OFFSHORE SERVIÇOS LTDA. MODEC OFFSHORE ENGINEERING SERVICES (DALIAN) CO., LTD MODEC MALAYSIA SDN. BHD.</p> <p>持分法を適用しない理由 持分法非適用会社は、それぞれ当期純損益及び利益剰余金等の連結財務諸表に与える影響が軽微であるため、持分法の適用対象から除外しております。</p>
<p>3 連結子会社の事業年度等に関する事項 連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。</p>	<p>3 連結子会社の事業年度等に関する事項 同左</p>
<p>4 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>a 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 当連結会計年度末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>b デリバティブ取引により生ずる債権及び債務 時価法</p> <p>c たな卸資産 原材料 個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 仕掛工事 個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） （会計方針の変更） 従来、原材料及び仕掛工事については、個別法による原価法で評価しておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。 これによる当連結会計年度の損益に与える影響はありません。</p>	<p>4 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>a 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左</p> <p>時価のないもの 同左</p> <p>b デリバティブ取引により生ずる債権及び債務 同左</p> <p>c たな卸資産 原材料 個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 仕掛工事 個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）</p>

<p style="text-align: center;">前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)</p>
<p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>a 有形固定資産 FPSO/FSO(機械装置及び運搬具) 定額法によっております。 なお、耐用年数については、リース中の場合はリース期間を、それ以外の場合には経済的耐用年数を用いております。 それ以外の有形固定資産 建物(建物附属設備は除く) ① 平成10年4月1日以降平成19年3月31日以前に取得したものの 旧定額法によっております。 ② 平成19年4月1日以降に取得したものの 定額法によっております。</p> <p>建物(建物附属設備は除く)以外 ① 平成19年3月31日以前に取得したものの 旧定率法によっております。 ② 平成19年4月1日以降に取得したものの 定率法によっております。 また、在外連結子会社においては、 定額法によっております。</p> <p>b 無形固定資産 定額法によっております。 なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法で償却しております。 米国連結子会社における特許権・商標権等の無形固定資産については、米国基準により処理しております。</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>a 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見積額を計上しております。</p> <p>b 賞与引当金 従業員へ支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に対応する金額を計上しております。</p> <p>c 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に対応する金額を計上しております。</p>	<p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>a 有形固定資産 FPSO/FSO(機械装置及び運搬具) 同左</p> <p>それ以外の有形固定資産 建物(建物附属設備は除く) 同左</p> <p>建物(建物附属設備は除く)以外 同左</p> <p>b 無形固定資産 同左</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>a 貸倒引当金 同左</p> <p>b 賞与引当金 同左</p> <p>c 役員賞与引当金 同左</p>

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)										
<p>d 保証工事引当金 完成工事にかかわる保証工事の支出に備えるため、保証期間内の保証工事費用見積額を計上しております。</p> <p>e 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>(4) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>a ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約及び通貨スワップについては、振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を、金利スワップについては、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。なお、一部の在外連結子会社については、米国基準による時価ヘッジ処理を採用しております。</p> <p>b ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table border="1" data-bbox="239 884 782 1097"> <thead> <tr> <th>ヘッジ手段</th> <th>ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(a) 為替予約</td> <td>外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引</td> </tr> <tr> <td>(b) 通貨スワップ</td> <td>外貨建金銭債権債務</td> </tr> <tr> <td>(c) 通貨オプション</td> <td>外貨建金銭債権債務</td> </tr> <tr> <td>(d) 金利スワップ</td> <td>借入金</td> </tr> </tbody> </table> <p>c ヘッジ方針 連結財務諸表提出会社の内部規程である「財務取引に関するリスク管理規程」及び「ヘッジ取引要領」に基づき、為替変動リスク及び金利変動リスクをヘッジしております。</p> <p>d ヘッジの有効性評価の方法 キャッシュ・フロー・ヘッジについては、キャッシュ・フローの比較をもってヘッジの有効性を評価しております。</p> <p>e リスク管理方針 金融資産・負債の固定／流動ギャップから生じる金利リスク及び外貨建ての金銭債権債務等から生じる為替リスクについては、ヘッジ取引によりリスクの低減を行い、そのリスク量を適正な水準に調整しております。</p>	ヘッジ手段	ヘッジ対象	(a) 為替予約	外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引	(b) 通貨スワップ	外貨建金銭債権債務	(c) 通貨オプション	外貨建金銭債権債務	(d) 金利スワップ	借入金	<p>d 保証工事引当金 同左</p> <p>e 退職給付引当金 同左</p> <p>(4) 重要なヘッジ会計の方法</p> <p>a ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>b ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</p> <p>c ヘッジ方針 同左</p> <p>d ヘッジの有効性評価の方法 同左</p> <p>e リスク管理方針 同左</p>
ヘッジ手段	ヘッジ対象										
(a) 為替予約	外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引										
(b) 通貨スワップ	外貨建金銭債権債務										
(c) 通貨オプション	外貨建金銭債権債務										
(d) 金利スワップ	借入金										

<p style="text-align: center;">前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)</p>
<p>(5) 収益及び費用の計上基準 請負工事については、売上高及び売上原価は原則として工事完成基準により計上しております。ただし、工期が1年を超え、かつ請負金額が10億円以上の長期大型の建造工事については、工事進行基準を適用しております。 なお、米国連結子会社においては、すべての請負工事について工事進行基準を適用しております。</p> <p>(6) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">—</p>	<p>(5) 収益及び費用の計上基準 当連結会計年度に着手した工事契約から、当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法及びプロジェクトの工事種別ごとの見積総工数及び見積工事期間に占める発生工数及び経過期間の割合等を複合的に合算して算出した進捗率を用いた出来高基準）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。 （会計方針の変更） 請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工期が1年を超え、かつ請負金額が10億円以上の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当連結会計年度より適用し、当連結会計年度に着手した工事契約から、当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法及びプロジェクトの工事種別ごとの見積総工数及び見積工事期間に占める発生工数及び経過期間の割合等を複合的に合算して算出した進捗率を用いた出来高基準）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。 なお、これによる当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。</p> <p>(6) 消費税等の会計処理 同左</p> <p>(7) 繰延資産の処理方法 株式交付費 支出時に全額費用として処理しております。</p> <p>(8) のれんの償却に関する事項 のれんの償却については、その効果の発現する期間を個別に見積り、その年数で均等償却しております。</p> <p>(9) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p>
<p>5 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項 連結子会社の資産及び負債の評価については、全面時価評価法を採用しております。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
<p>6 のれんの償却に関する事項 のれんの償却については、その効果の発現する期間を個別に見積り、その年数で均等償却しております。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
7 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。	—

【会計方針の変更】

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
<p>1. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 当連結会計年度より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。 これにより、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前純利益が237百万円それぞれ減少しております。また、期首の利益剰余金が659百万円、期首の少数株主持分が1,526百万円減少しております。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p> <p>2. リース取引に関する会計基準等 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当連結会計年度より「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 これによる当連結会計年度の損益に与える影響はありません。</p> <p>—</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>1. 企業結合に関する会計基準等の適用 当連結会計年度より「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。</p>

【注記事項】

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成21年12月31日)	当連結会計年度 (平成22年12月31日)																																																																																														
<p>※1 たな卸資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">36百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">仕掛工事</td> <td style="text-align: right;">797百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">833百万円</td> </tr> </table> <p>※2 非連結子会社および関連会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">14,390百万円</td> </tr> </table> <p>3 偶発債務</p> <p>連結子会社以外の関係会社の金融機関からの借入金及び契約履行に対し債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 10 B.V.</td> <td style="text-align: right;">414百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 11 B.V.</td> <td style="text-align: right;">785百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">RONG DOI MV12 PTE LTD.</td> <td style="text-align: right;">1,816百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ESPADARTE MV14 B.V.</td> <td style="text-align: right;">261百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">PRA-1 MV15 B.V.</td> <td style="text-align: right;">193百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">STYBARROW MV16 B.V.</td> <td style="text-align: right;">294百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">OPPORTUNITY MV18 B.V.</td> <td style="text-align: right;">546百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">SONG DOC MV19 B.V.</td> <td style="text-align: right;">253百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.</td> <td style="text-align: right;">20,681百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">TUPI PILOT MV22 B.V.</td> <td style="text-align: right;">45,304百万円</td> </tr> </table> <p>上記のうち外貨による保証金額はUS\$766百万であります。</p> <p>また、上記のほか持分法適用関連会社及び持分法適用非連結子会社の金利スワップ取引について債務保証を行っております。当該スワップの時価は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 10 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△187百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 11 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△3百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">RONG DOI MV12 PTE LTD.</td> <td style="text-align: right;">△235百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ESPADARTE MV14 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△462百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">PRA-1 MV15 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△559百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">STYBARROW MV16 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△567百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">RANG DONG MV17 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△445百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">SONG DOC MV19 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△221百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△2,693百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">TUPI PILOT MV22 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△4,026百万円</td> </tr> </table>	材料及び貯蔵品	36百万円	仕掛工事	797百万円	合計	833百万円	投資有価証券(株式)	14,390百万円	MODEC VENTURE 10 B.V.	414百万円	MODEC VENTURE 11 B.V.	785百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,816百万円	ESPADARTE MV14 B.V.	261百万円	PRA-1 MV15 B.V.	193百万円	STYBARROW MV16 B.V.	294百万円	OPPORTUNITY MV18 B.V.	546百万円	SONG DOC MV19 B.V.	253百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	20,681百万円	TUPI PILOT MV22 B.V.	45,304百万円	MODEC VENTURE 10 B.V.	△187百万円	MODEC VENTURE 11 B.V.	△3百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	△235百万円	ESPADARTE MV14 B.V.	△462百万円	PRA-1 MV15 B.V.	△559百万円	STYBARROW MV16 B.V.	△567百万円	RANG DONG MV17 B.V.	△445百万円	SONG DOC MV19 B.V.	△221百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	△2,693百万円	TUPI PILOT MV22 B.V.	△4,026百万円	<p>※1 たな卸資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">31百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">仕掛工事</td> <td style="text-align: right;">843百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">875百万円</td> </tr> </table> <p>※2 非連結子会社および関連会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">投資有価証券(株式)</td> <td style="text-align: right;">12,056百万円</td> </tr> </table> <p>3 偶発債務</p> <p>連結子会社以外の関係会社の金融機関からの借入金及び契約履行に対し債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 10 B.V.</td> <td style="text-align: right;">366百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">RONG DOI MV12 PTE LTD.</td> <td style="text-align: right;">1,334百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ESPADARTE MV14 B.V.</td> <td style="text-align: right;">231百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">PRA-1 MV15 B.V.</td> <td style="text-align: right;">170百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">STYBARROW MV16 B.V.</td> <td style="text-align: right;">260百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">OPPORTUNITY MV18 B.V.</td> <td style="text-align: right;">485百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">SONG DOC MV19 B.V.</td> <td style="text-align: right;">224百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.</td> <td style="text-align: right;">505百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">JUBILEE GHANA MV21 B.V.</td> <td style="text-align: right;">16,376百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">TUPI PILOT MV22 B.V.</td> <td style="text-align: right;">26,164百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">GUARA MV23 B.V.</td> <td style="text-align: right;">5,721百万円</td> </tr> </table> <p>上記のうち外貨による保証金額はUS\$635百万であります。</p> <p>また、上記のほか持分法適用関連会社の金利スワップ取引について債務保証を行っております。当該スワップの時価は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">MODEC VENTURE 10 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△77百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">RONG DOI MV12 PTE LTD.</td> <td style="text-align: right;">△161百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ESPADARTE MV14 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△379百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">PRA-1 MV15 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△576百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">STYBARROW MV16 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△553百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">SONG DOC MV19 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△150百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△1,835百万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">TUPI PILOT MV22 B.V.</td> <td style="text-align: right;">△2,612百万円</td> </tr> </table>	材料及び貯蔵品	31百万円	仕掛工事	843百万円	合計	875百万円	投資有価証券(株式)	12,056百万円	MODEC VENTURE 10 B.V.	366百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,334百万円	ESPADARTE MV14 B.V.	231百万円	PRA-1 MV15 B.V.	170百万円	STYBARROW MV16 B.V.	260百万円	OPPORTUNITY MV18 B.V.	485百万円	SONG DOC MV19 B.V.	224百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	505百万円	JUBILEE GHANA MV21 B.V.	16,376百万円	TUPI PILOT MV22 B.V.	26,164百万円	GUARA MV23 B.V.	5,721百万円	MODEC VENTURE 10 B.V.	△77百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	△161百万円	ESPADARTE MV14 B.V.	△379百万円	PRA-1 MV15 B.V.	△576百万円	STYBARROW MV16 B.V.	△553百万円	SONG DOC MV19 B.V.	△150百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	△1,835百万円	TUPI PILOT MV22 B.V.	△2,612百万円
材料及び貯蔵品	36百万円																																																																																														
仕掛工事	797百万円																																																																																														
合計	833百万円																																																																																														
投資有価証券(株式)	14,390百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 10 B.V.	414百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 11 B.V.	785百万円																																																																																														
RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,816百万円																																																																																														
ESPADARTE MV14 B.V.	261百万円																																																																																														
PRA-1 MV15 B.V.	193百万円																																																																																														
STYBARROW MV16 B.V.	294百万円																																																																																														
OPPORTUNITY MV18 B.V.	546百万円																																																																																														
SONG DOC MV19 B.V.	253百万円																																																																																														
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	20,681百万円																																																																																														
TUPI PILOT MV22 B.V.	45,304百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 10 B.V.	△187百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 11 B.V.	△3百万円																																																																																														
RONG DOI MV12 PTE LTD.	△235百万円																																																																																														
ESPADARTE MV14 B.V.	△462百万円																																																																																														
PRA-1 MV15 B.V.	△559百万円																																																																																														
STYBARROW MV16 B.V.	△567百万円																																																																																														
RANG DONG MV17 B.V.	△445百万円																																																																																														
SONG DOC MV19 B.V.	△221百万円																																																																																														
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	△2,693百万円																																																																																														
TUPI PILOT MV22 B.V.	△4,026百万円																																																																																														
材料及び貯蔵品	31百万円																																																																																														
仕掛工事	843百万円																																																																																														
合計	875百万円																																																																																														
投資有価証券(株式)	12,056百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 10 B.V.	366百万円																																																																																														
RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,334百万円																																																																																														
ESPADARTE MV14 B.V.	231百万円																																																																																														
PRA-1 MV15 B.V.	170百万円																																																																																														
STYBARROW MV16 B.V.	260百万円																																																																																														
OPPORTUNITY MV18 B.V.	485百万円																																																																																														
SONG DOC MV19 B.V.	224百万円																																																																																														
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	505百万円																																																																																														
JUBILEE GHANA MV21 B.V.	16,376百万円																																																																																														
TUPI PILOT MV22 B.V.	26,164百万円																																																																																														
GUARA MV23 B.V.	5,721百万円																																																																																														
MODEC VENTURE 10 B.V.	△77百万円																																																																																														
RONG DOI MV12 PTE LTD.	△161百万円																																																																																														
ESPADARTE MV14 B.V.	△379百万円																																																																																														
PRA-1 MV15 B.V.	△576百万円																																																																																														
STYBARROW MV16 B.V.	△553百万円																																																																																														
SONG DOC MV19 B.V.	△150百万円																																																																																														
GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	△1,835百万円																																																																																														
TUPI PILOT MV22 B.V.	△2,612百万円																																																																																														

前連結会計年度 (平成21年12月31日)	当連結会計年度 (平成22年12月31日)																
<p>4 連結財務諸表提出会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と貸出コミットメント契約を締結しております。</p>	<p>4 連結財務諸表提出会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行と貸出コミットメント契約を、また取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。</p>																
<p>当連結会計年度末における貸出コミットメントに係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p>	<p>当連結会計年度末における貸出コミットメントに係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p>																
<table border="0"> <tr> <td>貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">US\$ 110百万</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">US\$ 25百万</td> </tr> <tr> <td><hr/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">US\$ 85百万</td> </tr> </table>	貸出コミットメントの総額	US\$ 110百万	借入実行残高	US\$ 25百万	<hr/>		差引額	US\$ 85百万	<table border="0"> <tr> <td>貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">US\$110百万</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">US\$ 一百万</td> </tr> <tr> <td><hr/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">US\$110百万</td> </tr> </table>	貸出コミットメントの総額	US\$110百万	借入実行残高	US\$ 一百万	<hr/>		差引額	US\$110百万
貸出コミットメントの総額	US\$ 110百万																
借入実行残高	US\$ 25百万																
<hr/>																	
差引額	US\$ 85百万																
貸出コミットメントの総額	US\$110百万																
借入実行残高	US\$ 一百万																
<hr/>																	
差引額	US\$110百万																
	<p>当連結会計年度末における当座貸越に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p>																
	<table border="0"> <tr> <td>当座貸越枠</td> <td style="text-align: right;">3,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">1,000百万円</td> </tr> <tr> <td><hr/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td style="text-align: right;">2,000百万円</td> </tr> </table>	当座貸越枠	3,000百万円	借入実行残高	1,000百万円	<hr/>		差引額	2,000百万円								
当座貸越枠	3,000百万円																
借入実行残高	1,000百万円																
<hr/>																	
差引額	2,000百万円																

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)																																																		
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">163百万円</td></tr> <tr><td>給与・賞与</td><td style="text-align: right;">1,935百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">31百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">15百万円</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">13百万円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td style="text-align: right;">928百万円</td></tr> </table> <p>※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>一般管理費</td><td style="text-align: right;">702百万円</td></tr> <tr><td>当期製造費用</td><td style="text-align: right;">一百万円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">702百万円</td></tr> </table> <p>※3 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>無形固定資産</td><td style="text-align: right;">139百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">—</td><td></td></tr> </table> <p>※5 固定資産廃棄損の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">450百万円</td></tr> </table> <p>※6 減損損失</p> <p>当連結会計年度において、当社グループは以下の資産について減損損失を計上しております。</p> <p>①減損損失を認識した資産グループの概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インドネシア</td> <td>FPSO</td> <td>機械装置及び運搬具</td> </tr> </tbody> </table> <p>②資産グルーピングの方法</p> <p>資産グループは、原則として事業用資産については当社の本社及び各関係会社をグルーピング単位とし、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。なお、FPSO/FSO（機械装置及び運搬具）については、概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位として継続的に収支の把握を行っている個別物件ごとにグルーピングを行っております。</p> <p>③減損損失の認識に至った経緯及び減損損失の金額</p> <p>当社の連結子会社であるELANG EPS PTE LTD. (EEPL社)は、保有するFPSO MODEC Venture 1について当初のチャーター契約終了後、操業を休止し、新たなチャーター契約への投入に向け、当該設備の保有・維持を継続しておりましたが、当面の新規チャーター契約獲得の見通しが立たない状況となり、今後の設備の保有・維持費用の増加も見込まれることから、当該設備を廃棄する方針としております。これに伴い、当該設備について回収可能価額まで帳簿価格を減額し、この結果、減損損失を2,701百万円計上しております。</p> <p>④回収可能額の算定方法</p> <p>当資産の回収可能額は正味売却価額により測定しております。</p>	役員報酬	163百万円	給与・賞与	1,935百万円	賞与引当金繰入額	31百万円	退職給付費用	15百万円	役員賞与引当金繰入額	13百万円	減価償却費	928百万円	一般管理費	702百万円	当期製造費用	一百万円	計	702百万円	無形固定資産	139百万円	—		機械装置及び運搬具	450百万円	場所	用途	種類	インドネシア	FPSO	機械装置及び運搬具	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">168百万円</td></tr> <tr><td>給与・賞与</td><td style="text-align: right;">2,356百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">25百万円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">31百万円</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">13百万円</td></tr> <tr><td>貸倒引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">85百万円</td></tr> </table> <p>※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>一般管理費</td><td style="text-align: right;">814百万円</td></tr> <tr><td>当期製造費用</td><td style="text-align: right;">一百万円</td></tr> <tr><td style="border-top: 1px solid black;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">814百万円</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">—</p> <p>※4 固定資産処分益の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">209百万円</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">—</p>	役員報酬	168百万円	給与・賞与	2,356百万円	賞与引当金繰入額	25百万円	退職給付費用	31百万円	役員賞与引当金繰入額	13百万円	貸倒引当金繰入額	85百万円	一般管理費	814百万円	当期製造費用	一百万円	計	814百万円	機械装置及び運搬具	209百万円
役員報酬	163百万円																																																		
給与・賞与	1,935百万円																																																		
賞与引当金繰入額	31百万円																																																		
退職給付費用	15百万円																																																		
役員賞与引当金繰入額	13百万円																																																		
減価償却費	928百万円																																																		
一般管理費	702百万円																																																		
当期製造費用	一百万円																																																		
計	702百万円																																																		
無形固定資産	139百万円																																																		
—																																																			
機械装置及び運搬具	450百万円																																																		
場所	用途	種類																																																	
インドネシア	FPSO	機械装置及び運搬具																																																	
役員報酬	168百万円																																																		
給与・賞与	2,356百万円																																																		
賞与引当金繰入額	25百万円																																																		
退職給付費用	31百万円																																																		
役員賞与引当金繰入額	13百万円																																																		
貸倒引当金繰入額	85百万円																																																		
一般管理費	814百万円																																																		
当期製造費用	一百万円																																																		
計	814百万円																																																		
機械装置及び運搬具	209百万円																																																		

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	37,408,000	—	—	37,408,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	557	46	—	603

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 46株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年3月27日 定時株主総会	普通株式	327	8.75	平成20年12月31日	平成21年3月30日
平成21年8月12日 取締役会	普通株式	374	10.00	平成21年6月30日	平成21年9月14日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年3月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	374	10.00	平成21年12月31日	平成22年3月31日

4 利益剰余金の連結会計年度中の変動額の「その他」は、在外子会社において米国基準を適用した際の「その他の包括利益」であります。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	37,408,000	9,000,000	—	46,408,000

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次のとおりであります。

第三者割当増資による増加 9,000,000株

2 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	603	60	—	663

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 60株

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年3月30日 定時株主総会	普通株式	374	10.00	平成21年12月31日	平成22年3月31日
平成22年8月12日 取締役会	普通株式	522	11.25	平成22年6月30日	平成22年9月13日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	522	11.25	平成22年12月31日	平成23年3月31日

4 利益剰余金の連結会計年度中の変動額の「その他」は、在外子会社において米国基準を適用した際の「その他の包括利益」であります。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表 に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 31,505百万円 現金及び現金同等物 <u>31,505百万円</u> —	※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表 に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 12,122百万円 現金及び現金同等物 <u>12,122百万円</u> ※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社 の資産及び負債の主な内訳 株式の取得により新たにMODEC VENTURE 11 B.V. 及びRANG DONG MV17 B.V.を連結したことに伴う連 結開始時の資産及び負債の内訳並びに株式の取得価 額と取得による収入(純額)との関係は次のとおりで あります。 流動資産 2,379百万円 固定資産 13,816百万円 のれん 616百万円 流動負債 △5,311百万円 固定負債 △5,740百万円 少数株主持分 △2,315百万円 上記連結子会社株式の既取得価額 <u>△2,220百万円</u> 上記連結子会社株式の当期取得価 額 1,224百万円 取得代金の未払額 △1,224百万円 上記連結子会社の現金及び現金同 等物 <u>1,684百万円</u> 差引：上記連結子会社取得に による収入 1,684百万円

(リース取引関係)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
—	オペレーティング・リース取引 (貸主側) オペレーティング・リース取引のうち解約不能のもの に係る未経過リース料
	1年以内 1,035百万円
	1年超 6,045百万円
	合計 7,080百万円

(金融商品関係)

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行借入による方針であります。

デリバティブは、後述するリスクを回避するために利用し、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、与信調査のもと、取引先を信用力のある取引先に限定するとともに、定期的に債権残高管理を行うことで軽減を図っております。

短期貸付金及び関係会社長期貸付金は、主にチャータープロジェクトを遂行するために設立した関係会社の資金需要に対するものであり、関係会社が取引する顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、総合商社をはじめとする事業パートナーとの連携及びプロジェクトファイナンスによって軽減を図っております。

営業債権及び貸付金は、そのほとんどが外貨建てであり、外貨建ての営業債務及び借入金をネットしたポジションについて、為替の変動リスクに晒されておりますが、原則として当該ポジションについて先物為替予約を利用してヘッジしております。

投資有価証券である株式は、市場価格の変動リスクに晒されておりますが、主に業務上の関係を有する企業の株式であり、定期的に時価や発行体(取引先企業)の財務状況等を把握しております。

営業債務である買掛金は、そのほとんどが1年以内の支払い期日であります。また、その中にはグローバルに事業を展開していることから生じている外貨建てのものがあり、為替の変動リスクに晒されておりますが、恒常的に同じ外貨建ての売掛金残高の範囲内にあります。

短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金、長期借入金は、主にチャータープロジェクトを遂行するために設立した関係会社への貸付金の資金調達を目的としたものであり、そのほとんどは外貨建てとなっており、為替の変動リスクに晒されておりますが、恒常的に同じ外貨建ての貸付金残高の範囲内にあります。変動金利の借入金は、金利の変動リスクに晒されておりますが、このうち長期のものについては、支払金利の変動リスクを回避し支払利息の固定化を図るために、個別契約ごとにデリバティブ取引(金利スワップ取引)をヘッジ手段として利用しております。

デリバティブ取引は、外貨建ての営業債権債務に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした為替予約取引、借入金に係る支払金利の変動リスクに対するヘッジを目的とした金利スワップ取引が主なものであります。

営業債務や借入金は、流動性リスクに晒されておりますが、当社グループでは、各社からの報告に基づき財務部が適時に資金繰計画を作成・更新するなどの方法により管理しております。

(3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

また、注記事項「デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成22年12月31日（当期の連結決算日）における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません(注) 2。

(単位：百万円)

	連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	12,122	12,122	—
(2) 売掛金	43,082	43,082	—
(3) 短期貸付金	31,291	31,291	—
(4) 投資有価証券	99	99	—
(5) 関係会社長期貸付金	11,563	11,727	164
資産 計	98,158	98,322	164
(6) 買掛金	41,562	41,562	—
(7) 短期借入金	17,193	17,193	—
(8) 1年内返済予定の長期借入金	6,043	6,043	—
(9) 長期借入金	8,140	8,239	99
負債 計	72,939	73,038	99
(10) デリバティブ取引			
①ヘッジ会計が適用されていないもの	2,565	2,565	—
②ヘッジ会計が適用されているもの	(684)	(684)	—
デリバティブ取引 計	1,880	1,880	—

※ デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については () で示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金及び(3) 短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

(5) 関係会社長期貸付金

関係会社長期貸付金の時価は、一定の期間ごとに分類し、その将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に信用スプレッドを上乗せした利率で割引いた現在価値により算定しております。

(6) 買掛金、(7) 短期借入金及び(8) 1年内返済予定の長期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(9) 長期借入金

長期借入金はすべて、変動金利によるものであり、短期間で市場金利を反映し、また当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価が帳簿価額に近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。なお、変動金利による長期借入金の一部は金利スワップの特例処理の対象とされており、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を同様の借入を行った場合に適用される合理的に見積もられる利率で割引いて算定する方法によっております。

(10) デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照ください。

2 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：百万円)

区分	連結貸借対照表 計上額
非上場株式	12,256

上記については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券」には含めておりません。

3 金融債権及び有価証券のうち満期のあるものの連結決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	12,122	—	—	—
売掛金	43,049	32	—	—
短期貸付金	31,291	—	—	—
関係会社長期貸付金	—	6,056	3,327	2,179

4 長期借入金の連結決算日後の返済予定額

(単位：百万円)

	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超
長期借入金	3,444	1,171	611	546	2,367

(追加情報)

当連結会計年度より、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 平成20年3月10日)及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 平成20年3月10日)を適用しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度(平成21年12月31日)

1 その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (百万円)	連結決算日における 連結貸借対照表計上額 (百万円)	差額 (百万円)
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
① 株式	—	—	—
② 社債	—	—	—
③ その他	—	—	—
小計	—	—	—
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
① 株式	114	103	△11
② 社債	—	—	—
③ その他	—	—	—
小計	114	103	△11
合計	114	103	△11

(注) 表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。なお、当連結会計年度において減損処理を行い、投資有価証券評価損66百万円を計上しております。

2 時価評価されていない有価証券

区分	連結貸借対照表計上額 (百万円)
(1) その他有価証券 非上場株式	200
(2) 子会社株式および関連会社株式	14,390
合計	14,590

当連結会計年度(平成22年12月31日)

その他有価証券

区分	連結決算日における 連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
① 株式	—	—	—
② 社債	—	—	—
③ その他	—	—	—
小計	—	—	—
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの			
① 株式	99	114	△15
② 社債	—	—	—
③ その他	—	—	—
小計	99	114	△15
合計	99	114	△15

(注) 表中の「取得原価」は減損処理後の帳簿価額であります。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度(自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年12月31日)

1 取引の状況に関する事項

前連結会計年度 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年12月31日)	
(1) 取引の内容	当社グループは、財務取引において発生する金利リスク・為替リスクについてリスク量を減少させる手段のひとつとしてデリバティブ取引を利用しており、主として為替先物予約と金利スワップを行っております。
(2) デリバティブ取引に対する取組方針及び利用目的	
a ヘッジ会計の方法	繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約及び通貨スワップについては、振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を、金利スワップについては、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。 なお、一部の在外連結子会社については、米国基準による時価ヘッジ処理を採用しております。
b ヘッジ手段とヘッジ対象	
ヘッジ手段	ヘッジ対象
(a) 為替予約	外貨建金銭債権債務 及び外貨建予定取引
(b) 通貨スワップ	外貨建金銭債権債務
(c) 通貨オプション	外貨建金銭債権債務
(d) 金利スワップ	借入金
c ヘッジ方針	連結財務諸表提出会社の内部規程である「財務取引に関するリスク管理規程」及び「ヘッジ取引要領」に基づき、為替変動リスク及び金利変動リスクをヘッジしております。
d ヘッジの有効性評価の方法	キャッシュ・フロー・ヘッジについては、キャッシュ・フローの比較をもってヘッジの有効性を評価しております。
e リスク管理方針	金融資産・負債の固定／流動ギャップから生じる金利リスク及び外貨建ての金銭債権債務等から生じる為替リスクについては、ヘッジ取引によりリスクの低減を行い、そのリスク量を適正な水準に調整しております。
(3) 取引に係るリスクの内容	市場リスク(市場の相場変動によりポジションに損益が発生するリスク)には、為替リスクと、金利リスクがありますが、連結財務諸表提出会社のデリバティブ取引は貸借対照表上の資産・負債が有するリスクを効果的に相殺するヘッジ手段であり、これら取引のリスクは重要なものではありません。 また、信用リスク(取引の相手が債務不履行に陥ることにより、取引が継続していなければ将来得られるはずの効果を享受できなくなるリスク)については、連結財務諸表提出会社のデリバティブ取引の相手は信用度の高い銀行、証券会社に限られており、取引相手方の債務不履行による損失の発生はほとんどないものと判断しております。
(4) リスク管理体制	デリバティブ取引の執行及び管理は財務部が行い、常に残高状況を把握しております。取引の執行権限は財務部長に帰属しますが、取締役管理本部長の事前了承をもって実施されております。連結財務諸表提出会社のデリバティブ取引は全て実需に基づくヘッジ手段であり、運用目的によるデリバティブ自体の売買は行っておりません。

2 取引の時価等に関する事項

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

通貨関連

区分	種 類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時 価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引 以外の取引	通 貨	為替予約取引 買 建 シンガポール ドル	349	—	354	4
		売 建 米 ド ル	10,647	—	10,952	△304
		通貨スワップ取引 受取(日本円) 支払(米ドル)	5,700	5,000	431	431
		合 計	16,697	5,000	11,738	131
	金利・通貨	金利通貨スワップ取引 受取変動(日本円) 支払固定(米ドル)	1,156	1,156	16	16
		合 計	1,156	1,156	16	16

(注) 1 時価の算定方法

金融機関より提示された価格によっております。

2 ヘッジ会計を適用しているものについては、注記の対象から除いております。

3 上記為替予約取引契約における想定元本額は、この金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスク量を示すものではありません。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

区分	デリバティブ取引の種類等	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時 価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引 以外の取引	為替予約取引 買 建 米 ド ル	5,889	—	5,863	△26
	売 建 米 ド ル	24,612	—	22,860	1,751
	金利通貨スワップ取引 受取日本円 支払米ドル	5,000	2,300	840	840
	合 計	35,501	2,300	29,564	2,565

(注) 1 時価の算定方法

金融機関より提示された価格によっております。

2 上記契約額は、この金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスク量を示すものではありません。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額 (百万円)	契約額のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理方法	為替予約取引	買掛金等			
	買建 スターリング・ポンド		129	—	128
	ユーロ		338	—	336
合計			467	—	465

(注) 時価の算定方法

金融機関より提示された価格によっております。

(2) 金利関連

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理	金利スワップ取引	長期借入金			
	支払固定・受取変動		5,269	4,715	△682
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引	短期借入金 長期借入金			
	支払固定・受取変動		6,183	2,300	△116
合計			11,453	7,015	△798

(注) 時価の算定方法

金融機関より提示された価格によっております。

(退職給付関係)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)												
<p>1 採用している退職給付制度の概要 退職一時金：退職金規程に基づく退職一時金制度を採用しております。 なお、当社は従業員数300人未満の小規模企業等に該当するため、「退職給付会計に関する実務指針(中間報告)」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号 平成11年9月14日)より簡便法(自己都合退職による期末要支給額の100%を退職給付債務とする方法)を採用しております。 また、当社および一部連結子会社においては、確定拠出年金制度を採用しております。</p>	<p>1 採用している退職給付制度の概要 同左</p>												
<p>2 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 退職給付債務</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">146百万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 退職給付引当金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">146百万円</td> </tr> </table> <p>なお、退職給付債務の算定に当たり、簡便法(自己都合退職による期末要支給額の100%を退職給付債務とする方法)を採用しております。</p>	(1) 退職給付債務	146百万円	(2) 退職給付引当金	146百万円	<p>2 退職給付債務に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 退職給付債務</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">158百万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 退職給付引当金</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">158百万円</td> </tr> </table> <p>同左</p>	(1) 退職給付債務	158百万円	(2) 退職給付引当金	158百万円				
(1) 退職給付債務	146百万円												
(2) 退職給付引当金	146百万円												
(1) 退職給付債務	158百万円												
(2) 退職給付引当金	158百万円												
<p>3 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 勤務費用</td> <td style="text-align: right;">37百万円</td> </tr> <tr> <td>(2) その他 (注)</td> <td style="text-align: right;">29百万円</td> </tr> <tr> <td>(3) 退職給付費用</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">67百万円</td> </tr> </table> <p>なお、簡便法を採用しているため、退職給付費用は「勤務費用」として記載しております。 (注)「(2)その他」は、確定拠出年金への掛金(支払額)であります。</p>	(1) 勤務費用	37百万円	(2) その他 (注)	29百万円	(3) 退職給付費用	67百万円	<p>3 退職給付費用に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 勤務費用</td> <td style="text-align: right;">24百万円</td> </tr> <tr> <td>(2) その他 (注)</td> <td style="text-align: right;">23百万円</td> </tr> <tr> <td>(3) 退職給付費用</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">48百万円</td> </tr> </table> <p>同左</p>	(1) 勤務費用	24百万円	(2) その他 (注)	23百万円	(3) 退職給付費用	48百万円
(1) 勤務費用	37百万円												
(2) その他 (注)	29百万円												
(3) 退職給付費用	67百万円												
(1) 勤務費用	24百万円												
(2) その他 (注)	23百万円												
(3) 退職給付費用	48百万円												
<p>4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 当社は、退職給付債務の算定に当たり、簡便法(自己都合退職による期末要支給額の100%を退職給付債務とする方法)を採用しており、期末自己都合要支給額を退職給付債務としております。</p>	<p>4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 同左</p>												

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(税効果会計関係)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)																																																																																																																												
<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)</p> <p>① 流動資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>未払事業税</td><td style="text-align: right;">13百万円</td></tr> <tr><td>賞与引当金・未払賞与</td><td style="text-align: right;">53百万円</td></tr> <tr><td>保証工事引当金</td><td style="text-align: right;">454百万円</td></tr> <tr><td>長期外貨建資産負債為替評価</td><td style="text-align: right;">779百万円</td></tr> <tr><td>タックスヘイブン課税済留保金</td><td style="text-align: right;">135百万円</td></tr> <tr><td>清算子会社の投資等に係る税効果</td><td style="text-align: right;">1,452百万円</td></tr> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">373百万円</td></tr> <tr><td>繰延ヘッジ損益</td><td style="text-align: right;">403百万円</td></tr> <tr><td>その他引当金</td><td style="text-align: right;">112百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">301百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,080百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△135百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債(流動)との相殺</td><td style="text-align: right;">△413百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,531百万円</td></tr> </table> <p>② 固定資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>固定資産未実現利益</td><td style="text-align: right;">1,921百万円</td></tr> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">1,389百万円</td></tr> <tr><td>ゴルフ会員権評価損</td><td style="text-align: right;">19百万円</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">60百万円</td></tr> <tr><td>長期未払金</td><td style="text-align: right;">168百万円</td></tr> <tr><td>その他引当金</td><td style="text-align: right;">169百万円</td></tr> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">4百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">73百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,807百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△463百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債(固定)との相殺</td><td style="text-align: right;">△1,692百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,651百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産 合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,183百万円</td></tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <p>① 流動負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>海外子会社為替評価益一時差異</td><td style="text-align: right;">△131百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">△311百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">△443百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産(流動)との相殺</td><td style="text-align: right;">413百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">△30百万円</td></tr> </table>	未払事業税	13百万円	賞与引当金・未払賞与	53百万円	保証工事引当金	454百万円	長期外貨建資産負債為替評価	779百万円	タックスヘイブン課税済留保金	135百万円	清算子会社の投資等に係る税効果	1,452百万円	税務上の繰越欠損金	373百万円	繰延ヘッジ損益	403百万円	その他引当金	112百万円	その他	301百万円	小計	4,080百万円	評価性引当額	△135百万円	繰延税金負債(流動)との相殺	△413百万円	計	3,531百万円	固定資産未実現利益	1,921百万円	税務上の繰越欠損金	1,389百万円	ゴルフ会員権評価損	19百万円	退職給付引当金	60百万円	長期未払金	168百万円	その他引当金	169百万円	その他有価証券評価差額金	4百万円	その他	73百万円	小計	3,807百万円	評価性引当額	△463百万円	繰延税金負債(固定)との相殺	△1,692百万円	計	1,651百万円	繰延税金資産 合計	5,183百万円	海外子会社為替評価益一時差異	△131百万円	その他	△311百万円	小計	△443百万円	繰延税金資産(流動)との相殺	413百万円	計	△30百万円	<p>1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)</p> <p>① 流動資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>賞与引当金・未払賞与</td><td style="text-align: right;">32百万円</td></tr> <tr><td>保証工事引当金</td><td style="text-align: right;">430百万円</td></tr> <tr><td>長期外貨建資産負債為替評価</td><td style="text-align: right;">1,278百万円</td></tr> <tr><td>タックスヘイブン課税済留保金</td><td style="text-align: right;">135百万円</td></tr> <tr><td>清算子会社の投資等に係る税効果</td><td style="text-align: right;">739百万円</td></tr> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">334百万円</td></tr> <tr><td>その他引当金</td><td style="text-align: right;">307百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">526百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,784百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△391百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債(流動)との相殺</td><td style="text-align: right;">△396百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,996百万円</td></tr> </table> <p>② 固定資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>固定資産未実現利益</td><td style="text-align: right;">2,831百万円</td></tr> <tr><td>税務上の繰越欠損金</td><td style="text-align: right;">1,018百万円</td></tr> <tr><td>ゴルフ会員権評価損</td><td style="text-align: right;">19百万円</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td style="text-align: right;">65百万円</td></tr> <tr><td>長期未払金</td><td style="text-align: right;">123百万円</td></tr> <tr><td>その他引当金</td><td style="text-align: right;">177百万円</td></tr> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">6百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">67百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,310百万円</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">△323百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金負債(固定)との相殺</td><td style="text-align: right;">△2,580百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,405百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産 合計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,402百万円</td></tr> </table> <p>(繰延税金負債)</p> <p>① 流動負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>海外子会社為替評価益一時差異</td><td style="text-align: right;">△106百万円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">△297百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">小計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">△404百万円</td></tr> <tr><td>繰延税金資産(流動)との相殺</td><td style="text-align: right;">396百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">△7百万円</td></tr> </table>	賞与引当金・未払賞与	32百万円	保証工事引当金	430百万円	長期外貨建資産負債為替評価	1,278百万円	タックスヘイブン課税済留保金	135百万円	清算子会社の投資等に係る税効果	739百万円	税務上の繰越欠損金	334百万円	その他引当金	307百万円	その他	526百万円	小計	3,784百万円	評価性引当額	△391百万円	繰延税金負債(流動)との相殺	△396百万円	計	2,996百万円	固定資産未実現利益	2,831百万円	税務上の繰越欠損金	1,018百万円	ゴルフ会員権評価損	19百万円	退職給付引当金	65百万円	長期未払金	123百万円	その他引当金	177百万円	その他有価証券評価差額金	6百万円	その他	67百万円	小計	4,310百万円	評価性引当額	△323百万円	繰延税金負債(固定)との相殺	△2,580百万円	計	1,405百万円	繰延税金資産 合計	4,402百万円	海外子会社為替評価益一時差異	△106百万円	その他	△297百万円	小計	△404百万円	繰延税金資産(流動)との相殺	396百万円	計	△7百万円
未払事業税	13百万円																																																																																																																												
賞与引当金・未払賞与	53百万円																																																																																																																												
保証工事引当金	454百万円																																																																																																																												
長期外貨建資産負債為替評価	779百万円																																																																																																																												
タックスヘイブン課税済留保金	135百万円																																																																																																																												
清算子会社の投資等に係る税効果	1,452百万円																																																																																																																												
税務上の繰越欠損金	373百万円																																																																																																																												
繰延ヘッジ損益	403百万円																																																																																																																												
その他引当金	112百万円																																																																																																																												
その他	301百万円																																																																																																																												
小計	4,080百万円																																																																																																																												
評価性引当額	△135百万円																																																																																																																												
繰延税金負債(流動)との相殺	△413百万円																																																																																																																												
計	3,531百万円																																																																																																																												
固定資産未実現利益	1,921百万円																																																																																																																												
税務上の繰越欠損金	1,389百万円																																																																																																																												
ゴルフ会員権評価損	19百万円																																																																																																																												
退職給付引当金	60百万円																																																																																																																												
長期未払金	168百万円																																																																																																																												
その他引当金	169百万円																																																																																																																												
その他有価証券評価差額金	4百万円																																																																																																																												
その他	73百万円																																																																																																																												
小計	3,807百万円																																																																																																																												
評価性引当額	△463百万円																																																																																																																												
繰延税金負債(固定)との相殺	△1,692百万円																																																																																																																												
計	1,651百万円																																																																																																																												
繰延税金資産 合計	5,183百万円																																																																																																																												
海外子会社為替評価益一時差異	△131百万円																																																																																																																												
その他	△311百万円																																																																																																																												
小計	△443百万円																																																																																																																												
繰延税金資産(流動)との相殺	413百万円																																																																																																																												
計	△30百万円																																																																																																																												
賞与引当金・未払賞与	32百万円																																																																																																																												
保証工事引当金	430百万円																																																																																																																												
長期外貨建資産負債為替評価	1,278百万円																																																																																																																												
タックスヘイブン課税済留保金	135百万円																																																																																																																												
清算子会社の投資等に係る税効果	739百万円																																																																																																																												
税務上の繰越欠損金	334百万円																																																																																																																												
その他引当金	307百万円																																																																																																																												
その他	526百万円																																																																																																																												
小計	3,784百万円																																																																																																																												
評価性引当額	△391百万円																																																																																																																												
繰延税金負債(流動)との相殺	△396百万円																																																																																																																												
計	2,996百万円																																																																																																																												
固定資産未実現利益	2,831百万円																																																																																																																												
税務上の繰越欠損金	1,018百万円																																																																																																																												
ゴルフ会員権評価損	19百万円																																																																																																																												
退職給付引当金	65百万円																																																																																																																												
長期未払金	123百万円																																																																																																																												
その他引当金	177百万円																																																																																																																												
その他有価証券評価差額金	6百万円																																																																																																																												
その他	67百万円																																																																																																																												
小計	4,310百万円																																																																																																																												
評価性引当額	△323百万円																																																																																																																												
繰延税金負債(固定)との相殺	△2,580百万円																																																																																																																												
計	1,405百万円																																																																																																																												
繰延税金資産 合計	4,402百万円																																																																																																																												
海外子会社為替評価益一時差異	△106百万円																																																																																																																												
その他	△297百万円																																																																																																																												
小計	△404百万円																																																																																																																												
繰延税金資産(流動)との相殺	396百万円																																																																																																																												
計	△7百万円																																																																																																																												

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	
② 固定負債		② 固定負債	
減価償却額	△1,011百万円	減価償却額	△1,336百万円
工事進行基準	△294百万円	工事進行基準	△374百万円
海外子会社の未分配利益	△1,071百万円	海外子会社の未分配利益	△1,501百万円
その他	△73百万円	その他	△77百万円
小計	△2,451百万円	小計	△3,289百万円
繰延税金資産(固定)との相殺	1,692百万円	繰延税金資産(固定)との相殺	2,580百万円
計	△758百万円	計	△709百万円
繰延税金負債 合計	△788百万円	繰延税金負債 合計	△717百万円
繰延税金資産(負債)の純額	4,394百万円	繰延税金資産(負債)の純額	3,685百万円
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳		2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳	
法定実効税率	41.0%		
(調整)		法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	
海外子会社との税率の差異	△2.1%		
繰越欠損金	26.7%		
持分法投資利益	△22.5%		
控除不能源泉税(外国税等)	2.8%		
その他	1.9%		
税効果会計適用後の法人税等の負担率	47.8%		

(企業結合等関係)

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

パーチェス法の適用

1 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った主な根拠

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業 MODEC VENTURE 11 B.V.

事業の内容 FPSOのチャーター

(2) 企業結合を行った主な理由

MODEC VENTURE 11 B.V. 社に係る案件は、今後も堅調な生産が見込まれるプロジェクトであることから、当社グループの中長期的な収益拡大に資するものと期待し、同社の持分を取得して当社の子会社とすることと致しました。

(3) 企業結合日

平成22年12月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

MODEC VENTURE 11 B.V.

(6) 取得した議決権比率	
企業結合直前に所有していた議決権比率	40%
追加取得した議決権比率	20%
取得後の議決権比率	60%

- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
 当社による現金を対価とする株式取得であること

2 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

平成22年12月31日において取得している為、業績は当連結会計年度に含まれておりません。

なお、平成22年1月1日から平成22年12月31日までの被取得企業の業績につきましては、当連結財務諸表に持分法による投資利益として計上しております。

3 取得原価の算定に関する事項

(1) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	1,174百万円
取得に直接要した支出	－百万円
<u>取得原価</u>	<u>1,174百万円</u>

(2) 段階取得差益

33百万円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1) のれん金額 50百万円

(2) 発生原因

被取得企業の資産及び負債を企業結合日の時価で算定した額（純額）が、取得原価合計を下回ることにより発生しております。

(3) 償却の方法及び償却期間

効果の発現する期間で均等償却

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,021百万円
固定資産	8,006百万円
資産合計	10,027百万円
流動負債	3,725百万円
固定負債	514百万円
負債合計	10,027百万円

(注) 資産及び負債の額には、上記4.(1)「のれん金額」は含めておりません。

6 企業結合が当連結会計年度の開始日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

売上高	1,782百万円
営業利益	△84百万円
経常利益	△362百万円
税金等調整前当期純利益	△362百万円
当期純利益	△100百万円
1株当たり当期純利益	△2.29円

(概算額の算定方法及び重要な前提条件)

- 1 本株式取得が連結会計年度開始日に完了したと仮定して算定された売上高及び損益情報と当社の連結損益計算書における売上高及び損益情報との差額を、影響の概算額としております。
- 2 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数44,064千株で除して計算されております。
- 3 当該注記は監査証明を受けておりません。

(賃貸等不動産関係)

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度及び当連結会計年度において、当社グループは、浮体式石油生産設備の建造及びこれに関連する各種サービスを提供する単一の事業を展開しているため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	中南米 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び 営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,831	8,772	1,000	125,405	57,214	204,225	—	204,225
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,375	2,693	—	53,187	—	61,256	(61,256)	—
計	17,207	11,466	1,000	178,593	57,214	265,482	(61,256)	204,225
営業費用	16,206	11,815	1,163	176,074	57,086	262,345	(62,288)	200,056
営業利益又は 営業損失(△)	1,000	△348	△162	2,518	128	3,136	1,032	4,169
II 資産	81,971	5,844	1,060	81,301	43,584	213,763	(45,398)	168,365

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) アジア……………シンガポール

(2) 中南米……………メキシコ

(3) 北米……………米国

(4) その他の地域……オランダ、リベリア

3 消去又は全社の項目に計上されるのは、セグメント間の連結仕訳のみであります。

4 会計方針の変更 1. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用に記載のとおり、当連結会計年度より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当連結会計年度の「北米」の営業利益が237百万円、また資産が2,626百万円それぞれ減少しております。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	中南米 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び 営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	38,588	10,896	858	96,317	0	146,660	—	146,660
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,689	960	—	23,072	941	28,664	(28,664)	—
計	42,277	11,857	858	119,389	941	175,324	(28,664)	146,660
営業費用	42,391	11,577	1,044	115,681	917	171,612	(28,515)	143,097
営業利益又は 営業損失(△)	△113	279	△185	3,707	24	3,712	(148)	3,563
II 資産	106,026	5,102	747	63,778	21,310	196,965	(50,337)	146,627

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) アジア……………シンガポール

(2) 中南米……………メキシコ

(3) 北米……………米国

(4) その他の地域……オランダ、リベリア

3 消去又は全社の項目に計上されるのは、セグメント間の連結仕訳のみであります。

【海外売上高】

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	アフリカ	オセアニア	中南米	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	3,763	102,026	15,053	82,135	515	290	203,785
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	—	—	204,225
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.8	50.0	7.4	40.2	0.3	0.1	99.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。
 (1) アジア……………インドネシア、ベトナム、タイ
 (2) アフリカ……………アンゴラ、ガーナ、コートジボアール
 (3) オセアニア……………オーストラリア
 (4) 中南米……………ブラジル、メキシコ
 (5) 北米……………米国
 (6) その他……………ロシア
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

	アジア	アフリカ	オセアニア	中南米	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	6,901	48,291	10,316	80,136	426	224	146,297
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	—	—	—	146,660
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.7	32.9	7.0	54.7	0.3	0.2	99.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域は次のとおりであります。
 (1) アジア……………インドネシア、ベトナム、タイ
 (2) アフリカ……………アンゴラ、ガーナ、コートジボアール
 (3) オセアニア……………オーストラリア
 (4) 中南米……………ブラジル、メキシコ
 (5) 北米……………米国
 (6) その他……………ロシア
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【関連当事者情報】

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

(追加情報)

当連結会計年度より、「関連当事者の開示に関する会計基準」(企業会計基準第11号 平成18年10月17日)及び、「関連当事者の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第13号 平成18年10月17日)を適用しておりますが、従来の開示対象範囲に影響はありません。

1 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等との取引は、重要性の判断基準に照らし、取引金額が開示基準に満たないため、記載を省略しております。

(イ) 連結財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
関連会社	MODEC VENTURE 10 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 22,644,000	FPSOの チャーター	所有 直接 50.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸付(注)2(2)	—	長期貸付金	1,842
関連会社	RONG DOI MV12 PTE LTD.	シンガポール	米ドル 20,000	FPSOの チャーター	所有 直接 42.0	当社建造 FPSOの チャーター	金融機関借入に対する 債務保証 (注)2(3)	1,816	—	—
関連会社	ESPADARTE MV14 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 32,900,000	FPSOの チャーター	所有 直接 32.5	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸付(注)2(2)	—	長期貸付金	2,127
関連会社	RANG DONG MV17 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 40,000	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金回収(注)2(2)	422	長期貸付金	3,679
関連会社	OPPORTUNITY MV18 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 36,370,000	FPSOの チャーター	所有 間接 45.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸付(注)2(2) 設備資金回収(短期) (注)2(1)	2,260 20,227	長期貸付金 —	1,989 —
関連会社	SONG DOC MV19 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 40,000	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸付(注)2(2) 設備資金回収(注)2(1)	3,042 7,629	長期貸付金 —	2,873 —
関連会社	GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 50,000	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター	金融機関借入に対する 債務保証 (注)2(3)	20,681	—	—
持分法 適用 非連結 子会社	TUPI PILOT MV22 B. V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 20,000	FPSOの チャーター	所有 間接 100.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター 役員の兼任	設備資金貸付(注)2(1) 設備資金回収(注)2(1) 金融機関借入に対する 債務保証 (注)2(3)	19,592 22,660 45,304	— — —	— — —

(注) 1 上記の取引金額には為替差損益は含まれておらず、期末残高には為替差損益が含まれております。

また、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2 取引条件ないし取引条件の決定方針等は以下のとおりです。

(1) 設備資金の貸付は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(2) 運転資金の貸付は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(3) 金融機関借入に対する債務保証取引は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(ウ) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等との取引は、重要性の判断基準に照らし、取引金額が開示基準に満たないため、記載を省略しております。

(エ) 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
該当事項はありません。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等
該当事項はありません。

(イ) 連結財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又 は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
関連 会社	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	オランダ アムステ ルダム	ユーロ 50,000	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター	FPSO建造 (注)2	25,905	売掛金	1,891
持分法 適用 非連結 子会社	TUPI PILOT MV22 B.V.	オランダ アムステ ルダム	ユーロ 20,000	FPSOの チャーター	所有 間接 100.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター 役員の兼任	FPSO建造 (注)2	42,947	売掛金	12,048

(注) 1 上記の取引金額には為替差損益は含まれておらず、期末残高には為替差損益が含まれております。
また、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
2 取引条件ないし取引条件の決定方針等は以下のとおりです。
FPSO建造取引は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(ウ) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等
該当事項はありません。

(エ) 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
該当事項はありません。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井造船株式会社（東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所及び札幌証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当連結会計年度において、重要な関連会社はOPPORTUNITY MV18 B.V.、GAS OPPORTUNITY MV20 B.V. であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。

(百万円)

	OPPORTUNITY MV18 B.V.	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.
流動資産合計	2,542	66
固定資産合計	40,358	46,025
流動負債合計	3,813	1,599
固定負債合計	33,971	44,493
純資産合計	5,116	△1
売上高	6,296	0
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	1,179	△5
当期純利益又は 当期純損失(△)	882	△5

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	三井造船 株式会社	東京都 中央区	44,384	総合エンジ ニアリング	(被所有) 直接 50.1	設計支援委 託等	増資の引受 (注)	7,809	—	—

(注) 1 当社が行った第三者割当増資を1株につき1,732円で引受けたものであります。

2 上記取引金額には消費税等は含まれておりません。

(イ) 連結財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
関連会社	MODEC VENTURE 10 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 22,644,000	FPSOの チャーター	所有 直接 50.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸 付(注)2(3)	—	長期貸付金	1,630
関連会社	RONG DOI MV12 PTE LTD.	シンガポ ール	米ドル 20,000	FSOの チャーター	所有 直接 42.0	当社建造 FSOの チャーター	金融機関借 入に対する 債務保証 (注)2(4)	1,334	—	—
関連会社	ESPADARTE MV14 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 32,900,000	FPSOの チャーター	所有 直接 32.5	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸 付(注)2(3)	—	長期貸付金	1,883
関連会社	OPPORTUNITY MV18 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 36,370,000	FPSOの チャーター	所有 間接 45.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸 付(注)2(3)	—	長期貸付金	1,760
関連会社	SONG DOC MV19 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 40,000	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	当社建造 FPSOの チャーター	運転資金貸 付(注)2(3)	—	長期貸付金	2,543
関連会社	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 38,678,800	FPSOの チャーター	所有 間接 50.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター	運転資金貸 付(注)2(3) 設備資金回 収(注)2(2)	17,536 16,043	長期貸付金 —	2,179 —
持分法 適用 非連結 子会社	JUBILEE GHANA MV21 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 20,000	FPSOの チャーター	所有 間接100.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター 役員の兼任	設備資金貸 付(注)2(2) 金融機関借 入に対する 債務保証 (注)2(4)	— 16,376	短期貸付金 —	16,193 —
関連会社	TUPI PILOT MV22 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 60,000	FPSOの チャーター	所有 間接 42.5	連結子会社 建造FPSOの チャーター	設備資金貸 付(注)2(2) 金融機関借 入に対する 債務保証 (注)2(4)	5,352 26,164	— —	— —
持分法 適用 非連結 子会社	GUARA MV23 B.V.	オランダ アムステルダム	ユーロ 20,000	FPSOの チャーター	所有 間接100.0	当社建造 FPSOの チャーター 役員の兼任	FPSO建造 (注)2(1) 設備資金貸 付(注)2(2) 金融機関借 入に対する 債務保証 (注)2(4)	33,389 16,352 5,721	売掛金 短期貸付金 —	15,296 15,636 —
関連会社	MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS, PTE. LTD.	シンガポ ール	米ドル 100,000	FPSOの 建造	所有 直接 50.0	FPSOの建造 役員の兼任	FPSO建造 (注)2(1)	15,137	買掛金	4,538

(注) 1 上記の取引金額には為替差損益は含まれておらず、期末残高には為替差損益が含まれております。
また、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2 取引条件ないし取引条件の決定方針等は以下のとおりです。

- (1) FPSO/FSO建造・オペレーション取引は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。
- (2) 設備資金の貸付は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。
- (3) 運転資金の貸付は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。
- (4) 金融機関借入に対する債務保証取引は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(ウ) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等との取引は、重要性の判断基準に照らし、取引金額が開示基準に満たないため、記載を省略しております。

(エ) 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等

該当事項はありません。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引
 (ア) 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等に限る)等
 該当事項はありません。

(イ) 連結財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容 又は職業	議決権等の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
持分法 適用 非連結 子会社	JUBILEE GHANA MV21 B.V.	オランダ アムステル ダム	ユーロ 20,000	FPSOの チャーター	所有 間接100.0	連結子会社 建造FPSOの チャーター 役員の兼任	FPSO建造 (注)2	10,494	売掛金	2,918
関連 会社	TUPI PILOT MV22 B.V.	オランダ アムステル ダム	ユーロ 60,000	FPSOの チャーター	所有 間接 42.5	連結子会社 建造FPSOの チャーター	FPSO建造 (注)2	25,546	売掛金	3,524

(注) 1 上記の取引金額には為替差損益は含まれておらず、期末残高には為替差損益が含まれております。
 また、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
 2 取引条件ないし取引条件の決定方針等は以下のとおりです。
 FPSO建造取引は、各プロジェクトの計画を十分考慮し、総合的に決定しております。

(ウ) 連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係
 会社の子会社等
 該当事項はありません。

(エ) 連結財務諸表提出会社の役員及び主要株主(個人の場合に限る。)等
 該当事項はありません。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井造船株式会社(東京証券取引所、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所及び札幌証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当連結会計年度において、重要な関連会社はJASMINE FPSO PTE LTD.、OPPORTUNITY MV18 B.V.、GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.及びTUPI PILOT MV22 B.V.であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。

(百万円)

	JASMINE FPSO PTE LTD.	OPPORTUNITY MV18 B.V.	GAS OPPORTUNITY MV20 B.V.	TUPI PILOT MV22 B.V.
流動資産合計	2,023	2,480	1,201	2,373
固定資産合計	883	33,199	42,841	81,376
流動負債合計	375	3,280	3,391	83,722
固定負債合計	—	27,076	35,935	—
純資産合計	2,530	5,323	4,715	27
売上高	1,370	6,721	4,992	3,340
税引前当期純利益	1,250	1,094	479	32
当期純利益	1,039	794	358	25

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 1,022円15銭	1株当たり純資産額 1,155円65銭
1株当たり当期純利益金額 64円52銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり当期純利益金額 62円09銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (平成21年12月31日)	当連結会計年度 (平成22年12月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	40,073	58,323
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
少数株主持分	1,838	4,693
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	38,235	53,630
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	37,407	46,407

2 1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
連結損益計算書上の当期純利益(百万円)	2,413	2,735
普通株式に係る当期純利益(百万円)	2,413	2,735
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,407	44,064

(重要な後発事象)

前連結会計年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

第三者割当増資及び三井物産株式会社との業務提携

1. 第三者割当増資

当社は平成22年2月26日開催の取締役会において、平成22年4月6日を払込期日とする第三者割当増資による普通株式の募集について、決議しております。当該第三者割当増資の内容は以下のとおりであります。

(1) 発行する株式の種類及び数	普通株式 9,000,000株
(2) 募集時における発行済株式数	37,407,397株 (自己株式603株除く)
(3) 募集後における発行済株式数	46,407,397株 (自己株式603株除く)
(4) 発行価額	1株につき1,732円
(5) 発行価額の総額	15,588百万円
(6) 発行価額のうち資本へ組入れる額	1株につき866円
(7) 払込期日	平成22年4月6日
(8) 割当先及び株式数	三井造船株式会社 4,509,000株 三井物産株式会社 4,491,000株
(9) 新株の配当起算日	平成22年1月1日
(10) 資金用途	FPSO等のチャータープロジェクトにおける投融資

2. 業務提携

当社は平成22年2月26日開催の取締役会において、上記記載の第三者割当増資と合わせて三井物産株式会社との業務提携を決議しております。当該業務提携の内容は以下のとおりであります。

(1) 業務提携の内容

FPSO等の事業について、それぞれを戦略的パートナーと位置付け、両社の経営資源、ノウハウ、ブランド、顧客基盤を相互活用することで、近年大型化されているFPSO等のプロジェクトにおける競争力の強化と金融機関からの資金調達力を強化することを目的としております。

なお、本業務提携契約は、平成22年4月6日までに三井物産株式会社から上記記載の第三者割当増資の払込みが実行されなかった場合は、当社と三井物産株式会社のいずれからも解除することができます。

(2) 三井物産株式会社が取得する株式の数及び発行済株式数に対する割合

三井物産株式会社は、本第三者割当増資により当社が発行する普通株式のうち4,491,000株の引受をいたします。かかる引受により、三井物産株式会社は、本第三者割当増資後の当社の発行済株式総数の14.99%の普通株式を保有する予定です。

当連結会計年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

⑤ 【連結附属明細表】

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

区分	前期末残高 (百万円)	当期末残高 (百万円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	27,180	17,193	1.00	—
1年内返済予定の長期借入金	16,147	6,043	1.94	—
長期借入金(1年内返済予定のものを除く。)	13,472	8,140	0.99	平成29年10月3日
合計	56,799	31,377	—	—

(注) 1 平均利率については、期末借入金残高に対する加重平均利率を記載しております。また、金利スワップを行っている借入金についてはスワップ前の金利を対象としております。

2 長期借入金(1年内返済予定のものを除く。)の連結決算日後5年内における1年ごとの返済予定額は以下のとおりであります。

1年超2年以内 (百万円)	2年超3年以内 (百万円)	3年超4年以内 (百万円)	4年超5年以内 (百万円)
3,444	1,171	611	546

(2) 【その他】

1. 当連結会計年度における各四半期連結会計期間に係る売上高等

	第1四半期 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	第3四半期 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	第4四半期 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高 (百万円)	41,158	48,041	25,849	31,611
税金等調整前四半期純利益 (百万円)	2,449	828	754	1,799
四半期純利益 (百万円)	1,366	392	652	325
1株当たり四半期純利益 (円)	36.52	8.54	14.05	7.01

2. 重要な訴訟等

当社グループは、Petrobras社より、平成9年3月にブラジルのMaritima Petroleoe Engenharia LTDA (Maritima社) が受注し、当社が共同受注者として参画したFPSO建造プロジェクトに関する訴訟の提起を受けております。

訴状によればPetrobras社は、Maritima社が本プロジェクトに関して外部業者への支払不履行を起こした際、プロジェクトの遅延を懸念してこれらの費用を立て替えて支払ったが、Maritima社が費用の返還請求に応じなかったため、同社、同社の子会社であるMaritima Overseas, Inc. 及び共同受注者であった当社に対する返還請求訴訟を提起した、としております。

当社グループは訴訟の対象となっているプロジェクトにおいて所掌業務を問題なく完了しており、問題とされている取引に関与していないこと、また受注に際してMaritima社と締結した契約において所掌業務以外の事項に関する当社の免責を確認していること等により、当社グループには支払い義務がないものと認識しております。

なお、Petrobras社による返還請求金額は42,465千ドル及び資金返還日までの金利相当額であります。

2 【財務諸表等】
 (1) 【財務諸表】
 ① 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年12月31日)	当事業年度 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,605	1,569
売掛金	※1 6,274	※1 18,231
原材料	36	31
仕掛工事	4	26
前払費用	59	284
繰延税金資産	2,512	2,646
短期貸付金	※1 27,021	※1 41,991
未収入金	※1 504	※1 805
未収収益	※1 75	※1 177
立替金	※1 232	※1 313
為替予約資産	—	1,725
その他	215	974
貸倒引当金	△3,558	△2,105
流動資産合計	34,982	66,673
固定資産		
有形固定資産		
建物	147	146
減価償却累計額	△32	△45
建物（純額）	114	100
工具、器具及び備品	235	235
減価償却累計額	△157	△183
工具、器具及び備品（純額）	78	52
建設仮勘定	—	6
有形固定資産合計	193	158
無形固定資産		
ソフトウェア	109	74
その他	1	6
無形固定資産合計	111	80
投資その他の資産		
投資有価証券	303	299
関係会社株式	23,983	24,878
長期貸付金	11	—
関係会社長期貸付金	14,281	15,377
繰延税金資産	235	196
保険積立金	262	254
その他	797	840
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	39,873	41,842
固定資産合計	40,177	42,081
資産合計	75,160	108,754

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成21年12月31日)	当事業年度 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	※1 1,413	※1 16,343
短期借入金	16,055	※1 28,321
1年内返済予定の長期借入金	8,770	4,838
未払金	—	※1 3,014
未払費用	102	192
未払法人税等	135	—
前受金	※1 43	※1 35
預り金	150	111
賞与引当金	72	42
役員賞与引当金	13	13
保証工事引当金	424	583
その他の引当金	—	74
その他	※1 596	90
流動負債合計	27,777	53,663
固定負債		
長期借入金	13,472	6,311
退職給付引当金	146	158
長期未払金	412	301
固定負債合計	14,031	6,771
負債合計	41,808	60,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,391	20,185
資本剰余金		
資本準備金	13,121	20,915
資本剰余金合計	13,121	20,915
利益剰余金		
利益準備金	68	68
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	7,777	7,160
利益剰余金合計	7,846	7,229
自己株式	△1	△1
株主資本合計	33,357	48,328
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	△9
評価・換算差額等合計	△6	△9
純資産合計	33,351	48,319
負債純資産合計	75,160	108,754

②【損益計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	※1 18,975	※1 42,925
売上原価	※1, ※3 15,265	※1, ※3 39,739
売上総利益	3,710	3,185
販売費及び一般管理費	※2, ※3 2,710	※2, ※3 3,084
営業利益	999	101
営業外収益		
受取利息	※1 1,490	※1 1,348
受取配当金	※1 96	※1 786
デリバティブ評価益	448	391
その他	261	353
営業外収益合計	2,295	2,881
営業外費用		
支払利息	777	563
為替差損	576	1,650
その他	56	140
営業外費用合計	1,409	2,355
経常利益	1,885	627
特別利益		
貸倒引当金戻入額	703	118
関係会社清算益	—	58
特別利益合計	703	177
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,104	—
貸倒損失	—	155
関係会社株式評価損	59	—
関係会社清算損	—	440
投資有価証券評価損	66	—
特別損失合計	2,230	596
税引前当期純利益	359	207
法人税、住民税及び事業税	727	15
過年度法人税等	△1	5
法人税等調整額	△609	△93
法人税等合計	115	△71
当期純利益	243	279

【製造原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)		当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
I 材料費		1,385	9.1	790	2.0
II 外注費		10,422	68.4	34,870	87.7
III 経費		1,968	12.9	3,488	8.8
IV 用役費		1,470	9.6	612	1.5
当期総製造費用		15,247	100.0	39,762	100.0
期首仕掛工事		22		4	
合計		15,269		39,766	
期末仕掛工事		4		26	
当期製品製造原価 (売上原価)		15,265		39,739	

(注) 原価計算の方法は、実際個別原価計算であります。

③【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	12,391	12,391
当期変動額		
新株の発行	—	7,794
当期変動額合計	—	7,794
当期末残高	12,391	20,185
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	13,121	13,121
当期変動額		
新株の発行	—	7,794
当期変動額合計	—	7,794
当期末残高	13,121	20,915
資本剰余金合計		
前期末残高	13,121	13,121
当期変動額		
新株の発行	—	7,794
当期変動額合計	—	7,794
当期末残高	13,121	20,915
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	68	68
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	68	68
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	8,235	7,777
当期変動額		
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	243	279
当期変動額合計	△457	△616
当期末残高	7,777	7,160
利益剰余金合計		
前期末残高	8,303	7,846
当期変動額		
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	243	279
当期変動額合計	△457	△616
当期末残高	7,846	7,229

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
自己株式		
前期末残高	△1	△1
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△1	△1
株主資本合計		
前期末残高	33,815	33,357
当期変動額		
新株の発行	—	15,588
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	243	279
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△457	14,971
当期末残高	33,357	48,328
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△27	△6
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21	△2
当期変動額合計	21	△2
当期末残高	△6	△9
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△27	△6
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21	△2
当期変動額合計	21	△2
当期末残高	△6	△9
純資産合計		
前期末残高	33,787	33,351
当期変動額		
新株の発行	—	15,588
剰余金の配当	△701	△896
当期純利益	243	279
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	21	△2
当期変動額合計	△436	14,968
当期末残高	33,351	48,319

【重要な会計方針】

<p>前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)</p>	<p>当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)</p>
<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定) 時価のないもの 移動平均法による原価法</p>	<p>1 有価証券の評価基準及び評価方法 (1) 子会社株式及び関連会社株式 同左 (2) その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの 同左</p>
<p>2 デリバティブ取引により生ずる債権及び債務 時価法</p>	<p>2 デリバティブ取引により生ずる債権及び債務 同左</p>
<p>3 たな卸資産の評価基準及び評価方法 原材料 個別法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) 仕掛工事 個別法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) (会計方針の変更) 従来、原材料及び仕掛工事については、個別法による原価法で評価しておりましたが、当事業年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。 これによる当事業年度の損益に与える影響はありません。</p>	<p>3 たな卸資産の評価基準及び評価方法 原材料 個別法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) 仕掛工事 個別法による原価法 (貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)</p>
<p>4 固定資産の減価償却の方法 (1) 有形固定資産 建物(建物附属設備は除く) ① 平成10年4月1日以降平成19年3月31日以前に取得したもの 旧定額法によっております。 ② 平成19年4月1日以降に取得したもの 定額法によっております。 建物(建物附属設備は除く)以外 ① 平成19年3月31日以前に取得したもの 旧定率法によっております。 ② 平成19年4月1日以降に取得したもの 定率法によっております。 (2) 無形固定資産 定額法によっております。 なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)により定額法で償却しております。</p>	<p>4 固定資産の減価償却の方法 (1) 有形固定資産 建物(建物附属設備は除く) 同左 建物(建物附属設備は除く)以外 同左 (2) 無形固定資産 同左</p>

<p style="text-align: center;">前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)</p>
<p>5 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 従業員へ支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に対応する金額を計上しております。</p> <p>(3) 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に対応する金額を計上しております。</p> <p>(4) 保証工事引当金 完成工事にかかわる保証工事の支出に備えるため保証期間内の保証工事費用見積額を計上しております。</p> <p>(5) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。</p>	<p>5 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 賞与引当金 同左</p> <p>(3) 役員賞与引当金 同左</p> <p>(4) 保証工事引当金 同左</p> <p>(5) 退職給付引当金 同左</p>
<p style="text-align: center;">—</p>	<p>6 繰延資産の処理方法 株式交付費 支出時に全額費用処理しております。</p>
<p>6 収益及び費用の計上基準 請負工事については、売上高及び売上原価は原則として工事完成基準により計上しております。ただし、工期が1年を超え、かつ請負金額が10億円以上の長期大型の建造工事については、工事進行基準を適用しております。</p>	<p>7 収益及び費用の計上基準 当事業年度に着手した工事契約から、当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法及びプロジェクトの工事種別ごとの見積総工数及び見積工事期間に占める発生工数及び経過期間の割合等を複合的に合算して算出した進捗率を用いた出来高基準）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>(会計方針の変更) 請負工事に係る収益の計上基準については、従来、主として工期が1年を超え、かつ請負金額が10億円以上の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当事業年度より適用し、当事業年度に着手した工事契約から、当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積もりは原価比例法及びプロジェクトの工事種別ごとの見積総工数及び見積工事期間に占める発生工数及び経過期間の割合等を複合的に合算して算出した進捗率を用いた出来高基準）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>なお、これによる当事業年度の財務諸表に与える影響はありません。</p>

前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)								
<p>7 ヘッジ会計の方法</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、為替予約及び通貨スワップについては、振当処理の要件を満たしている場合は振当処理を、金利スワップについては、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">ヘッジ手段</th> <th style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">ヘッジ対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(a) 為替予約</td> <td>外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(b) 通貨スワップ</td> <td>外貨建金銭債権債務</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(c) 金利スワップ</td> <td>借入金</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ヘッジ方針 財務諸表提出会社の内部規程である「財務取引に関するリスク管理規程」及び「ヘッジ取引要領」に基づき、為替変動リスク及び金利変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 キャッシュ・フロー・ヘッジについては、キャッシュ・フローの比較をもってヘッジの有効性を評価しております。</p> <p>(5) リスク管理方針 金融資産・負債の固定／流動ギャップから生じる金利リスク及び外貨建の金銭債権債務等から生じる為替リスクについては、ヘッジ取引によりリスクの低減を行い、そのリスク量を適正な水準に調整しております。</p>	ヘッジ手段	ヘッジ対象	(a) 為替予約	外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引	(b) 通貨スワップ	外貨建金銭債権債務	(c) 金利スワップ	借入金	<p>8 ヘッジ会計の方法</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 同左</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 同左</p> <p>(5) リスク管理方針 同左</p>
ヘッジ手段	ヘッジ対象								
(a) 為替予約	外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引								
(b) 通貨スワップ	外貨建金銭債権債務								
(c) 金利スワップ	借入金								
<p>8 その他財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。</p>	<p>9 その他財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理 同左</p>								

【会計方針の変更】

前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
<p>(リース取引に関する会計基準等)</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当事業年度より「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> <p>これによる当事業年度の損益に与える影響はありません。</p>	—

【表示方法の変更】

前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
—	<p>(貸借対照表)</p> <p>「未払金」は、前事業年度まで流動負債「その他」に含めておりましたが、当事業年度より負債純資産合計の100分の1を超えたため区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度における「未払金」の金額は、286百万円であります。</p>

【注記事項】

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成21年12月31日)	当事業年度 (平成22年12月31日)																																																																																																																																												
<p>※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれるものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>売掛金</td><td style="text-align: right;">3,460百万円</td></tr> <tr><td>短期貸付金</td><td style="text-align: right;">27,021百万円</td></tr> <tr><td>未収入金</td><td style="text-align: right;">503百万円</td></tr> <tr><td>未収収益</td><td style="text-align: right;">75百万円</td></tr> <tr><td>立替金</td><td style="text-align: right;">105百万円</td></tr> <tr><td>買掛金</td><td style="text-align: right;">673百万円</td></tr> <tr><td>前受金</td><td style="text-align: right;">42百万円</td></tr> <tr><td>流動負債のその他 (未払金)</td><td style="text-align: right;">126百万円</td></tr> </table> <p>2 偶発債務 関係会社の金融機関からの借入金及び契約履行等に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.</td><td style="text-align: right;">460百万円</td></tr> <tr><td>SOFEC, INC.</td><td style="text-align: right;">233百万円</td></tr> <tr><td>MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.</td><td style="text-align: right;">6,440百万円</td></tr> <tr><td>MODEC ANGOLA LDA.</td><td style="text-align: right;">783百万円</td></tr> <tr><td>PT ARAH PRANA</td><td style="text-align: right;">186百万円</td></tr> <tr><td>MODEC VENTURE 10 B. V.</td><td style="text-align: right;">414百万円</td></tr> <tr><td>MODEC VENTURE 11 B. V.</td><td style="text-align: right;">785百万円</td></tr> <tr><td>RONG DOI MV12 PTE LTD.</td><td style="text-align: right;">1,816百万円</td></tr> <tr><td>ESPADARTE MV14 B. V.</td><td style="text-align: right;">261百万円</td></tr> <tr><td>PRA-1 MV15 B. V.</td><td style="text-align: right;">193百万円</td></tr> <tr><td>STYBARROW MV16 B. V.</td><td style="text-align: right;">294百万円</td></tr> <tr><td>OPPORTUNITY MV18 B. V.</td><td style="text-align: right;">546百万円</td></tr> <tr><td>SONG DOC MV19 B. V.</td><td style="text-align: right;">253百万円</td></tr> <tr><td>GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.</td><td style="text-align: right;">20,681百万円</td></tr> <tr><td>JUBILEE GHANA MV21 B. V.</td><td style="text-align: right;">18,501百万円</td></tr> <tr><td>TUPI PILOT MV22 B. V.</td><td style="text-align: right;">45,304百万円</td></tr> </table> <p>上記のうち外貨による保証金額はUS\$1,054百万であります。</p> <p>また、上記のほか持分法適用関連会社及び持分法適用非連結子会社の金利スワップ取引について債務保証を行っております。当該スワップの時価は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>MODEC VENTURE 10 B. V.</td><td style="text-align: right;">△187百万円</td></tr> <tr><td>MODEC VENTURE 11 B. V.</td><td style="text-align: right;">△3百万円</td></tr> <tr><td>RONG DOI MV12 PTE LTD.</td><td style="text-align: right;">△235百万円</td></tr> <tr><td>ESPADARTE MV14 B. V.</td><td style="text-align: right;">△462百万円</td></tr> <tr><td>PRA-1 MV15 B. V.</td><td style="text-align: right;">△559百万円</td></tr> <tr><td>STYBARROW MV16 B. V.</td><td style="text-align: right;">△567百万円</td></tr> <tr><td>RANG DONG MV17 B. V.</td><td style="text-align: right;">△445百万円</td></tr> <tr><td>SONG DOC MV19 B. V.</td><td style="text-align: right;">△221百万円</td></tr> <tr><td>GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.</td><td style="text-align: right;">△2,693百万円</td></tr> <tr><td>JUBILEE GHANA MV21 B. V.</td><td style="text-align: right;">△1,577百万円</td></tr> <tr><td>TUPI PILOT MV22 B. V.</td><td style="text-align: right;">△4,026百万円</td></tr> </table>	売掛金	3,460百万円	短期貸付金	27,021百万円	未収入金	503百万円	未収収益	75百万円	立替金	105百万円	買掛金	673百万円	前受金	42百万円	流動負債のその他 (未払金)	126百万円	CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.	460百万円	SOFEC, INC.	233百万円	MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	6,440百万円	MODEC ANGOLA LDA.	783百万円	PT ARAH PRANA	186百万円	MODEC VENTURE 10 B. V.	414百万円	MODEC VENTURE 11 B. V.	785百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,816百万円	ESPADARTE MV14 B. V.	261百万円	PRA-1 MV15 B. V.	193百万円	STYBARROW MV16 B. V.	294百万円	OPPORTUNITY MV18 B. V.	546百万円	SONG DOC MV19 B. V.	253百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	20,681百万円	JUBILEE GHANA MV21 B. V.	18,501百万円	TUPI PILOT MV22 B. V.	45,304百万円	MODEC VENTURE 10 B. V.	△187百万円	MODEC VENTURE 11 B. V.	△3百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	△235百万円	ESPADARTE MV14 B. V.	△462百万円	PRA-1 MV15 B. V.	△559百万円	STYBARROW MV16 B. V.	△567百万円	RANG DONG MV17 B. V.	△445百万円	SONG DOC MV19 B. V.	△221百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	△2,693百万円	JUBILEE GHANA MV21 B. V.	△1,577百万円	TUPI PILOT MV22 B. V.	△4,026百万円	<p>※1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれるものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>売掛金</td><td style="text-align: right;">16,894百万円</td></tr> <tr><td>短期貸付金</td><td style="text-align: right;">41,981百万円</td></tr> <tr><td>未収入金</td><td style="text-align: right;">138百万円</td></tr> <tr><td>未収収益</td><td style="text-align: right;">177百万円</td></tr> <tr><td>立替金</td><td style="text-align: right;">11百万円</td></tr> <tr><td>買掛金</td><td style="text-align: right;">14,704百万円</td></tr> <tr><td>短期借入金</td><td style="text-align: right;">11,127百万円</td></tr> <tr><td>前受金</td><td style="text-align: right;">34百万円</td></tr> <tr><td>未払金</td><td style="text-align: right;">217百万円</td></tr> </table> <p>2 偶発債務 関係会社の金融機関からの借入金及び契約履行等に対し、債務保証を行っております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.</td><td style="text-align: right;">407百万円</td></tr> <tr><td>SOFEC, INC.</td><td style="text-align: right;">70百万円</td></tr> <tr><td>MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.</td><td style="text-align: right;">5,700百万円</td></tr> <tr><td>MODEC ANGOLA LDA.</td><td style="text-align: right;">693百万円</td></tr> <tr><td>PT ARAH PRANA</td><td style="text-align: right;">165百万円</td></tr> <tr><td>MODEC VENTURE 10 B. V.</td><td style="text-align: right;">366百万円</td></tr> <tr><td>MODEC VENTURE 11 B. V.</td><td style="text-align: right;">489百万円</td></tr> <tr><td>RONG DOI MV12 PTE LTD.</td><td style="text-align: right;">1,334百万円</td></tr> <tr><td>ESPADARTE MV14 B. V.</td><td style="text-align: right;">231百万円</td></tr> <tr><td>PRA-1 MV15 B. V.</td><td style="text-align: right;">170百万円</td></tr> <tr><td>STYBARROW MV16 B. V.</td><td style="text-align: right;">260百万円</td></tr> <tr><td>OPPORTUNITY MV18 B. V.</td><td style="text-align: right;">485百万円</td></tr> <tr><td>SONG DOC MV19 B. V.</td><td style="text-align: right;">224百万円</td></tr> <tr><td>GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.</td><td style="text-align: right;">505百万円</td></tr> <tr><td>JUBILEE GHANA MV21 B. V.</td><td style="text-align: right;">16,376百万円</td></tr> <tr><td>TUPI PILOT MV22 B. V.</td><td style="text-align: right;">26,164百万円</td></tr> <tr><td>GUARA MV23 B. V.</td><td style="text-align: right;">5,721百万円</td></tr> </table> <p>上記のうち外貨による保証金額はUS\$728百万であります。</p> <p>また、上記のほか連結子会社及び持分法適用関連会社の金利スワップ取引について債務保証を行っております。当該スワップの時価は以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>MODEC VENTURE 10 B. V.</td><td style="text-align: right;">△77百万円</td></tr> <tr><td>RONG DOI MV12 PTE LTD.</td><td style="text-align: right;">△161百万円</td></tr> <tr><td>ESPADARTE MV14 B. V.</td><td style="text-align: right;">△379百万円</td></tr> <tr><td>PRA-1 MV15 B. V.</td><td style="text-align: right;">△576百万円</td></tr> <tr><td>STYBARROW MV16 B. V.</td><td style="text-align: right;">△553百万円</td></tr> <tr><td>RANG DONG MV17 B. V.</td><td style="text-align: right;">△444百万円</td></tr> <tr><td>SONG DOC MV19 B. V.</td><td style="text-align: right;">△150百万円</td></tr> <tr><td>GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.</td><td style="text-align: right;">△1,835百万円</td></tr> <tr><td>TUPI PILOT MV22 B. V.</td><td style="text-align: right;">△2,612百万円</td></tr> </table>	売掛金	16,894百万円	短期貸付金	41,981百万円	未収入金	138百万円	未収収益	177百万円	立替金	11百万円	買掛金	14,704百万円	短期借入金	11,127百万円	前受金	34百万円	未払金	217百万円	CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.	407百万円	SOFEC, INC.	70百万円	MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	5,700百万円	MODEC ANGOLA LDA.	693百万円	PT ARAH PRANA	165百万円	MODEC VENTURE 10 B. V.	366百万円	MODEC VENTURE 11 B. V.	489百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,334百万円	ESPADARTE MV14 B. V.	231百万円	PRA-1 MV15 B. V.	170百万円	STYBARROW MV16 B. V.	260百万円	OPPORTUNITY MV18 B. V.	485百万円	SONG DOC MV19 B. V.	224百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	505百万円	JUBILEE GHANA MV21 B. V.	16,376百万円	TUPI PILOT MV22 B. V.	26,164百万円	GUARA MV23 B. V.	5,721百万円	MODEC VENTURE 10 B. V.	△77百万円	RONG DOI MV12 PTE LTD.	△161百万円	ESPADARTE MV14 B. V.	△379百万円	PRA-1 MV15 B. V.	△576百万円	STYBARROW MV16 B. V.	△553百万円	RANG DONG MV17 B. V.	△444百万円	SONG DOC MV19 B. V.	△150百万円	GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	△1,835百万円	TUPI PILOT MV22 B. V.	△2,612百万円
売掛金	3,460百万円																																																																																																																																												
短期貸付金	27,021百万円																																																																																																																																												
未収入金	503百万円																																																																																																																																												
未収収益	75百万円																																																																																																																																												
立替金	105百万円																																																																																																																																												
買掛金	673百万円																																																																																																																																												
前受金	42百万円																																																																																																																																												
流動負債のその他 (未払金)	126百万円																																																																																																																																												
CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.	460百万円																																																																																																																																												
SOFEC, INC.	233百万円																																																																																																																																												
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	6,440百万円																																																																																																																																												
MODEC ANGOLA LDA.	783百万円																																																																																																																																												
PT ARAH PRANA	186百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 10 B. V.	414百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 11 B. V.	785百万円																																																																																																																																												
RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,816百万円																																																																																																																																												
ESPADARTE MV14 B. V.	261百万円																																																																																																																																												
PRA-1 MV15 B. V.	193百万円																																																																																																																																												
STYBARROW MV16 B. V.	294百万円																																																																																																																																												
OPPORTUNITY MV18 B. V.	546百万円																																																																																																																																												
SONG DOC MV19 B. V.	253百万円																																																																																																																																												
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	20,681百万円																																																																																																																																												
JUBILEE GHANA MV21 B. V.	18,501百万円																																																																																																																																												
TUPI PILOT MV22 B. V.	45,304百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 10 B. V.	△187百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 11 B. V.	△3百万円																																																																																																																																												
RONG DOI MV12 PTE LTD.	△235百万円																																																																																																																																												
ESPADARTE MV14 B. V.	△462百万円																																																																																																																																												
PRA-1 MV15 B. V.	△559百万円																																																																																																																																												
STYBARROW MV16 B. V.	△567百万円																																																																																																																																												
RANG DONG MV17 B. V.	△445百万円																																																																																																																																												
SONG DOC MV19 B. V.	△221百万円																																																																																																																																												
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	△2,693百万円																																																																																																																																												
JUBILEE GHANA MV21 B. V.	△1,577百万円																																																																																																																																												
TUPI PILOT MV22 B. V.	△4,026百万円																																																																																																																																												
売掛金	16,894百万円																																																																																																																																												
短期貸付金	41,981百万円																																																																																																																																												
未収入金	138百万円																																																																																																																																												
未収収益	177百万円																																																																																																																																												
立替金	11百万円																																																																																																																																												
買掛金	14,704百万円																																																																																																																																												
短期借入金	11,127百万円																																																																																																																																												
前受金	34百万円																																																																																																																																												
未払金	217百万円																																																																																																																																												
CANTARELL FSO, INC., S. A. DE C. V.	407百万円																																																																																																																																												
SOFEC, INC.	70百万円																																																																																																																																												
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	5,700百万円																																																																																																																																												
MODEC ANGOLA LDA.	693百万円																																																																																																																																												
PT ARAH PRANA	165百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 10 B. V.	366百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 11 B. V.	489百万円																																																																																																																																												
RONG DOI MV12 PTE LTD.	1,334百万円																																																																																																																																												
ESPADARTE MV14 B. V.	231百万円																																																																																																																																												
PRA-1 MV15 B. V.	170百万円																																																																																																																																												
STYBARROW MV16 B. V.	260百万円																																																																																																																																												
OPPORTUNITY MV18 B. V.	485百万円																																																																																																																																												
SONG DOC MV19 B. V.	224百万円																																																																																																																																												
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	505百万円																																																																																																																																												
JUBILEE GHANA MV21 B. V.	16,376百万円																																																																																																																																												
TUPI PILOT MV22 B. V.	26,164百万円																																																																																																																																												
GUARA MV23 B. V.	5,721百万円																																																																																																																																												
MODEC VENTURE 10 B. V.	△77百万円																																																																																																																																												
RONG DOI MV12 PTE LTD.	△161百万円																																																																																																																																												
ESPADARTE MV14 B. V.	△379百万円																																																																																																																																												
PRA-1 MV15 B. V.	△576百万円																																																																																																																																												
STYBARROW MV16 B. V.	△553百万円																																																																																																																																												
RANG DONG MV17 B. V.	△444百万円																																																																																																																																												
SONG DOC MV19 B. V.	△150百万円																																																																																																																																												
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	△1,835百万円																																																																																																																																												
TUPI PILOT MV22 B. V.	△2,612百万円																																																																																																																																												

前事業年度 (平成21年12月31日)	当事業年度 (平成22年12月31日)																		
<p>3 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と貸出コミットメント契約を締結しております。</p> <p>当事業年度末における貸出コミットメントに係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">US\$ 110百万</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">US\$ 25百万</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">US\$ 85百万</td> </tr> </table>	貸出コミットメントの総額	US\$ 110百万	借入実行残高	US\$ 25百万	差引額	US\$ 85百万	<p>3 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行と貸出コミットメント契約を、また取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。</p> <p>当事業年度末における貸出コミットメントに係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">US\$110百万</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">US\$ ー百万</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">US\$110百万</td> </tr> </table> <p>当事業年度末における当座貸越に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">当座貸越枠</td> <td style="text-align: right;">3,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">1,000百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,000百万円</td> </tr> </table>	貸出コミットメントの総額	US\$110百万	借入実行残高	US\$ ー百万	差引額	US\$110百万	当座貸越枠	3,000百万円	借入実行残高	1,000百万円	差引額	2,000百万円
貸出コミットメントの総額	US\$ 110百万																		
借入実行残高	US\$ 25百万																		
差引額	US\$ 85百万																		
貸出コミットメントの総額	US\$110百万																		
借入実行残高	US\$ ー百万																		
差引額	US\$110百万																		
当座貸越枠	3,000百万円																		
借入実行残高	1,000百万円																		
差引額	2,000百万円																		

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)																																
<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">売上高</td> <td style="text-align: right;">8,270百万円</td> </tr> <tr> <td>売上原価(仕入高)</td> <td style="text-align: right;">6,118百万円</td> </tr> <tr> <td>受取利息</td> <td style="text-align: right;">1,483百万円</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td style="text-align: right;">92百万円</td> </tr> </table>	売上高	8,270百万円	売上原価(仕入高)	6,118百万円	受取利息	1,483百万円	受取配当金	92百万円	<p>※1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">売上高</td> <td style="text-align: right;">39,141百万円</td> </tr> <tr> <td>売上原価(仕入高)</td> <td style="text-align: right;">32,583百万円</td> </tr> <tr> <td>受取利息</td> <td style="text-align: right;">1,345百万円</td> </tr> <tr> <td>受取配当金</td> <td style="text-align: right;">783百万円</td> </tr> </table>	売上高	39,141百万円	売上原価(仕入高)	32,583百万円	受取利息	1,345百万円	受取配当金	783百万円																
売上高	8,270百万円																																
売上原価(仕入高)	6,118百万円																																
受取利息	1,483百万円																																
受取配当金	92百万円																																
売上高	39,141百万円																																
売上原価(仕入高)	32,583百万円																																
受取利息	1,345百万円																																
受取配当金	783百万円																																
<p>※2 販売費及び一般管理費の主なものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">163百万円</td> </tr> <tr> <td>給与・賞与</td> <td style="text-align: right;">416百万円</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">31百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">31百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">29百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">5百万円</td> </tr> <tr> <td>見積費</td> <td style="text-align: right;">501百万円</td> </tr> </table> <p>費用のおおよその割合は、販売費57%、一般管理費43%であります。</p>	役員報酬	163百万円	給与・賞与	416百万円	役員賞与引当金繰入額	13百万円	賞与引当金繰入額	31百万円	退職給付費用	31百万円	減価償却費	29百万円	貸倒引当金繰入額	5百万円	見積費	501百万円	<p>※2 販売費及び一般管理費の主なものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">168百万円</td> </tr> <tr> <td>給与・賞与</td> <td style="text-align: right;">540百万円</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">13百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">25百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">31百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">27百万円</td> </tr> <tr> <td>見積費</td> <td style="text-align: right;">315百万円</td> </tr> <tr> <td>コンサルタント料</td> <td style="text-align: right;">598百万円</td> </tr> </table> <p>費用のおおよその割合は、販売費55%、一般管理費45%であります。</p>	役員報酬	168百万円	給与・賞与	540百万円	役員賞与引当金繰入額	13百万円	賞与引当金繰入額	25百万円	退職給付費用	31百万円	減価償却費	27百万円	見積費	315百万円	コンサルタント料	598百万円
役員報酬	163百万円																																
給与・賞与	416百万円																																
役員賞与引当金繰入額	13百万円																																
賞与引当金繰入額	31百万円																																
退職給付費用	31百万円																																
減価償却費	29百万円																																
貸倒引当金繰入額	5百万円																																
見積費	501百万円																																
役員報酬	168百万円																																
給与・賞与	540百万円																																
役員賞与引当金繰入額	13百万円																																
賞与引当金繰入額	25百万円																																
退職給付費用	31百万円																																
減価償却費	27百万円																																
見積費	315百万円																																
コンサルタント料	598百万円																																
<p>※3 一般管理費及び当期製造費に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">一般管理費</td> <td style="text-align: right;">485百万円</td> </tr> <tr> <td>当期製造費用</td> <td style="text-align: right;">ー百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">485百万円</td> </tr> </table>	一般管理費	485百万円	当期製造費用	ー百万円	計	485百万円	<p>※3 一般管理費及び当期製造費に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">一般管理費</td> <td style="text-align: right;">581百万円</td> </tr> <tr> <td>当期製造費用</td> <td style="text-align: right;">ー百万円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">581百万円</td> </tr> </table>	一般管理費	581百万円	当期製造費用	ー百万円	計	581百万円																				
一般管理費	485百万円																																
当期製造費用	ー百万円																																
計	485百万円																																
一般管理費	581百万円																																
当期製造費用	ー百万円																																
計	581百万円																																

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

1 自己株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	557	46	—	603

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 46株

当事業年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

1 自己株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	603	60	—	663

(変動事由の概要)

増加数の内訳は、次のとおりであります。

単元未満株式の買取りによる増加 60株

(リース取引関係)

注記の対象となる取引はありません。

(有価証券関係)

前事業年度(平成21年12月31日)

子会社及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

当事業年度(平成22年12月31日)

子会社及び関連会社株式(貸借対照表計上額 子会社株式19,322百万円、関連会社株式5,556百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

(税効果会計関係)

前事業年度 (平成21年12月31日)		当事業年度 (平成22年12月31日)	
1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)	1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (繰延税金資産)
	① 流動資産		① 流動資産
	未払事業税		保証工事引当金
	13百万円		269百万円
	保証工事引当金		賞与引当金
	173百万円		17百万円
	賞与引当金		長期外貨建資産負債為替評価
	29百万円		1,265百万円
	長期外貨建資産負債為替評価		タックスヘイブン課税済留保金
	779百万円		135百万円
	タックスヘイブン課税済留保金		関係会社貸付金に係る貸倒引当金
	135百万円		862百万円
	関係会社貸付金に係る貸倒引当金		その他
	1,456百万円		240百万円
	その他		小計
	59百万円		2,791百万円
	小計		評価性引当額
	2,648百万円		△144百万円
	評価性引当額		計
	△135百万円		2,646百万円
	計		
	2,512百万円		② 固定資産
	② 固定資産		退職給付引当金
	退職給付引当金		65百万円
	60百万円		長期未払金
	長期未払金		123百万円
	168百万円		ゴルフ会員権評価損
	ゴルフ会員権評価損		19百万円
	19百万円		関係会社株式評価損
	関係会社株式評価損		24百万円
	24百万円		その他
	その他有価証券評価差額金		7百万円
	4百万円		小計
	その他		240百万円
	2百万円		評価性引当額
	小計		△43百万円
	279百万円		計
	評価性引当額		196百万円
	△43百万円		繰延税金資産 合計
	計		2,843百万円
	235百万円		
	繰延税金資産 合計		(繰延税金負債)
	2,748百万円		—
	(繰延税金負債)		—
	—		
2	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳	2	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳
	法定実効税率		法定実効税率
	41.0%		41.0%
	(調整)		(調整)
	交際費等永久に損金に算入されない項目		交際費等永久に損金に算入されない項目
	7.8%		7.5%
	受取配当金等永久に益金に算入されない項目		受取配当金等永久に益金に算入されない項目
	△4.2%		△152.3%
	評価性引当額		評価性引当額
	6.9%		4.5%
	試験研究費控除		外国関係会社合算課税
	△14.7%		39.7%
	その他		過年度法人税
	△4.6%		2.1%
	税効果会計適用後の法人税等の負担率		控除不能源泉税(外国税等)
	32.2%		18.6%
			住民税均等割
			1.8%
			その他
			2.7%
			税効果会計適用後の法人税等の負担率
			△34.4%

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)		当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)	
1株当たり純資産額	891円57銭	1株当たり純資産額	1,041円21銭
1株当たり当期純利益金額	6円52銭	1株当たり当期純利益金額	6円34銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (平成21年12月31日)	当事業年度 (平成22年12月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	33,351	48,319
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	33,351	48,319
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	37,407	46,407

2 1株当たり当期純利益金額

	前事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	当事業年度 (自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)
損益計算書上の当期純利益(百万円)	243	279
普通株式に係る当期純利益(百万円)	243	279
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,407	44,064

(重要な後発事象)

前事業年度(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

第三者割当増資及び三井物産株式会社との業務提携

1. 第三者割当増資

当社は平成22年2月26日開催の取締役会において、平成22年4月6日を払込期日とする第三者割当増資による普通株式の募集について、決議しております。当該第三者割当増資の内容は以下のとおりであります。

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | 普通株式 9,000,000株 |
| (2) 募集時における発行済株式数 | 37,407,397株(自己株式603株除く) |
| (3) 募集後における発行済株式数 | 46,407,397株(自己株式603株除く) |
| (4) 発行価額 | 1株につき1,732円 |
| (5) 発行価額の総額 | 15,588百万円 |
| (6) 発行価額のうち資本へ組入れる額 | 1株につき866円 |
| (7) 払込期日 | 平成22年4月6日 |
| (8) 割当先及び株式数 | 三井造船株式会社 4,509,000株
三井物産株式会社 4,491,000株 |
| (9) 新株の配当起算日 | 平成22年1月1日 |
| (10) 資金使途 | FPSO等のチャータープロジェクトにおける投融資 |

2. 業務提携

当社は平成22年2月26日開催の取締役会において、上記記載の第三者割当増資と合わせて三井物産株式会社との業務提携を決議しております。当該業務提携の内容は以下のとおりであります。

(1) 業務提携の内容

FPSO等の事業について、それぞれを戦略的パートナーと位置付け、両社の経営資源、ノウハウ、ブランド、顧客基盤を相互活用することで、近年大型化されているFPSO等のプロジェクトにおける競争力の強化と金融機関からの資金調達力を強化することを目的としております。

なお、本業務提携契約は、平成22年4月6日までに三井物産株式会社から上記記載の第三者割当増資の払込みが実行されなかった場合は、当社と三井物産株式会社のいずれからも解除することができます。

(2) 三井物産株式会社が取得する株式の数及び発行済株式数に対する割合

三井物産株式会社は、本第三者割当増資により当社が発行する普通株式のうち4,491,000株の引受をいたします。かかる引受により、三井物産株式会社は、本第三者割当増資後の当社の発行済株式総数の14.99%の普通株式を保有する予定です。

当事業年度(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

④ 【附属明細表】

【有価証券明細表】

【株式】

(投資有価証券)

銘柄	株式数(株)	貸借対照表計上額(百万円)
(その他有価証券)		
株式会社百十四銀行	200,000	59
三井生命保険株式会社	200,000	100
株式会社みずほフィナンシャルグループ (注)	100,000	100
双日株式会社	222,200	39
計	722,200	299

(注) 優先株式であります。

【有形固定資産等明細表】

資産の種類	前期末残高 (百万円)	当期増加額 (百万円)	当期減少額 (百万円)	当期末残高 (百万円)	当期末減価 償却累計額 又は 償却累計額 (百万円)	当期償却額 (百万円)	差引当期末 残高 (百万円)
有形固定資産							
建物	—	—	—	146	45	13	100
工具、器具及び備品	—	—	—	235	183	25	52
建設仮勘定	—	—	—	6	—	—	6
有形固定資産計	—	—	—	388	229	39	158
無形固定資産							
ソフトウェア	—	—	—	181	107	35	74
その他	—	—	—	6	—	—	6
無形固定資産計	—	—	—	187	107	35	80
長期前払費用	—	—	—	—	—	—	—
繰延資産	—	—	—	—	—	—	—
繰延資産計	—	—	—	—	—	—	—

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の金額は、資産の総額の1%以下であるため「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の記載を省略しております。

【引当金明細表】

区分	前期末残高 (百万円)	当期増加額 (百万円)	当期減少額 (目的使用) (百万円)	当期減少額 (その他) (百万円)	当期末残高 (百万円)
貸倒引当金	3,562	1	1,447	5	2,110
賞与引当金	72	42	72	—	42
役員賞与引当金	13	13	13	—	13
保証工事引当金	424	520	361	—	583
その他の引当金	—	74	—	—	74

(注) 貸倒引当金の当期減少額(その他)は、洗替による減少額5百万円であります。

(2) 【主な資産及び負債の内容】

a 資産の部

イ 現金及び預金

区分	金額(百万円)
現金	3
預金	
当座預金	4
普通預金	269
外貨普通預金	1,292
計	1,566
合計	1,569

ロ 売掛金

相手先別内訳

相手先	金額(百万円)
GUARA MV23 B. V.	15,296
BHP BILLITON PETROLEUM PTY LTD.	845
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	421
RANG DONG MV17 B. V.	351
TECHNIP FRANCE	342
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	316
その他	657
合計	18,231

売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

前期繰越高 (百万円) (A)	当期発升高 (百万円) (B)	当期回収高 (百万円) (C)	次期繰越高 (百万円) (D)	回収率 (%) $\frac{(C)}{(A)+(B)} \times 100$	滞留期間(日) $\frac{(A)+(D)}{2} \div \frac{(B)}{365}$
6,274	42,801	30,845	18,231	62.9	104.5

(注) 消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しておりますが、上記金額には消費税等が含まれております。

ハ 原材料

区分	金額(百万円)
Main Bearing, Forging for Main Bearing Stopper	31
合計	31

ニ 仕掛工事

区分	金額(百万円)
Petrobras FSU Detailed Engineering Work	25
その他	0
合計	26

ホ 短期貸付金

相手先	金額(百万円)
JUBILEE GHANA MV21 B. V.	16,193
GUARA MV23 B. V.	15,636
TUPI PILOT MV22 B. V.	5,298
ELANG EPS PTE LTD.	2,376
MODEC VENTURE 11 B. V.	1,335
その他	1,150
合計	41,991

ヘ 関係会社株式

相手先	金額(百万円)
(子会社株式)	
MODEC INTERNATIONAL, INC.	7,528
MODEC HOLDINGS B. V.	5,892
MODEC VENTURE 11 B. V.	3,311
MODEC MANAGEMENT SERVICES PTE LTD.	2,447
その他	143
(関連会社株式)	
PRA-1 MV15 B. V.	2,029
ESPADARTE MV14 B. V.	1,675
MODEC VENTURE 10 B. V.	1,537
その他	313
合計	24,878

ト 関係会社長期貸付金

相手先	金額(百万円)
RANG DONG MV17 B. V.	3,813
SONG DOC MV19 B. V.	2,543
GAS OPPORTUNITY MV20 B. V.	2,179
ESPADARTE MV14 B. V.	1,883
OPPORTUNITY MV18 B. V.	1,760
その他	3,196
合計	15,377

b 負債の部

イ 買掛金

相手先	金額(百万円)
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	9,678
MODEC AND TOYO OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS PTE. LTD.	4,538
STYBARROW MV16 B.V.	344
SAMSUNG HEAVY INDUSTRIES CO., LTD	236
東洋エンジニアリング株式会社	85
その他	1,460
合計	16,343

ロ 短期借入金

相手先	金額(百万円)
株式会社みずほコーポレート銀行	10,487
SOFEC, INC.	5,706
MODEC OFFSHORE PRODUCTION SYSTEMS (SINGAPORE) PTE. LTD.	5,421
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,260
農林中央金庫	2,445
その他	1,000
合計	28,321

ハ 長期借入金

相手先	金額(百万円)
株式会社日本政策投資銀行	2,300
株式会社日本政策金融公庫	1,783
株式会社三井住友銀行	1,184
株式会社あおぞら銀行	521
三菱UFJ信託銀行株式会社	521
合計	6,311

(3) 【その他】

重要な訴訟等

当社は、Petrobras社より、平成9年3月にブラジルのMaritima Petroleoe Engenharia LTDA (Maritima社) が受注し、当社が共同受注者として参画したFPSO建造プロジェクトに関する訴訟の提起を受けております。

訴状によればPetrobras社は、Maritima社が本プロジェクトに関して外部業者への支払不履行を起こした際、プロジェクトの遅延を懸念してこれらの費用を立て替えて支払ったが、Maritima社が費用の返還請求に応じなかったため、同社、同社の子会社であるMaritima Overseas, Inc. 及び共同受注者であった当社に対する返還請求訴訟を提起した、としております。

当社は訴訟の対象となっているプロジェクトにおいて所掌業務を問題なく完了しており、問題とされている取引に関与していないこと、また受注に際してMaritima社と締結した契約において所掌業務以外の事項に関する当社の免責を確認していること等により、当社には支払い義務がないものと認識しております。

なお、Petrobras社による返還請求金額は42,465千米ドル及び資金返還日までの金利相当額であります。

第6 【提出会社の株式事務の概要】

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	12月31日
剰余金の配当の基準日	6月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
単元未満株式の買取り	
取扱場所	(特別口座) 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
株主名簿管理人	(特別口座) 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
取次所	—
買取手数料	株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告掲載方法	日本経済新聞
株主に対する特典	該当事項はありません。

(注) 定款の定めにより、単元未満株主は、会社法第189条第2項各号に掲げる権利、会社法第166条第1項の規定による請求をする権利、株主の有する株式数に応じて募集株式の割当て及び募集新株予約権の割当てを受ける権利以外の権利を有していません。

第7 【提出会社の参考情報】

1 【提出会社の親会社等の情報】

当社には、金融商品取引法第24条の7第1項に規定する親会社等はありません。

2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1)	有価証券報告書 及びその添付書類 並びに有価証券 報告書の確認書	事業年度 (第24期)	自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日	平成22年3月30日 関東財務局長に提出。
(2)	内部統制報告書 及びその添付書類	事業年度 (第24期)	自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日	平成22年3月30日 関東財務局長に提出。
(3)	四半期報告書及び 四半期報告書の 確認書	第25期 第1四半期	自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日	平成22年5月14日 関東財務局長に提出。
		第25期 第2四半期	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	平成22年8月13日 関東財務局長に提出。
		第25期 第3四半期	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	平成22年11月12日 関東財務局長に提出。
(4)	臨時報告書	金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第4号(主要株主の異動)の規定に基づく臨時報告書		平成22年4月6日 関東財務局長に提出。
		金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号(特定子会社の異動)の規定に基づく臨時報告書		平成23年2月18日 関東財務局長に提出。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成22年3月26日

三井海洋開発株式会社

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 敬久 ⑩

指定社員
業務執行社員 公認会計士 柿沼 幸二 ⑩

<財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている三井海洋開発株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井海洋開発株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

会計方針の変更に記載されているとおり、会社は当連結会計年度より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」を適用している。

重要な後発事象に関する注記に記載されているとおり、会社は平成22年2月26日に第三者割当増資による普通株式の募集について決議している。

<内部統制監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、三井海洋開発株式会社の平成21年12月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。財務報告に係る内部統制を整備及び運用並びに内部統制報告書を作成する責任は、経営者にあり、当監査法人の責任は、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。また、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。内部統制監査は、試査を基礎として行われ、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果についての、経営者が行った記載を含め全体としての内部統制報告書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、内部統制監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、三井海洋開発株式会社が平成21年12月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- ※1 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

平成23年3月29日

三井海洋開発株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 宮 本 敬 久 ⑩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 柿 沼 幸 二 ⑩
業務執行社員

<財務諸表監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている三井海洋開発株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井海洋開発株式会社及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<内部統制監査>

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第2項の規定に基づく監査証明を行うため、三井海洋開発株式会社の平成22年12月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。財務報告に係る内部統制を整備及び運用並びに内部統制報告書を作成する責任は、経営者にあり、当監査法人の責任は、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。また、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、当監査法人に内部統制報告書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。内部統制監査は、試査を基礎として行われ、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果についての、経営者が行った記載を含め全体としての内部統制報告書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、内部統制監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、三井海洋開発株式会社が平成22年12月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- ※1 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成22年3月26日

三井海洋開発株式会社

取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 敬久 ⑩

指定社員
業務執行社員 公認会計士 柿沼 幸二 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている三井海洋開発株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの第24期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井海洋開発株式会社の平成21年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

重要な後発事象に関する注記に記載されているとおり、会社は平成22年2月26日に第三者割当増資による普通株式の募集について決議している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

※1 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

2 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成23年3月29日

三井海洋開発株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 宮本 敬久 ⑩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 柿沼 幸二 ⑩
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている三井海洋開発株式会社の平成22年1月1日から平成22年12月31日までの第25期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井海洋開発株式会社の平成22年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- ※1 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	内部統制報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の4第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年3月30日
【会社名】	三井海洋開発株式会社
【英訳名】	MODEC, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【財務報告に係る内部統制の基本的枠組みに関する事項】

三井海洋開発株式会社（以下、「当社」）代表取締役社長宮崎俊郎は、金融商品取引法第24条の4の4の規定に基づき「財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第62号）第2条第2号に定義される「財務報告に係る内部統制」の整備及び運用の責任を有しております。

当社は、金融庁企業会計審議会が平成19年2月15日に公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準」及び「財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準」に準拠して、財務報告に係る内部統制を整備及び運用しております。

なお、内部統制は、内部統制の各基本的要素が有機的に結びつき、一体となって機能することで、その目的を合理的な範囲で達成しようとするものであります。このため、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性があります。

2 【評価の範囲、基準日及び評価手続に関する事項】

財務報告に係る内部統制の評価は、当連結会計年度の末日である平成22年12月31日を基準日として行われており、評価に当たっては、一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠いたしました。

本評価においては、連結ベースでの財務報告全体に重要な影響を及ぼす内部統制（全社的な内部統制）の評価を行った上で、その結果を踏まえて、評価対象とする業務プロセスを選定しております。当該業務プロセスの評価においては、選定された業務プロセスを分析した上で、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、当該統制上の要点について整備及び運用状況を評価することによって、内部統制の有効性に関する評価を行いました。

財務報告に係る内部統制の評価の範囲は、当社並びに連結子会社について、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性の観点から必要な範囲を決定いたしました。財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性は、金額的及び質的影響の重要性を考慮して決定しており、当社及び連結子会社5社を対象として行った全社的な内部統制の評価結果を踏まえ、業務プロセスに係る内部統制の評価範囲を合理的に決定いたしました。なお、連結子会社18社及び持分法適用会社14社については、金額的及び質的重要性の観点から僅少であると判断し、全社的な内部統制の評価範囲に含めておりません。

業務プロセスに係る内部統制の評価範囲については、各事業拠点の前連結会計年度の売上高を指標に、その概ね2／3に達している当社及び連結子会社1社を「重要な事業拠点」といたしました。選定した重要な事業拠点においては、企業の事業目的に大きく関わる勘定科目として「売上高」、「売上原価」及び「売掛金」に至る業務プロセスを評価の対象といたしました。

3 【評価結果に関する事項】

上記の評価の結果、当連結会計年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断しております。

4 【付記事項】

該当事項はありません。

5 【特記事項】

該当事項はありません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年3月30日
【会社名】	三井海洋開発株式会社
【英訳名】	MODEC, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮 崎 俊 郎
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 宮崎俊郎は、当社の第25期(自 平成22年1月1日 至 平成22年12月31日)の有価証券報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。